

北海道議会時報

特集 第19回参議院議員通常選挙結果

平成13年第2回定例会



北海道議会事務局

(表紙写真)

北海道議会議事堂（昭和26年落成）

今年（2001年）は、明治34年（1901）10月21日に第1回臨時道会が開かれてからちょうど百年という大きな節目の年にあたり、これを記念して一連の北海道議会100年記念事業が行われます。

ところで、現在の北海道議会議事堂は、昭和26年（1951）2月に道会開設50年にあわせて建てられたもので、こちらも今年でちょうど50年になります。議事堂としては、庁立札幌中学校の屋内運動場（開設当時の仮議場）、旧議場（明治35年～昭和25年）に次いで3つ目の議場です。

表紙写真は、昭和26年落成当時の議事堂正面を写したものであり、建設当初の議事堂周辺の姿を今に伝えています。

（写真所蔵：北海道議会事務局政策調査課）



議 長 酒 井 芳 秀

就 任 あ い さ つ

一言ごあいさつ申し上げます。

ただいまの選挙によりまして、皆様の御推挙により議長の要職に就任することになりました。まことに身に余る光栄であり、ここに謹んでお受けいたします。

明治34年10月に北海道議会の前身である北海道会第1回臨時会が開催されてから百年の歴史を積み重ね、今、21世紀のまさに初年、新たな百年の歴史を刻もうとしているこの北海道議会の役割をかんがみるとき、その重責に身の引き締まる思いであります。

今後は、尽きることのない道政上の諸課題に適切に対処いたしますとともに、議会の公正・円滑な運営に努め、道民の皆さんの期待と信頼にこたえるべく力を尽くしてまいる決意でございます。

皆様の御支援と御協力を心からお願い申し上げ、あいさつといたします。

(6月15日本会議場において)



副議長 大内良一

就任あいさつ

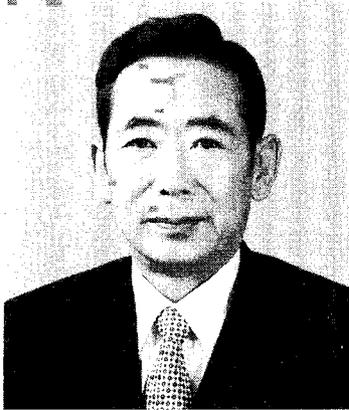
一言申し述べさせていただきたいと存じます。

ただいまの選挙によりまして、皆様方の御推挙により副議長の重責を担うことになりました。まことに光栄に存じ、ここに謹んでお受けいたします。

今後は、議長とともに、道政の進展、そして開かれた議会、住民から頼られる議会を目指しますとともに、議会の円滑な運営のために最善の努力をする決意でございます。

皆様方には、今後、格別のご協力を賜りますように心からお願い申し上げ、甚だ簡単でございますが、あいさつとさせていただきます。

(6月15日本会議場において)



森 敏捷議員逝去

議員森 敏捷氏（民主・道民連合、江別市選出）は、4月4日午前3時3分、敗血症のため、札幌医科大学附属病院において逝去され、4月5日江別市「北野華苑」において、告別式が執り行われた。

享年59歳

なお、6月15日第2回定例会本会議において、布川義治議員（道政会・江別市選出）から、追悼演説が行われ、次いで、全員起立のうえ黙とうがささげられた。

追 悼 演 説

私は、北海道議会を代表し、去る4月4日に御逝去されました北海道議会議員森敏捷先生のありし日の面影をしのび、謹んで追悼の言葉をささげます。

森先生が入院されたと伺ったのは、ことしの1月中旬でございました。一時、快方に向かわれたというお話も伺っていただけに、先生の突然の御逝去の報は、江別市民として、また、先生とともに地域の活性化を目指した私にとって余りの驚きと悲しみで、まさに茫然自失でございました。

森先生とは、地元・江別市における行事、会議などでいつも行動をともにさせていただきましたので、いまだに信じられない気持ちでございます。

今思えば、正月にお会いしたとき、何かいつもの先生と違うなと思われる点がありましたが、既にそのころから体調を崩されておられたのかもしれませんが。

そのような状況にありながらも、先生は、道議会の環境生活委員会の委員長として、ことしの年頭のあいさつの中で、道民生活に直結している環境生活行政は重要であると力強く発言され、環境の世紀である21世紀にふさわしい北海道を目指されたとお伺いをしましたとき、高邁な理念に基づいた先生の政治家としてのお姿に本当に頭の下がる思いがいたしました。

人一倍気配りをなされ、責任感の強かった先生が病魔と闘い、道半ばにして倒れたことを思うとき、さぞかし歯がゆく、無念であったろうと推察するとともに、世の無常を感じ、まことに痛惜のきわみでございます。

北海道教育委員会に勤められていた先生は、昭和45年に横路孝弘先生の秘書として政治の世界に入られました。そして、昭和54年、政治家を志して、江別市の道議会議員選挙に立候補され、二度にわたる下積みを経験されたのであります。

その間、まさに奥様との二人三脚で、何足もの靴の底をすり減らされ、信念を貫くために江別市内を歩かれました。当時、私のところにもお見えになったことが、今でも思い起こされます。

この8年間の御苦勞が政治家としての先生をさらに大きく成長させたものと思います。

このときの御努力と先生の真摯なお人柄、そして常に道民の目線で活動する姿勢がたくさんの人々の心をとらえ、昭和62年、道議会議員に見事当選されました。このときのお喜びは言葉で言い尽くせないものがあつたことでしょう。

こうして大きな信頼を得た先生は、初当選以来、今期の選挙まで4期連続して当選されたのであります。

この間、建設委員会の副委員長や交通安全対策特別委員会の委員長といった重責を担われ、雇用問題や北海道交通安全基本条例の制定などに御尽力をされました。

農家にお生まれになった先生は、農政委員会にも所属されましたが、平成5年の冷害に直面され、これを機に、冷害に強い北海道農業の確立に向け、冷害対策ドームの建設など、冷害対応技術推進のための試験研究予算の充実に力を注がれました。

平成11年からは、環境生活委員会の委員長として、北海道希少野生動植物の保護に関する条例や北海道男女平等参画推進条例など、環境、そして道民の生活に深く結びつく数々の条例の制定に全力を傾けられたのであります。

また、政治の原点は地域にあると申され、「初心忘れるべからず」をモットーとされた先生は、地域の声が政治に反映するよう、地元・江別市と道政のパイプ役を積極的に務められました。

北海道における食品産業技術のレベルアップを図る施設で平成4年に開設された道立食品加工研究センターの誘致、平成8年に完成した道立江別高校の移転改築の促進、知的障害者の更生施設として平成9年に完成したえべつ明友荘の開設促進、ケアつき住宅や高齢者支援機能を備え、今後の高齢者住宅のモデルともなる平成11年に完成した大麻サンゴールド構想の促進、道内埋蔵文化財の保存活用等を図るための施設で平成11年に完成した道立埋蔵文化財センターの誘致活動、そして、ことし4月26日のオープンを心待ちにされていたふるさと交流館の誘致活動等々、その御功績には枚挙にいとまがありません。

このように積極的に取り組まれた地域の課題について熱く語っておられましたことが昨日のこのように思い浮かばれ、低音で歯切れのよい先生の声が今でも響いてくるような気がいたします。

道議会にとって、570万道民にとって、まだまだ活躍をいただかなければならない大切な方でした。

21世紀を迎えた今、北海道は、従来からの殻を破り、新たな視点、視座で歩いていく必要性を求められております。

時あたかも、地方分権が進められている今日、先生の昔からの姿勢であります、「政治の原点は地域にあり」の理念は、推し進めていかなければならない重要な課題でございます。

このようなときに先生を失ったことは、道議会はもとより、北海道にとってもまことに大きな損失でございますが、どんな課題に対しても全力で向かっておられた先生のお姿は私たちの脳裏に深く刻まれております。これまで先生が大切にされ、推進されていた数々の施策は、私たち議員一人一人が着実に受け継いでまいります。どうか御安心ください。

21世紀の北海道にかけられた先生の熱意を忘れることなく、だれもが安心して心豊かに暮らし、人々に安らぎを与えられる日本のふるさと・北海道を築くことを私たちはここにお誓い申し上げます。

江別市民の方々を初め、多くの人から愛され、北海道議会議員として、そして道民の代表として北海道の活性化に御尽力された森敏捷先生、今はただ、心からみたまの御冥福をお祈り申し上げ、奥様、お子様、そして先生が御逝去なさる直前にお生まれになったお孫様など、御家族の皆様の前途に限りない御加護を賜りますようお願いいたしまして、お別れの言葉といたします。

どうぞ安らかにお眠りください。

さようなら、森敏捷先生。

平成13年6月15日

北海道議会議員 布川義治

も く じ

第2回定例会

概 要	1
本 会 議	3
提 出 案 件	15
決 議	18
意 見 書	18
請 願 ・ 陳 情	28

委員会の動き

議会運営委員会	31
常 任 委 員 会	36
総 務 委 員 会	
環 境 生 活 委 員 会	
保 健 福 祉 委 員 会	
経 済 委 員 会	
農 政 委 員 会	
水 産 林 務 委 員 会	
建 設 委 員 会	
文 教 委 員 会	
特 別 委 員 会	45
総 合 開 発 調 査 特 別 委 員 会	
産 炭 地 域 振 興 対 策 特 別 委 員 会	
産 炭 地 域 振 興 ・ エ ネ ル ギ ー 問 題 調 査 特 別 委 員 会	
北 方 領 土 対 策 特 別 委 員 会	
エ ネ ル ギ ー 問 題 調 査 特 別 委 員 会	
新 幹 線 ・ 総 合 交 通 対 策 特 別 委 員 会	
地 方 分 権 ・ 構 造 改 革 問 題 調 査 特 別 委 員 会	
少 子 ・ 高 齢 社 会 対 策 特 別 委 員 会	
有 珠 山 噴 火 災 害 対 策 特 別 委 員 会	
予 算 特 別 委 員 会	53

資 料

第2回定例会において議決を経た条例の公布調	60
第19回参議院議員通常選挙結果	61

4・5・6月のメモ

注 企業会計決算特別委員会は終了後一括掲載

議 会 日 誌

▶ 4月

- 3日(火) 各常任委員会
4日(水) 総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、新幹線・総合交通対策特別、地方分権・構造改革問題調査特別、少子・高齢社会対策特別、有珠山噴火災害対策特別各委員会

▶ 5月

- 7日(月) 経済委員会
8日(火) 議会運営、常任各委員会
9日(水) 総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、新幹線・総合交通対策特別、地方分権・構造改革問題調査特別、少子・高齢社会対策特別、有珠山噴火災害対策特別各委員会

▶ 6月

- 5日(火) 各常任委員会
6日(水) 総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、新幹線・総合交通対策特別、地方分権・構造改革問題調査特別、少子・高齢社会対策特別、有珠山噴火災害対策特別各委員会
8日(金) 議会運営委員会
14日(木) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、新幹線・総合交通対策特別、地方分権・構造改革問題調査特別、少子・高齢社会対策特別各委員会
15日(金) **[第2回定例会開会]**
議会運営委員会
本会議(議席の一部変更、追悼演説、会期決定<18日間>、正副議長の辞任許可及び選挙、提案説明、意見案1件可決)

- 19日(火) 議会運営委員会
本会議(議席の一部変更、各常任、議会運営各委員選任、決議案第1号<産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会設置に関する決議>可決、特別各委員選任)
議会運営、各常任、総合開発調査特別、産炭地域振興・エネルギー問題調査特別、新幹線・総合交通対策特別、地方分権・構造改革問題調査特別、少子・高齢社会対策特別、有珠山噴火災害対策特別各委員会
20日(水) 議会運営委員会
本会議(一般質問<1人>)
22日(金) 議会運営委員会
本会議(一般質問)
25日(月) 議会運営、水産林務各委員会
本会議(意見案1件可決、一般質問<1人>、追加提案説明)
26日(火) 議会運営委員会
本会議(追加提案説明、一般質問<5人>、追加提案説明)
27日(水) 議会運営委員会
本会議(一般質問<8人>、予算及び企業会計決算各特別委員会設置)
予算特別委員会(正副委員長の互選、2分科会設置)
予算第1・第2分科会(正副委員長の互選)
企業会計決算特別委員会(正副委員長の互選)
28日(木) 予算第1・第2分科会(各部所管審査)
29日(水) 予算第1・第2分科会(各部所管審査)
▶ 7月
2日(月) 議会運営委員会
本会議(会期延長<1日>)
予算特別委員会(各分科委員長報告、総括質疑、意見調整)
3日(火) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、産炭地域振興・エネルギー問題調査特別、北方領土対策特別、新幹線・総合交通対策特別、地方分権・

構造改革問題調査特別、少子・高齢
社会対策特別、有珠山噴火災害対策
特別、企業会計決算特別各委員会
本会議（各委員長報告、議案等可決、
追加提案説明、公安委員会委員及び
方面公安委員会委員、監査委員、収
用委員会委員及び収用委員会予備委
員、公害審査委員の各選任同意、苫
小牧港管理組合議会議員、石狩東部
広域水道企業団議会議員、石狩新港
管理組合議会議員及び石狩西部広域
水道企業団議会議員の補欠選挙、意
見案8件可決、請願・陳情審査、報
告第35号ないし第37号<12年度企業
会計決算>閉会中継続審査の決定）
[第2回定例会閉会]

第2回定例会

議長に酒井芳秀議員（自民）、副議長に大内良一議員（民主）を選出

▶総額19億9,612万円余の北海道国際航空（エア・ドゥ）支援関連補正予算を可決◀

概要

① 常任委員の改選等が予定された第2回定例会は、6月15日招集され、会議録署名議員の指定等の後、森敏捷議員の逝去に対する追悼演説、黙とうを行い、会期を7月2日までの18日間と決定。

その後、湯佐利夫議長（自民）の辞職許可の後、議長選挙を行い、酒井芳秀議員（自民）が当選、引き続き、柏倉勝雄副議長（民主）の辞職許可の後、副議長選挙を行い、大内良一議員（民主）が当選した。

次に、「北海道性風俗営業等に係る不当な勧誘、料金の取立て等の規制に関する条例案」等の議案等が上程され、知事から提出議案に関する説明。

その後、「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」の取りまとめに関する意見書」が提案され、討論の後、採決に入り、原案可決。議案調査のため6月18日の本会議を休会することを決定して散会。

② 休会明けの6月19日、議席の一部を変更し、各常任委員及び議会運営委員並びに総合開発調査、産炭地域振興・エネルギー問題調査、北方領土対策、新幹線・構造改革問題調査、少子・高齢社会対策及び有珠山噴火災害対策の各特別委員をそれぞれ議長指名により選任し、散会した。

③ 6月20日、一般質問に入った。

④ 6月25日、「北方四島周辺海域における韓国さんま漁船の操業問題に関する意見書」を異議なく原案可決し、一般質問を継続。

その後、一般質問を中止し、総額19億9,612万円余の平成13年度一般会計補正予算が追加提案され、知事から提出議案に関する説明があって、延会。

⑤ 6月26日、平成12年度北海道病院事業会計決算に関する件ほか2件の追加提案があり、知事から提案説明。引き続き、一般質問を継続。

⑥ 6月27日、一般質問を終結。直ちに、予算特別委員会及び企業会計決算特別委員会を設置し、議案等を各委員会に付託。その後、各委員会付託議案審査のため6月28日から29日までの本会議を休会することを決定して、散会。

⑦ 予算特別委員会は、6月27日に正副委員長の互選を行い、2分科会を設置。その後、予算特別委員会は6月28日から各部所管の審査に入り、6月29日にこれを終了。7月2日、各分科委員長報告の後、総括質疑を行い、付託議案に対する質疑を終結し、原案可決と決定。なお、審査の経緯に鑑み、エア・ドゥ支援について及び信用組合の破綻問題について意見を付すことに決定した。

⑧ 7月2日、会期を7月3日までの1日間延長することを決定し、散会。

⑨ 会期最終日の7月3日は、各付託議案に対する関係正副委員長報告、討論の後、採決に入り、いずれも委員長報告のとおり原案可決。

次に、北海道公安委員会委員等4件の人事案件が追加提案され、知事から提案説明の後、同意議決。

次に、苫小牧港管理組合議会議員、石狩東部広域水道企業団議会議員、石狩湾新港管理組合議会議員及び石狩西部広域水道企業団議会議員の補欠選挙を行い、指名推選の方法をもって、議長指名により選出した。

次に、「児童・生徒殺傷事件再発防止に関する意見書」等8件の意見書が提案され、説明及び委員会付託を省略し、討論、採決の結果、いずれも原案可決。

次に、請願1件を採択することと決定。

最後に、平成12年度企業会計決算の閉会中継続審査、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定の後、開会以来19日目の7月3日に閉会した。

⑩ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提案者	提出件数	議決状況				報告のみ	計
		原案可決	承認議決	同意議決	継続審査		
知事	64	23	1	4	3	33	64
議員	11	11	—	—	—	—	11
計	75	34	1	4	3	33	75

本 会 議

○6月15日(金) 午前10時24分開議、湯佐利夫議長、平成13年第2回定例会の開会を宣し、

日程第1 議席の一部変更の件を議題とし、別紙配布議席表のとおり議席の一部を変更することを決定。

日程第2 会議録署名議員の指定、諸般の報告の後、議長から若狭靖議員(自民)及び伊達忠一議員(自民)の辞職を許可した旨報告。

次に、議長から森敏捷議員(民主)の逝去(4月4日)について、弔意を表した旨報告の後、布川義治議員(道政)から追悼演説。次いで全員起立のうえ黙とうをささげ、午前10時39分休憩。

午後1時10分再開し、

日程第3 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から7月2日までの18日間と決定。

日程第4 議長辞職の件を議題とし、湯佐利夫議長の辞職を許可することを異議なく決定。

日程第5 議長の選挙に入り、議場を閉鎖、立会人に加藤礼一議員(自民)、三津丈夫議員(民主)、村井宣夫議員(道民)、萩原信宏議員(共産)、佐藤英道議員(公明)を指名。選挙の方法は、単記無記名投票で行い、点呼に応じ投票。開票の結果、投票総数105票、有効投票103票、白票2票、酒井芳秀議員(自民)99票、勝木省三議員(自民)3票、和田敬友議員(自民)1票で、酒井芳秀議員が当選。議場の閉鎖を解き、議長から就任あいさつ。次に、

日程第6 副議長辞職の件を議題とし、柏倉勝雄副議長の辞職を許可することを異議なく決定。

日程第7 副議長の選挙に入り、議長選挙と同様に取り進め、開票の結果、投票総数105票、有効投票104票、白票1票、大内良一議員(民主)100票、吉野之雄議員(民主)1票、西本美嗣議員(民主)1票、岡本修議員(民主)1票、河野光彦議員(民主)1票で、大内良一議員が当選。議場の閉鎖を解き、副議長から就任あいさつ。

日程第8 議案第1号ないし第22号及び報告第1号を議題とし、知事から提出議案について説明。

日程第9 意見案第1号を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略し、討論に入り、日高令子議員(共産)から反対討論があつて討論終結。

採決に入り、起立多数により原案可決。議案調査のため、6月18日の本会議を休会することを決

定し、午後2時22分散会。

○6月19日(火) 午後2時45分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議席の一部変更の件を議題とし、別紙配布議席表のとおり変更することを異議なく決定。

日程第2 常任委員選任の件を議題とし、議長指名により、次の委員を選任。

○総務委員(14人)

岩本 剛人(自民)	日下 太朗(民主)
久保 雅司(道民)	花岡ユリ子(共産)
滝口 信喜(民主)	工藤 敏郎(自民)
見延 順章(自民)	川村 正(自民)
平出 陽子(民主)	伊藤 武一(公明)
西本 美嗣(民主)	高橋 一史(自民)
湯佐 利夫(自民)	高木 繁光(自民)

○環境生活委員(13人)

新野至都子(共産)	木村 峰行(民主)
東 国幹(自民)	柿木 克弘(自民)
村井 宣夫(道民)	丸岩 公充(自民)
水城 義幸(自民)	山崎 正隆(自民)
佐藤 時雄(自民)	山口 恵聖(民主)
佐々木隆博(民主)	土田 弘(民主)
平野 明彦(自民)	

○保健福祉委員会(13人)

沖田 龍児(民主)	遠藤 連(自民)
稲津 久(公明)	三井あき子(民主)
沢岡 信広(民主)	瀬能 晃(自民)
船橋 利実(自民)	板谷 實(自民)
川尻 秀之(自民)	段坂 繁美(民主)
萩原 信宏(共産)	和田 敬友(自民)
岩本 允(自民)	

○経済委員(13人)

大谷 亨(自民)	加藤 礼一(自民)
斉藤 博(民主)	原田 裕(自民)
山口幸太郎(自民)	小池 昌(自民)
三津 丈夫(民主)	高橋由紀雄(民主)
吉田 恵悦(公明)	西村 慎一(道民)
柏倉 勝雄(民主)	桜井 外治(自民)
酒井 芳秀(自民)	

○農政委員(13人)

布川 義治(道政)	池本 柳次(民主)
田淵 洋一(自民)	岡田 憲明(道民)
矢野 制光(民主)	林 大記(民主)

本間 勲 (自民) 前田 康吉 (自民)
加藤 唯勝 (自民) 釣部 勲 (自民)
神戸 典臣 (自民) 伊藤 政信 (民主)
中川 隆之 (自民)

○水産林務委員 (13人)

井上 真澄 (道民) 石寺 廣二 (自民)
國澤 勲 (自民) 伊東 良孝 (自民)
河野 光彦 (民主) 日高 令子 (共産)
喜多 龍一 (自民) 石井 孝一 (自民)
岡本 修 (民主) 鯉谷 忠 (民主)
吉野 之雄 (民主) 高橋 文明 (自民)
吉田 政一 (自民)

○建設委員 (13人)

岡田 篤 (民主) 中里 慶三 (自民)
佐野 法充 (民主) 佐藤 英道 (公明)
山根 泰子 (共産) 竹内 英順 (自民)
伊藤 条一 (自民) 高橋 定敏 (自民)
星野 高志 (民主) 井野 厚 (民主)
永井 利幸 (自民) 小野寺 勇 (自民)
川口 常人 (自民)

○文教委員 (14人)

蝦名 大也 (自民) 佐々木恵美子 (民主)
荒島 仁 (公明) 西田 昭紘 (民主)
鎌田 公浩 (自民) 佐藤 寿雄 (自民)
清水 誠一 (自民) 上田 茂 (道民)
大橋 晃 (共産) 鈴木 泰行 (民主)
大内 良一 (民主) 野呂 善市 (自民)
勝木 省三 (自民) 久田 恭弘 (自民)

日程第3 議会運営委員選任の件を議題とし、
議長指名により、次の委員を選任。

○議会運営委員 (14人)

沖田 龍児 (民主) 石寺 廣二 (自民)
大谷 亨 (自民) 柿木 克弘 (自民)
中里 慶三 (自民) 齊藤 博 (民主)
荒島 仁 (公明) 山根 泰子 (共産)
村井 宣夫 (道民) 西田 昭紘 (民主)
鎌田 公浩 (自民) 竹内 英順 (自民)
伊藤 条一 (自民) 三津 丈夫 (民主)

日程第4 決議案第1号を議題とし、提案説明
及び委員会付託を省略し、採決に入り、異議なく
原案可決。

日程第5 特別委員選任の件を議題とし、議長
指名により、次の委員を選任。

○総合開発調査特別委員 (15人)

井上 真澄 (道民) 沖田 龍児 (民主)

木村 峰行 (民主) 東 国幹 (自民)
遠藤 連 (自民) 伊東 良孝 (自民)
佐藤 英道 (公明) 沢岡 信広 (民主)
喜多 龍一 (自民) 川尻 秀之 (自民)
山口幸太郎 (自民) 神戸 典臣 (自民)
三津 丈夫 (民主) 大橋 晃 (共産)
勝木 省三 (自民)

○産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員
(17人)

岡田 篤 (民主) 蝦名 大也 (自民)
中里 慶三 (自民) 加藤 礼一 (自民)
河野 光彦 (民主) 久保 雅司 (道民)
稲津 久 (公明) 工藤 敏郎 (自民)
原田 裕 (自民) 石井 孝一 (自民)
釣部 勲 (自民) 星野 高志 (民主)
高橋由紀雄 (民主) 萩原 信宏 (共産)
吉野 之雄 (民主) 和田 敬友 (自民)
湯佐 利夫 (自民)

○北方領土対策特別委員 (14人)

田淵 洋一 (自民) 山根 泰子 (共産)
村井 宣夫 (道民) 三井あき子 (民主)
林 大記 (民主) 佐藤 寿雄 (自民)
瀬能 晃 (自民) 本間 勲 (自民)
板谷 實 (自民) 加藤 唯勝 (自民)
小池 昌 (自民) 段坂 繁美 (民主)
吉田 恵悦 (公明) 柏倉 勝雄 (民主)

○新幹線・総合交通対策特別委員 (17人)

布川 義治 (道政) 石寺 廣二 (自民)
國澤 勲 (自民) 齊藤 博 (民主)
佐野 法充 (民主) 岡田 憲明 (道民)
花岡ユリ子 (共産) 西田 昭紘 (民主)
竹内 英順 (自民) 丸岩 公充 (自民)
伊藤 条一 (自民) 川村 正 (自民)
井野 厚 (民主) 西本 美嗣 (民主)
高橋 一史 (自民) 野呂 善市 (自民)
久田 恭弘 (自民)

○地方分権・構造改革問題調査特別委員 (14人)

新野至都子 (共産) 池本 柳次 (民主)
岩本 剛人 (自民) 日下 太郎 (民主)
鎌田 公浩 (自民) 船橋 利実 (自民)
水城 義幸 (自民) 高橋 定敏 (自民)
上田 茂 (道民) 伊藤 武一 (公明)
鯉谷 忠 (民主) 土田 弘 (民主)
永井 利幸 (自民) 小野寺 勇 (自民)

○少子・高齢社会対策特別委員 (15人)

大谷 亨 (自民) 柿木 克弘 (自民)
 佐々木恵美子 (民主) 日高 令子 (共産)
 荒島 仁 (公明) 矢野 制光 (民主)
 滝口 信喜 (民主) 前田 康吉 (自民)
 見延 順章 (自民) 清水 誠一 (自民)
 山崎 正隆 (自民) 佐藤 時雄 (自民)
 伊藤 政信 (民主) 西村 慎一 (道民)
 高橋 文明 (自民)

○有珠山噴火災害対策特別委員 (19人)

布川 義治 (道政) 沖田 龍児 (民主)
 石寺 廣二 (自民) 中里 慶三 (自民)
 斉藤 博 (民主) 日高 令子 (共産)
 滝口 信喜 (民主) 工藤 敏郎 (自民)
 原田 裕 (自民) 加藤 唯勝 (自民)
 釣部 勲 (自民) 神戸 典臣 (自民)
 平出 陽子 (民主) 上田 茂 (道民)
 伊藤 武一 (公明) 山口 恵聖 (民主)
 佐々木隆博 (民主) 中川 隆之 (自民)
 酒井 芳秀 (自民)

午後2時45分散会。

89

○6月20日 (水) 午前11時19分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第22号及び報告第1号を議題とし、一般質問に入り、
 佐藤 寿雄議員 (自民) から、

- 1 国のハンセン病訴訟の評価などについて
 - ・小泉首相の決断についての知事の評価
 - ・本道の患者・元患者の方々の現状
 - ・道としての対策
- 2 国の構造改革と道の対応について
 - ・国の構造改革についての知事の受止めと道内の社会経済情勢に与える影響についての判断
 - ・国への要請の内容と考え方
 - ・明年度の北海道開発予算要望の取りまとめについての知事の考え方
 - ・道が進める開発予算要望見直しとの関係
 - ・緊急的な雇用対策として道が講じる手だて
 - ・再就職支援のための職業能力開発の実績と今後の雇用対策
 - ・地域の実情にあった雇用対策
 - ・「スーパークラスター構想」についての認識と推進方策
 - ・IT関連施策における札幌市との連携
 - ・札幌市のIT特区指定に向けた国への働きかけ

についての知事の見解

- ・情報インフラの整備と大容量・高速通信回線の確保についての道の役割
 - ・IT・インターネット時代における中小企業の人材育成
- 3 道の行財政改革について
 - ・道財政の現状についての知事の認識と今後の見直し分析
 - ・道財政の中期試算に対応方策はもとより達成目標数値を含めることの知事の見解
 - ・事務事業の民間委託の目標数値を含めた年次計画策定
 - ・「職員数適正化計画」による職員削減の実績とその効果
 - ・新たに国に準ずる職員適正化計画を策定することの知事の見解
 - ・電子道庁の取組みの目的、内容及びその結果もたらされる利便性と人件費の削減を含めた効率化
 - ・関与団体の見直しによるこれまでの改善状況と改善されていないものについての理由と改善見直し
 - ・関与団体の業務に関して再度総点検を行うことの見解
 - ・道立施設の管理運営にあたって利用者の増加を図る方法と委託の実施
 - ・道立施設の管理運営委託に利用料金制度を導入することの見解
 - ・札幌医大において臨床実習に研修料を徴収することについての検討結果
 - ・医大病院の施設内保育所の民間業者への委託についての対応と給食業務、ポイラー業務、滅菌消毒業務等の委託化の進め方
 - 4 当面する道政上の諸課題について
 - ・エア・ドゥの経営状況の悪化の理由とこれまでの道の指導内容及び現在の経営状況
 - ・エア・ドゥの中期経営改善計画の破綻と知事の責任
 - ・エア・ドゥに対する道民の声についての知事の受け止めと対応
 - ・市町村合併についての本年度の取組と知事の基本的な姿勢
 - ・企業誘致に係る知事の見解と今後の進め方
 - ・北海道企業立地促進条例の見直しのねらいと従来の検討方向及び改正案がまとまる時期

- ・札幌の都心開発についての見解と旧拓銀ビルに対する知事の思い
- ・稲作農家の現状についての知事の受け止め
- ・稲作経営安定対策の効果についての評価
- ・農業経営所得安定対策の構築に向けた対応
- ・北海道米の道内消費率の推移
- ・今後の北海道米販売戦略と生産供給体制構築
- ・米づくりに転作を組み合わせた水田農業の条件整備への知事の見解
- ・北方漁業における減船対策などの国の動きと道としての取組
- ・北転船の漁獲枠と操業実績及び今後の北転船対策
- ・ロシア200海里内でのサケ・マス流し網漁業の本年の合意内容と本漁業に対する知事の見解
- ・太平洋小型サケ・マス流し網漁業の操業条件

5 教育問題について

- ・中高一貫教育に対する研究の成果と課題及び本格導入にあたっての基本的考え方
- ・四六協定部分削除による小中学校現場の実態
- ・四六協定の部分削除に伴う学校運営上の取扱いに係る全道共通マニュアルを作成し指導の徹底を図るべきとの考えについての見解
- ・長期休業中の職員研修の今後のスケジュール
- ・校長権限を制限する事項についての対処及び学校長から全面破棄すべきとの意見が強いことに対する見解
- ・18本の確認書等についての対処
- ・各教育局等で取り交わした確認書についての教育長の見解
- ・国旗・国歌問題について市町村教育委員会に調査した結果とその対処
- ・「北海道の教育に関する実態調査」の第1次報告で明らかになった勤務実態に対する対処と正式報告の時期

6 公安問題について

- ・重要犯罪や組織窃盗犯罪の現状認識と今後の対処
- ・ハイテク犯罪の現状と対策及び組織体制
- ・不法投棄事案の実態把握と取組
- ・道内の薬物の乱用実態と道警察としての取組等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後1時4分休憩。午後3時31分再開し、同議員から再質問。知事から答弁準備に時間を要する旨の発言があって、午後3時50分休憩。午後4時44分再開し、議案調査

のため6月21日の本会議を休会することを決定し、午後4時45分延会。

○6月22日(金) 午前10時27分開議、諸般の報告の後、議事進行の都合により、午前10時28分休憩。

午後4時25分再開し、

日程第1 議案第1号ないし第22号及び報告第1号を議題とし、一般質問を継続し、知事及び教育長から20日の佐藤議員の再質問に対する答弁があり、同議員から発言。午後4時50分延会。

○6月25日(月) 午後1時50分開議、諸般の報告の後、

日程第1 意見案第2号を議題とし、説明及び委員会付託を省略し採決に入り、異議なく原案可決。

日程第2 議案第1号ないし第22号及び報告第1号を議題とし、一般質問を継続し、

佐々木 恵美子議員(民主)から、

1 構造改革について

- ・経済財政諮問会議が示した基本方針の受け止め
- ・日本経済再生シナリオについての見解と本道経済再生シナリオについての考え
- ・不良債権の抜本処理の影響についての知事の考え及び影響緩和のためのセーフティネットの具体化についての対応
- ・IT・バイオなど新テクノロジーを活用した経済の再生・活性化対策
- ・公共投資の改革に備えた現実的対応
- ・地方財政制度の改革についての知事の所見
- ・平成14年度の道開発予算要望についての所見

2 雇用・失業対策について

- ・国の緊急雇用対策の道内の実績から見た目標を下回った要因
- ・新たな雇用交付金制度創設を国へ働きかけることについての所見
- ・労働債権の優先支払いや解雇制限等の法改正を国に働きかけることについての見解
- ・雇用保険の給付日数の改善
- ・職業訓練期間の延長
- ・再就職を支援する職業訓練の拡充強化

3 エア・ドゥ支援について

- ・経営姿勢についての知事の所見
- ・経営改善計画の改訂案に対する所見

- ・今後の道と同社の関わり方
- ・支援策についての知事の所見
- 4 ITERについて
 - ・実験終了後の廃棄物処分
 - ・地元の理解や協力が得られていない段階での誘致継続
- 5 聴覚障害児の早期発見とケア対策について
 - ・乳幼児検診の聴覚検査の現状
 - ・新生児の聴覚検査実施の利点
 - ・聴覚障害乳幼児療育事業の改善の必要性
 - ・新生児聴覚検査事業実施に対する道の見解
- 6 教育問題について
 - ・教科書採択にあたっての所見
 - ・教科書採択基準の改正の意図
 - ・選定委員会の役割と機能及び新学習指導要領の趣旨との関連
 - ・選定委員の構成における教員の役割と重要性
 - ・採択基準によると選定委員から教員の委員数が減ることに繋がりがかねないことについての所見
 - ・教科書用図書の過当宣伝行為の実態把握と道教委の見解及び対応
 - ・国旗掲揚についての市町村教委からの報告に基づく不適切事例の把握は慎重にすべきとの考えについての所見

等について質問があり、知事、保健福祉部長及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁があって、議事進行の都合により午後3時2分休憩。午後4時32分再開し、諸般の報告の後、

日程第2の議事を中止し、

追加日程 議案第23号を議題とし、追加提出議案に関する知事の説明。午後4時34分延会。

○6月26日(火) 午前11時28分開議、諸般の報告の後、

日程第1 報告第35号ないし第37号を議題とし、追加提出議案に関する知事の説明。

日程第1の報告第35号ないし第37号にあわせ、

日程第2 議案第1号ないし第23号及び報告第1号を議題とし、一般質問を継続。

船橋 利実議員(自民)から、

- 1 廃棄物について
 - ・産業廃棄物処理とリサイクルにかかるコスト
 - ・道内の処理処分費用の実態
 - ・道内の最終処分場の施設数と使用可能年数

- ・廃棄物の処理処分とリサイクルの現状を踏まえた廃棄物の区分の見直し
- ・廃棄物処理に関する法律が実態に即した法として整合性が図られるよう国に求めることについての見解
- ・道・市町村に裁量権をゆだねるよう国に働きかけるべきとする考えに対する見解
- 2 食品管理について
 - ・食品事故や苦情の内容と件数及びこれに対する行政処分の内容と件数並びに再発防止に向けた取組とその効果
 - ・食品衛生法に基づく国の通達についての認識
 - ・道として飲食店営業で調理師を食品衛生責任者として設置するための指導とその結果
 - ・食品衛生法及び道条例の改正等について検討することについての見解
- 3 エア・ドゥについて
 - ・経営姿勢についての認識
 - ・会社の具体的な経営努力
 - ・道策会社と言わざるを得ないエア・ドゥとの関わり方についての所見
 - ・支援の考え方及び支援するとしても今回限りとする事についての知事の所見
 - ・新経営改善計画における次年度以降の自立と支援が単年度である場合の整合性のとれた計画作成の目途
 - ・来年度以降の経営見通し
 - ・会社の自助努力と補助を行う考え方
 - ・万が一計画が破綻した場合の道の責任についての知事の認識
 - ・今後の経営内容のチェック
- 4 自衛隊機による訓練中の誤射について
 - ・今回の事故の事実関係に係る知事の把握内容
 - ・今回の事故に対する知事の認識
 - ・知事の今後の対応
- 5 教育問題について
 - ・幼児・児童生徒の安全確保及び学校の安全管理についての点検結果と措置状況を公表することについての見解
 - ・調査の結果報告された問題と取られた措置や取組

等について質問があり、知事、環境生活部長、保健福祉部長及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により午後零時12分休憩。午後2時17分再開し、

岡田 篤議員（民主）から、

- 1 航空自衛隊機の訓練中誤射について
 - ・知事の申し入れに対する自衛隊側からの謝罪の意思表示の有無及び回答内容
 - ・島松演習場の使用中止と今後のあり方の協議について知事として申し入れを行うべきとの考えについての所見
 - ・知事が防衛庁に直接訴えることの是非
- 2 エア・ドゥ問題について
 - ・エア・ドゥの自助努力の評価
 - ・追加支援を提案した知事のエア・ドゥへの思い
 - ・支援が同社の自立に向け十分かつ有効なもの判断できるかどうかの認識
 - ・経営改善計画の改訂案の妥当性の判断
 - ・道と同社の今後の関わり方
- 3 観光振興について
 - ・地域の特色ある観光地づくりと支庁のサポートについての知事の所見
 - ・条例の基本的理念に新たな視点を盛り込むことについての見解
 - ・道が広域的なコーディネート機能について指導・助言及び支援を行うことについての考え
 - ・外国人観光客受け入れのハード・ソフト整備の現状認識と対応
 - ・観光案内のあり方
- 4 景観の形成について
 - ・市町村の取組に対する道の働きかけ
 - ・広域景観形成の取組における実効性の確保
 - ・他の各条例との整理・連携
 - ・担い手の育成についての道の対応と育成機関の設立検討
 - ・青少年に対する景観に関する教育の充実強化
- 5 水産振興について
 - ・現在策定作業中の「北海道水産業振興条例」における水産業の位置付けと公益的機能
 - ・水産政策の分権化
 - ・道産の農林水産物の消費についての道民運動の展開
 - ・「北海道水産業振興条例」の名称を「北海道漁業・漁村振興条例」とすべきとする考えについての所見
 - ・水産物の生産目標設定
 - ・資源管理対策による経営の影響緩和措置
 - ・沿岸と沖合の資源の一体的管理システムの構

築

- ・ロシアとの水産資源の共同管理
 - ・こんぶの輸入割当制度についての現状把握と対応
- 6 C型肝炎対策について
 - ・道内のC型肝炎ウィルスのキャリアの推計と肝硬変・肝がんによる死亡者数
 - ・輸血による感染のおそれの有無
 - ・国の要請に対する今後の具体的取組
 - ・スクリーニング検査費用について受診者の負担とならないような配慮
 - ・国からの要請があった肝炎対策について補助制度の創設を国に要請することについての見解

等について質問があり、知事、保健福祉部長、経済部長、水産林務部長及び建設部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

岩本 剛人議員（自民）から、

- 1 へき地医療対策について
 - ・国の第9次へき地保健医療計画の内容及びへき地医療支援機構の役割
 - ・計画を踏まえた道の取組とスケジュール
 - ・札幌医科大学地域医療支援センターの設置の趣旨と今後の取組及びへき地医療支援機構が整備された場合の関係
 - ・へき地勤務医師に対する研修体制の確保
- 2 外郭団体の政策評価について
 - ・道の出資会社の点検評価の基本的考え方と取組
 - ・経営状態が悪化している出資会社への指導・支援
 - ・関与団体の点検評価と政策評価を一体的に進めることについての知事の考え

等について質問があり、知事及び保健福祉部長から答弁があった。議事進行の都合により、午後3時47分休憩。午後4時8分再開し、あらかじめ会議時間を延長し、

矢野 制光議員（民主）から、

- 1 農業経営安定対策について
 - ・本道農業者の経営状況の知事の認識
 - ・農家借入金の償還負担の軽減
 - ・農業経営所得安定対策についての取組状況
 - ・今後の対応について国に対して積極的に働きかけるべきという考えについての知事の所見
- 2 アウトドア活動の振興について
 - ・アウトドア活動の現状認識

- ・資格認定制度の検討にあたっての意向把握と制度の円滑なスタートに向けた取組
- ・資格認定制度と連動した人材育成
- ・資格認定制度導入後の取組
- ・アウトドア活動振興条例検討の背景・趣旨及び目指す姿
- ・推進体制の整備

3 森林づくりに関する条例について

- ・公募した意見の内容と条例検討への反映
- ・道民理解の促進のための行政と道民の協働
- ・林業・木材産業が地域循環型産業であると条例で位置付けることについての所見
- ・国有林と連携する仕組みの構築
- ・山村地域における定住促進など山村振興対策の強化

等について質問があり、知事、農政部長及び水産林務部長から答弁。

蝦名 大也議員（自民） から、

1 立地企業への助成について

- ・コールセンターへの助成について現行制度を残すべきとする考えについての見解
- ・コールセンターへの助成にあたっての業務内容の審査・把握
- ・コールセンターの人材育成及びスキルアップのサポート体制

2 市町村合併について

- ・合併協議会設置に対する道の認識
- ・道の具体的な個別の取組の必要性
- ・合併協議会設置促進に向けた今後の取組

等について質問があり、知事から答弁。午後4時56分延会。

○6月27日（水） 午前10時17分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第23号、報告第1号及び報告第35号ないし第37号を議題とし、一般質問を継続。

萩原 信宏議員（共産） から、

1 知事の政治姿勢について

- ・本道金融機関の不良債権額と不良債権の処理対象件数
- ・不良債権処理による企業倒産増大の見込み
- ・新たに発生する失業の規模
- ・不良債権処理による道内総生産予測
- ・不良債権の最終処理についての知事の認識
- ・道内信組監督指導における道の行政責任

- ・道の中小企業向け融資制度の利用促進
- ・中小零細企業者の資金繰りへの対応
- ・地方交付税削減に対する認識と道への影響
- ・交付税率の引き上げや財源の移譲を国に働きかける方法
- ・交付税の一方的削減への反対意思の表明
- ・公共事業が財政危機の要因であるとする見解への所見
- ・公共事業にも削減目標を設定することについての所見
- ・公共事業の選別及び優先度の設定についての知事の認識
- ・サンルダムの洪水対策対象地域
- ・道のサンルダム建設負担額と見直しの当否
- ・天塩川流域地域発展計画を立案することについての所見
- ・農家から問題ありと指摘されている国営土地改良事業の道としての実態把握
- ・事業が長期化し農家負担が増した土地改良事業について国に対応策を求めることについての所見
- ・土地改良事業の負担をする道として事業の見直しや優先度の決定を国に求めることについての所見
- ・炭素税・産廃処理税導入検討の具体的理由及び予定税収額並びに道民の負担増
- ・炭素税の灯油への課税
- ・サービス残業を規制する厚生労働省通知の知事の受け止めと今後の対処
- ・道職員で時間外勤務を上限の年間360時間以上行った職員数及び最長超勤時間
- ・長時間残業の早急な改善
- ・サービス残業の実態認識
- ・道としてあらためてサービス残業の実態把握を行うなどの対処を行うことについての見解
- ・6月18日から28日までの自衛隊の射撃訓練の事前通告の有無
- ・事故を起こした自衛隊機の飛行経路を明らかにするよう自衛隊に求めることについての所見
- ・島松射爆撃場の移転・撤去もしくは少なくとも訓練空域の見直しを直ちに求めることへの見解
- ・訓練再開に対する知事の決意

2 道民生活について

- ・シックハウスの相談数の推移と市町村への指導及び道の今後の対応
 - ・建材・内装材等についての危険性に対する指導などの道の取組
 - ・建材や換気施設の基準づくりを求めるなど国に働きかけることについての見解
 - ・ドメスティックバイオレンス防止法に基づく道の対策
 - ・配偶者暴力相談支援センターの整備にあたり札幌だけでなく函館・旭川にも一時保護施設を増設し対策を強化すべきとの考えについての見解
- 3 経済・産業開発について
- ・刈羽村のプルサーマル導入に関する住民投票結果の知事の受け止め
 - ・住民投票など道民の意思の反映に積極的に取り組むことについての所見
 - ・プルサーマルの危険性・問題点の知事の認識
 - ・国に対してプルトニウム循環路線を見直すことを求めるとともに北電に対してプルサーマル計画を中止するよう求めることについての知事の見解
 - ・エア・ドゥに対して10億円の融資を実行したにもかかわらず危機は依然続いているとの認識の有無
 - ・先の10億円融資により資金繰りが可能となるという答弁についての見解
 - ・エア・ドゥ経営の監視方法
 - ・エンジン修理についての認識と道がこれを知った時期
 - ・エア・ドゥの支援目標
 - ・廃家電品の不法投棄の実態
 - ・国に対して家電メーカーの責任を明確にするよう求めることについての知事の考え
 - ・土地改良区が党費等の肩代わりなど違法行為を長期間行ってきたことについての知事の認識
 - ・土地改良区の管理監督責任
 - ・土地改良区に対する調査方法
 - ・漁協など道から補助金等を受けている団体の政治活動団体に対する寄付の是非
 - ・その他の寄付行為が禁止されている団体の違法支出の有無の調査を実施することについての所見
- 4 教育問題について

- ・新しい歴史教科書をつくる会の教科書が歴史的事実を学ぶことを否定し歴史認識の科学性を拒否しているとの考えについての見解
- ・つくる会の教科書では歴史を正しく知ることができずアジア諸国との協調心を養うことができないとの考えについての見解
- ・黒竜江省との友好・提携に歴史教科書問題がマイナス要因になっているという指摘に対する考え
- ・通学区制の撤廃による競争教育の激化
- ・時代錯誤の社会奉仕体験の義務化
- ・問題を起こす子どもへの出席停止措置が教育を受ける権利の制限になるという見解についての所見
- ・指導が不適切な教員の配転が教職員への管理主義の強化になるという批判についての見解
- ・職場の環境づくり

等について質問があり、知事、総務部長、環境生活部長、農政部長、建設部長、選挙管理委員長及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午後零時10分休憩。午後1時25分再開し、

井上 真澄議員（道民） から、

- 1 観光の振興について
- ・政策の適正な選択における道政運営上の配慮
 - ・21世紀北の森づくり推進事業実施にあたっての森林所有者への周知や市町村との連携
 - ・森づくり事業についての関係事業者や市町村の要請内容及び流域管理システム確立の手立てと対策
 - ・道民参加の森づくりのあり方も含めた今後の森づくりの方法・手段
 - ・森づくりに対する配慮
 - ・林道網の計画的整備と環境保全とのバランス
 - ・都市の緑化に対する基本的な知事の考えと今後の推進方策
 - ・海岸線の緑化
 - ・景観づくりの趣旨の道民への周知
 - ・景観づくりの視点
 - ・関係機関と連携した魅力ある新商品の開発
 - ・農林水産物の販売戦略
 - ・道産品の販路拡大
 - ・橋梁の改善など観光ルートの整備
 - ・観光ルートの整備にあたっての自然型工法の導入
 - ・特に過疎地域などの情報通信基盤の整備促進

・観光分野を支える人材育成に関連した学校配置のあり方

・道内の理数系教育の実態と科学技術への対応
・我が国の食糧供給基地としての使命を担う人材育成のための専門学校のあるあり方

2 北海道国際航空への支援について

・支援に対する道民の意見と知事の受け止め
・赤字を生む原因とその手当及びエア・ドゥの道民への経済効果
・知事が取えて補助金による支援を行うこととした考え

等について質問があり、知事、建設部長及び教育長から答弁。
同議員から再質問、知事から答弁。

佐藤 英道議員（公明） から、

1 自衛隊機着弾事故について

・早急な事故原因の究明を求めることはもちろん原因解明まで訓練中止を図るなどの適切な対応についての知事の所見

2 住宅問題について

・高齢者の居住の安定確保に関する法律に基づく登録制度の道の取組と市町村等関係機関との協力関係
・道の第8期住宅建設5箇年計画における高齢者の居住安定に関する検討状況

3 児童・生徒の安全対策について

・大阪教育大付属池田小学校における児童殺傷事件を受けて道内の小中学校や幼稚園・保育所の安全管理体制の総点検を実施すべきとの考えに対する所見
・道・道教委・札幌市教委・道警による緊急連絡会議で確認された方針と連携強化の内容及び既に取られた対策
・「学校等安全対策協議会」等を設置した地域と連携した安全対策
・マニュアルを作成するなどの学校における今後の安全体制づくりと民間警備会社等を活用した警備体制の強化

4 交通対策について

・道内暴走族の実態と対策
・12500以下の二輪車のナンバープレート隠蔽等に対する取締り
・暴走族根絶条例や暴走族追放宣言等を制定することについての知事の考え
・学校等における暴走族対策の環境づくり
・暴走族根絶条例の必要性についての警察本部

長の見解

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。

柿木 克弘議員（自民） から、

1 公金のペイオフ対策について

・「ペイオフ問題対策庁内検討会議」における方針と結論を得る時期
・道の預金の現状とペイオフ対応策

・道内市町村への対応

2 ヒグマ対策について

・ヒグマ対策の取組状況
・渡島半島地域ヒグマ保護管理計画の内容
・春季管理捕獲実施の基本的考え方と内容
・全道的なヒグマ対策の展開

3 住宅行政について

・第8期住宅建設5箇年計画についての住宅対策審議会の答申内容
・第8期計画における住宅建設の目標及び住宅建設の量
・第8期計画における高齢者対策
・公営住宅のストックの水準向上と老朽化した住宅の再生
・公営住宅のペット飼育についての知事の考え
・公営住宅でペット飼育が可能となるような施策を講じることについての見解

等について質問があり、知事及び環境生活部長から答弁。議事進行の都合により、午後3時6分休憩。午後3時28分再開し、あらかじめ会議時間を延長し、

三井 あき子議員（民主） から、

1 中小企業の金融対策について

・小規模零細企業への支援
・信用組合と中小零細企業及び地域経済との関連についての認識
・信用組合の道の監督責任
・融資制度の拡充など具体的中小企業対策
・旭川信組破綻後の新組合設立に係る道の支援についての考え

2 DV防止法に伴う道の取組について

・DV防止法の施行に向けての対応
・保護命令を受けるための申し立てに時間を要することについての見解と国に対する改善への働きかけ
・一時保護を行うための駆け込みシェルターの確保についての知事の認識
・保健福祉部が所管する女性相談援助センターを女性政策を総合的に推進するため環境生活

部に所管替えすることについての見解

3 人権の推進について

- ・人権尊重社会の実現に向けた道の役割
- ・人権に関連した道条例の制定状況と道の取組の現状
- ・人権啓発及び人権教育の推進を含めた条例制定についての見解

4 種子・種苗の管理・開発について

- ・農業技術研究開発における国際交流の考え方
- ・種苗提供に関する内規見直しの検討状況と今後の方針
- ・馬鈴薯に関する遺伝子組み換え研究の必要性
- ・道立農業試験場が遺伝子組み換え作物の研究開発を進める上での基本的考え方

等について質問があり、知事から答弁。

鎌田 公浩議員（自民） から、

1 交通安全対策について

- ・本道交通事故死者数が9年連続ワーストワンになる要因
- ・交通安全の理解と意識高揚対策の必要性
- ・地域の特徴に応じた啓発活動の取組状況
- ・全国ワーストワン返上のため今後の半年間で推進する対策と知事の決意

2 公安問題について

- ・すすきの地区の違法駐車の現状
- ・中央警察署によるすすきの地区違法駐車一掃作戦の体制など
- ・すすきの地区違法駐車取締りの結果と効果
- ・すすきの地区の環境浄化のための今後の取組についての警察本部長の見解

等について質問があり、知事、環境生活部長及び警察本部長から答弁。

中里 慶三議員（自民） から、

1 有珠対策について

- ・被災中小企業者の既往借入金の返済対策資金の今後の対応
- ・被災地域の雇用についての交付金事業の検討状況と今後の雇用対策

2 野菜の振興について

- ・最近の野菜の輸入や価格の動向
- ・野菜の価格安定制度の対象となる野菜指定産地の指定状況、特にセーフガード対象のネギの指定状況
- ・価格安定制度の対象となるよう指定産地の指定を受けることについての道のこれまでの指

導内容と今後の指導

- ・今後の産地対策

3 有珠優健学園について

- ・入所児童の状況や老朽化など学園の現状
- ・情緒障害児短期治療施設の必要性
- ・学園を情緒障害児短期治療施設と位置付ける必要性
- ・学園に係る道の今後の取組

等について質問があり、知事、保健福祉部長及び農政部長から答弁。

稲津 久議員（公明） から、

1 北海道国際航空に対する支援について

- ・当初エア・ドゥが道に求めてきた60億円の支援による自立の可能性
- ・道の支援策は3分の1の20億円であり残り3分の2の目途についての所見
- ・補助金支出の適法性の認識及び結果的に道民に損害を与えることとなった場合の対処
- ・国に対して新規参入者の育成策を講じることを求めることについての所見
- ・エア・ドゥの自立にこだわらずロープライス思想を継承する先を模索することについての所見

2 精神障害者問題について

- ・処遇困難な精神障害者の精神病院の受入れについての道の取組
- ・在宅の処遇困難精神障害者に対するフォローアップ

3 温泉療法の推進と魅力ある温泉観光地づくりについて

- ・疾病予防や健康増進の観点からの温泉療法の有効性
- ・道の研究機関で実証研究を行うなど温泉療法の有効性把握についての所見
- ・温泉療法の普及拡大のため「温泉療法士」の養成確保に向けた対策を講じるよう国に働きかけるなどの道の対応
- ・温泉療法を組み合わせた温泉観光地づくりについての知事の考えとその対処

4 道立高等技術専門学院について

- ・離転職者を対象とする職業訓練の状況及び学院の持つ機能
- ・「道立技術専門学院整備基本方針」に沿った今後の学院の整備
- ・民間との役割分担

- ・普通課程においては民間との均衡から有料化を検討すべきとの考えについての知事の所見
- 5 スクールカウンセラーについて

- ・スクールカウンセラーの配置や活用など調査研究の視点
- ・道内の配置人員と資格者別内訳
- ・有資格者の確保や配置など今後の取組

等について質問があり、知事、保健福祉部長及び教育長から答弁。同議員から発言があって質疑並びに質問を終結。

議長から、予算及び決算に関する案件について、本議会に31人の委員をもって構成する予算特別委員会及び19人の委員をもって構成する企業会計決算特別委員会を設置し、関係案件を両特別委員会にそれぞれ付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（31人）

井上 真澄（道民）	池本 柳次（民主）
木村 峰行（民主）	遠藤 連（自民）
柿木 克弘（自民）	田渕 洋一（自民）
中里 慶三（自民）	加藤 礼一（自民）
久保 雅司（道民）	花岡ユリ子（共産）
稲津 久（公明）	荒島 仁（公明）
矢野 制光（民主）	沢岡 信広（民主）
林 大記（民主）	喜多 龍一（自民）
瀬能 晃（自民）	原田 裕（自民）
前田 康吉（自民）	板谷 實（自民）
加藤 唯勝（自民）	川村 正（自民）
小池 昌（自民）	高橋由紀雄（民主）
平出 陽子（民主）	大橋 晃（共産）
土田 弘（民主）	西本 美嗣（民主）
和田 敬友（自民）	小野寺 勇（自民）
久田 恭弘（自民）	

○企業会計決算特別委員（19人）

新野至都子（共産）	池本 柳次（民主）
木村 峰行（民主）	蝦名 大也（自民）
遠藤 連（自民）	伊東 良孝（自民）
斉藤 博（民主）	佐藤 英道（公明）
村井 宣夫（道民）	林 大記（民主）
船橋 利実（自民）	本間 勲（自民）
川尻 秀之（自民）	川村 正（自民）
伊藤 政信（民主）	段坂 繁美（民主）
永井 利幸（自民）	勝木 省三（自民）
平野 明彦（自民）	

残余の案件については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の各常任委員会に付託した。

各委員会付託議案審査のため、6月28日から6月29日まで休会することに決定し、午後5時15分散会。

○7月2日（月） 午後4時20分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、今期定例会の会期を、議事の都合により、7月3日まで1日間延長することを決定。午後4時22分散会。

○7月3日（火） 午後4時27分開議、諸般の報告の後、あらかじめ会議時間を延長し、

日程第1 議案第1号ないし第23号及び報告第1号を議題とし、予算特別委員長、総務副委員長、環境生活委員長、建設委員長、農政委員長、水産林務委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

討論に入り、日高令子議員（共産）から、議案第2号、第5号、第6号、第12号、第13号、第23号及び報告第1号に関する反対討論並びに議案第18号ないし第20号に関する賛成討論があって討論終結。

採決に入り、議案第23号を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて起立多数により可決。

次に、議案第2号、第5号、第6号、第12号、第13号及び報告第1号を問題とし、委員長報告（議案はすべて可決、報告は承認議決）のとおり決することについて起立多数により可決。

次に、議案第1号、第3号、第4号、第7号ないし第11号及び第14号ないし第22号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて異議なく原案可決。

日程第2 議案第24号ないし第27号を議題とし、追加提出議案に関する知事の提案説明。委員会付託を省略し、採決に入り、まず議案第24号を問題とし、起立多数により同意議決。次に、議案第25号ないし議案第27号を問題とし、異議なく同意議決。

日程第3 苫小牧港管理組合議会議員、石狩東部広域水道企業団議会議員、石狩湾新港管理組合議会議員及び石狩西部広域水道企業団議会議員の補欠選挙に入り、指名推選の方法をもって議長指名により次の議員を選出。

○苫小牧港管理組合議会議員（2人）

板谷 實（自民） 井野 厚（民主）

○石狩東部広域水道企業団議会議員（2人）

沢岡 信広（民主） 山口幸太郎（自民）

○石狩湾新港管理組合議会議員（6人）

井上 真澄（道民） 花岡ユリ子（共産）

滝口 信喜（民主） 林 大記（民主）

鎌田 公浩（自民） 水城 義幸（自民）

○石狩西部広域水道企業団議会議員（2人）

見延 順章（自民） 高橋由紀雄（民主）

日程第4 意見案第3号ないし第10号を議題とし、説明及び委員会付託を省略し、山根泰子議員（共産）から意見案第6号に関する反対討論があつて討論を終結。採決に入り、まず、意見案第6号を問題とし、起立多数により原案可決。次に意見案第3号ないし第5号及び第7号ないし第10号を問題とし、異議なく原案可決。

日程第5 請願審査の件を議題とし、委員長報告を省略の上採決に入り、異議なく請願審査報告書（採択）のとおり決定。

閉会中継続審査の件について、企業会計決算特別委員長から申し出のあつた報告第35号ないし第37号について、申し出のとおり閉会中継続審査に付することを決定。

閉会申請願・陳情継続審査及び事務調査の件について、各常任委員長並びに議会運営委員長、総合開発調査特別委員長、産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員長及び少子・高齢社会対策特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査又は調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、報告第35号ないし第37号を除きすべて議了。

議長から閉会のあいさつがあつて、午後5時11分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は6月27日に設置され、平成13年度一般会計補正予算案が付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行うとともに、二分科会を設置し、案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行い、6月28日から各部所管の審査に入

り、6月29日をもって、総括質疑に保留された事項を除き、各分科会の質疑を終了し、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

分科会において質疑保留となった事項、

一、エア・ドゥについて

一、島松射爆撃場について

などに関し、本委員会において、昨日、総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。

その後、直ちに各案件について意見の調整を図りました結果、議案第23号につきましては、意見の一致を見るに至らず、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決と決定した次第であります。

なお、審査の経過にかんがみ、次の意見、すなわち、

一、エア・ドゥへの追加支援に対する厳しい道民意見を真摯に受けとめ、道としては、今回の支援をもとにエア・ドゥが民間企業として自立できるよう、経営改善に向けた取り組みの進捗状況や経営状況を厳しくチェックし、必要な指導を行うべきである。

また、予算の執行に当たっては、同社にさらに厳しい具体的な改善方策を早急に取りまとめさせ、その状況を踏まえて行うべきである。

一、信用組合の経営破綻に伴う地域経済に与える影響を緩和するため、道としては、必要な支援策を講じ、地域経済の安定に万全を期すべきである。

との意見を付されたい旨の動議が提出され、採決の結果、賛成者多数をもってこれを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案審査の経過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

提出案件

第2回定例会において知事から提出のあった案件

議案

提出年月日	番号	件名	付託委員会	議決年月日	議決結果
13. 6. 15	1	北海道性風俗営業等に係る不当な勧誘、料金の取立て等の規制に関する条例案	総務	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	2	北海道税条例の一部を改正する条例案	総務	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	3	低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	総務	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	4	北海道議会議員及び北海道知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案	総務	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	5	北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例案	環境生活	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	6	北海道建設部の事務処理の特例に関する条例の一部改正する条例案	建設	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	7	北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案	建設	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	8	北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例案	建設	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	9	北海道警察組織条例の一部を改正する条例案	総務	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	10	北海道新産業都市建設協議会条例を廃止する条例案	総務	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	11	国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農政	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	12	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建設	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	13	北海道道の路線の認定及び廃止に関する件	建設	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	14	工事請負契約の締結に関する件（道道天人峡美瑛線天人橋架換（上部工）工事）	建設	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	15	工事請負契約の締結に関する件（道道洞爺虻田線道路改良（擁壁工）工事）	建設	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	16	工事請負契約の締結に関する件（3・3・2大川橋線一種改築（大川橋架設）工事（債務））	建設	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	17	工事請負契約の締結に関する件（北海道警察本部琴似庁舎新築工事）	総務	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	18	工事委託契約の締結に関する件（古平町公共下水道処理場及びポンプ場建設工事）	建設	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	19	工事委託契約の締結に関する件（留寿都村特定環境保全公共下水道処理場建設工事）	建設	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	20	工事委託契約の締結に関する件（共和町特定環境保全公共下水道処理場建設工事）	建設	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	21	財産の取得に関する件（建物・北海道庁別館西棟用）	総務	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 15	22	財産の処分に関する件（土地・亀田郡七飯町字大中山122番1）	水産林務	13. 7. 3	原案可決
13. 6. 25	23	平成13年度北海道一般会計補正予算（第2号）	予算特別	13. 7. 3	原案可決
13. 7. 3	24	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件		13. 7. 3	同意議決
13. 7. 3	25	北海道監査委員の選任につき同意を求める件		13. 7. 3	同意議決
13. 7. 3	26	北海道採用委員会委員及び北海道採用委員会予備委員の選任につき同意を求める件		13. 7. 3	同意議決
13. 7. 3	27	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		13. 7. 3	同意議決

報 告

提出年月日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議 決 年 月 日	議 事 結 果
13. 6. 15	1	専決処分報告につき承認を求める件（北海道税条例等の一部を改正する条例、平成13年3月30日専決処分）	総 務	13. 7. 3	承認議決
13. 6. 15	2	平成12年度北海道繰越明許費繰越計算書報告の件			報告のみ
13. 6. 15	3	平成12年度北海道電気事業会計予算繰越計算書報告の件			報告のみ
13. 6. 15	4	平成12年度北海道工業用水道事業会計予算繰越計算書報告の件			報告のみ
13. 6. 15	5	北海道住宅供給公社の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	6	北海道土地開発公社の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	7	社団法人北海道中小企業振興基金協会の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	8	財団法人北海道体育文化協会の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	9	財団法人北海道水産加工振興基金協会の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	10	社団法人北海道産炭地域振興センターの経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	11	財団法人北海道私立高等学校奨学会の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	12	社団法人北海道軽種馬振興公社の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	13	財団法人北海道ボランティア振興協会 財団法人北海道地域活動振興協会 の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	14	財団法人北方圏交流基金の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	15	財団法人北海道中小企業振興公社 財団法人北海道中小企業総合支援センター の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	16	財団法人北海道埋蔵文化財センターの経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	17	財団法人北海道開拓の村の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	18	財団法人北海道高齢者問題研究協会の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	19	財団法人北海道森林整備公社の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	20	財団法人北海道住宅管理公社の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	21	財団法人北海道長寿社会振興財団の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	22	財団法人道民活動振興センターの経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	23	財団法人北海道暴力追放センターの経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	24	社団法人北海道栽培漁業振興公社の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	25	財団法人北海道建設技術センターの経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	26	財団法人北海道科学・産業技術振興財団の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	27	財団法人北海道公営企業振興協会の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	28	財団法人新千歳空港周辺環境整備財団の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	29	財団法人北海道環境財団の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	30	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	31	社団法人北海道民間社会福祉事業職員共済会の経営状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	32	土地信託の事務処理状況に関する件			報告のみ
13. 6. 15	33	専決処分報告の件（和解に関する件、平成13年5月15日専決処分）			報告のみ

提出年月日	番号	件名	付託委員会	議決年月日	議事結果
13. 6. 15	34	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、平成13年3月21日4件、平成13年3月22日3件、平成13年3月26日3件、平成13年3月27日9件、平成13年3月30日1件、平成13年4月2日2件、平成13年4月3日1件、平成13年4月11日3件、平成13年4月12日1件、平成13年4月16日1件、平成13年4月19日18件、平成13年4月25日7件、平成13年5月7日1件、平成13年5月9日1件、平成13年5月10日1件、平成13年5月22日3件、平成13年5月25日1件、平成13年5月31日10件、平成13年6月1日2件、平成13年6月8日1件専決処分）			報告のみ
13. 6. 26	35	平成12年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計決算特別	13. 7. 3	継続審査
13. 6. 26	36	平成12年度北海道電気事業会計決算に関する件	企業会計決算特別	13. 7. 3	継続審査
13. 6. 26	37	平成12年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	企業会計決算特別	13. 7. 3	継続審査

第2回定例会において議員から提出のあった案件

決議案

提出年月日	番号	件名	提出者	議決年月日	議事結果
13. 6. 19	1	産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会設置に関する決議	釣部 勲議員ほか14人	13. 6. 19	原案可決

意見案

提出年月日	番号	件名	提出者	議決年月日	議事結果
13. 6. 15	1	「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」の取りまとめに関する意見書	原田 裕議員ほか4人	13. 6. 15	原案可決
13. 6. 25	2	北方四島周辺水域における韓国さんま漁船の操業問題に関する意見書	鯉谷 忠議員ほか12人	13. 6. 25	原案可決
13. 7. 3	3	児童・生徒殺傷事件再発防止に関する意見書	原田 裕議員ほか5人	13. 7. 3	原案可決
13. 7. 3	4	航空自衛隊による射撃事故に関する意見書	原田 裕議員ほか5人	13. 7. 3	原案可決
13. 7. 3	5	新たな雇用対策の創設等を求める意見書	高橋由紀雄議員ほか12人	13. 7. 3	原案可決
13. 7. 3	6	新たな農業経営政策の確立に関する意見書	本間 勲議員ほか12人	13. 7. 3	原案可決
13. 7. 3	7	トドによる漁業被害対策の強化を求める意見書	鯉谷 忠議員ほか12人	13. 7. 3	原案可決
13. 7. 3	8	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	佐藤 寿雄議員ほか13人	13. 7. 3	原案可決
13. 7. 3	9	北方領土問題等の解決促進に関する意見書	瀬能 晃議員ほか13人	13. 7. 3	原案可決
13. 7. 3	10	介護保険制度の改善を求める意見書	伊藤 政信議員ほか14人	13. 7. 3	原案可決

決 議 案

決議案第1号 産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会設置に関する決議

平成13年2定
釣部 勲 議員ほか14人提出
平成13年6月19日 原案可決

- 1 産炭地域振興対策特別委員会（平成11年5月21日設置）及びエネルギー問題調査特別委員会（平成11年5月21日設置）を廃止し、新たに本議会に17人の委員をもって構成する産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会を設置する。
- 2 本委員会は、次の事項について必要な調査を行う。
 - (1) 既存炭鉱の存続と安定に関すること。
 - (2) 産炭地域における産業・生活基盤の整備等産炭地域振興の推進に関すること。
 - (3) 炭鉱労働者（離職者を含む。）の生活と雇用の安定推進に関すること。
 - (4) 省エネルギーの促進及び新エネルギーの研究開発・利用促進に関すること。
 - (5) 原子力発電に伴う諸事項に関すること。
 - (6) その他必要と認める事項。
- 3 本委員会は、前項に関する関係常任委員会所管事務について連絡調整を行う。
- 4 本委員会は、閉会中も調査を行うことができることとし、議会において調査終了を議決するまで継続存置する。
- 5 経過措置
旧エネルギー問題調査特別委員会に付託審査中の請願第14号及び第36号ないし第49号並びに陳情第8号ないし第14号、第19号ないし第26号、第28号及び第43号は、産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会に付託がえしたものとみなす。

意 見 書

意見案第1号 「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」の取りまとめに関する意見書

平成13年2定
原田 裕 議員ほか4人提出
平成13年6月15日 原案可決

現在、国の経済財政諮問会議においては、日本経済の再生に向け、経済の活性化や国と地方とのあり方、社会資本整備、社会保障制度など、幅広い分野に係る構造改革についての議論を

進め、「今後の経済財政運営や経済社会の構造改革に関する基本方針」として、取りまとめようとしている。

こうした国が進めようとしている改革については、基本的には、本道が進めている自主・自律の地域づくり、構造改革の取り組みと考え方を同じくするものであり、また、国の地方への関与を大幅に縮減していくという方向性は、地方分権の基本理念にも沿ったものでもある。

21世紀において、国民の誰もが安心して暮らすことのできる社会を築いていくためには、都市と地方それぞれの役割や違いを十分認識し、我が国のグランドデザインを描いていくことが必要である。

このため、「基本方針」の取りまとめに当たっては、我が国の発展に大きく貢献している地方の役割を、その中でしっかりと位置づけるとともに、国においては次の事項に十分配慮されるよう、強く要望する。

記

1 地方交付税制度について

- (1) 地方交付税は地方固有の財源であり、制度の見直しに際しては、国と地方との役割分担や税財源配分といった基本的な枠組みについて、議論を十分に尽くすこと。
- (2) 地方への権限委譲に当たっては、単なる国から地方への負担転嫁とならないよう、地方交付税の財源保障機能の充実など、必要な財政措置を講ずること。
- (3) 税源が偏在している現状において、各地方団体が公正な地域間競争を行いつつ自立していく上で、地方交付税の財政調整機能が必要不可欠であり、その機能の維持を図ること。

2 社会資本の整備について

- (1) 今後の社会資本の整備は、地域が主体となって自らの将来像を描き、その実現に向けて必要な分野に重点化していくことが重要であり、地方の自主性が一層発揮できる制度の確立に努めること。
- (2) 環境の保全や食料の安定供給などの面で、我が国全体に貢献する本道の役割に応じた社会資本の整備を推進すること。
- (3) 自動車交通への依存度が大きい本道にとって、道民生活や産業活動に欠かせない道路の整備が引き続き重要であることから、今後とも、財源の確保の仕組みを維持すること。

3 セーフティーネットの整備について

厳しい雇用情勢が続いている北海道にとって、改革の取り組みの進展に伴い、地域経済や雇用の面などに大きな影響が生ずることも懸念されることから、改革と一体となったセーフティーネットの充実に万全な措置を講ずること。

右地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長

衆議院議長 }
参議院議長 } 各通
内閣総理大臣 }

意見案第 2 号 北方四島周辺水域における韓国さんま漁船の操業問題に関する意見書

〔平成13年 2 定〕
〔鯉谷 忠 議員ほか12人提出〕
〔平成13年 6 月25日 原案可決〕

このたび、韓国・ロシア連邦両政府間の合意に基づき、ロシア連邦が韓国さんま漁船に対し、我が国固有の領土である北方領土の周辺水域における操業を認めたことは、北方領土問題の解決を含む平和条約の締結に関する日ロ両国間の外交交渉が展開されている中であって、道民は重大な関心と危惧の念を抱いている。

また、この水域は、本道の漁業者が開拓し、永年にわたり漁業を行ってきた重要な漁場であり、韓国さんま漁船の操業は、本道漁船の操業に大きな影響を与えることが懸念される。

よって、国においては、両国に対して引き続き合意撤回を強く働きかけ、日ロ間における今後の領土交渉に支障が生じないようにするとともに、本道漁業者の安定的な操業が確保されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 酒 井 芳 秀

衆 議 院 議 長 }
参 議 院 議 長 } 各 通
内 閣 総 理 大 臣 }
外 務 大 臣 }
農 林 水 産 大 臣 }
沖 縄 及 び 北 方 対 策 担 当 大 臣 }

意見案第 3 号 児童・生徒殺傷事件再発防止に関する意見書

〔平成13年 2 定〕
〔原田 裕 議員ほか 5 人提出〕
〔平成13年 7 月 3 日 原案可決〕

去る 6 月 8 日、大阪府池田市において、白昼、小学校に侵入した男に 1、2 年生の児童が襲われ、8 人が殺害され、教諭 2 人を含む 15 人が負傷するという大変痛ましい事件が発生した。

全国的にも、「開かれた学校」を進めようとする中、安全であるべき学校で発生したこのような事件は、保護者のみならず地域住民や多くの国民に大きな衝撃を与えたところであり、今後、二度と起こることのないよう、万全な安全対策を講ずる必要がある。

よって、国においては、今後、こうした事件の再発を防止し、児童・生徒が安心して学べ

る環境となるよう、左記の対策を早急に講ずるよう強く要望する。

記

- 1 小・中学校や幼稚園・保育所の安全管理体制を総点検するとともに、万が一、事件が発生した場合の対応方法について、マニュアルを作成するなど、学校等の安全に万全を期すこと。
- 2 教職員・保護者を含めた地域住民や市町村、警察さらには地域の青少年育成団体などを構成員とする「学校等安全対策協議会」（仮称）を設置するなど日常的に地域ぐるみで学校等の安全性を確保する体制を構築すること。

右地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 酒 井 芳 秀

衆議院議長 }
参議院議長 } 各通
内閣総理大臣 }
文部科学大臣 }
厚生労働大臣 }

意見案第 4 号 航空自衛隊による射撃事故に関する意見書

〔平成13年 2 定
原田 裕 議員ほか 5 人提出
平成13年 7 月 3 日 原案可決〕

平成13年 6 月 25 日 午前、自衛隊島松演習場で空対地射爆撃訓練を実施中の航空自衛隊の F-4 E J 戦闘機が、20 ミリ 訓練弾を演習場外で発射する事故が発生した。

発射された訓練弾は、北広島市内に所在する社会福祉施設やゴルフ場等に着弾して、駐車中の乗用車や建物が被弾するという被害が発生し、地元住民はもとより道民に大きな不安を与えたことは極めて遺憾である。

島松射爆撃場の周辺には人家等が密集しているところが多く、自衛隊の演習や訓練に当たっては、安全対策や事故防止に万全を期すべきであり、この種の事故はあってはならないものである。

よって、国においては、次の事項が実現されるよう強く要望する。

記

- 1 事故の原因を早急に究明し、原因が明らかになるまで訓練を中止すること。
- 2 二度と事故が起こらないように、訓練のあり方を見直すなど万全の対策を講ずること。

右地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 酒 井 芳 秀

衆議院議長 }
参議院議長 } 各 通
内閣総理大臣 }
防衛庁長官 }

意見案第5号 新たな雇用対策の創設等を求める意見書

〔平成13年2定
高橋 由起雄議員ほか12人提出
平成13年7月3日 原案可決〕

北海道は、拓銀の経営破綻以降、倒産が相次ぎ、昨年の負債総額は約3,020億円、全国でも高い失業率と深刻な雇用不安が続いている。しかも、雇用保険受給期間を過ぎても再就職できない長期失業者や当初から雇用保険を受けられない人々が増大している。

このような事態の下で、労働省が平成11年に具体化した緊急地域雇用特別基金事業は、道内各地で実施され、地域の失業者の雇用の場を提供し、効果を発揮している。

しかし、道内における有効求人倍率は改善が見られず、完全失業率が全国4月の4.8%に対し、北海道の1月から3月期は6.3%となっている。このように依然として道民生活に明るさが見られない中で、我が国経済の再生に向けた構造改革による不良債権処理などに伴い、離職を余儀なくされ、失業者が増大するなど、さらなる雇用への影響が懸念される。そうした影響が最小限となるよう新たな雇用対策の創設などが求められる。

よって、国においては、次の事項を実施するよう強く要望するものである。

記

- 1 新規・成長分野雇用創出特別奨励金、緊急雇用創出特別奨励金の継続。
- 2 新たな緊急雇用特別対策の実施。
- 3 雇用危機に対応するための支援制度の創設。

右地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 酒 井 芳 秀

衆議院議長 }
参議院議長 } 各 通
内閣総理大臣 }
財 務 大 臣 }
厚生労働大臣 }

意見案第 6 号新たな農業経営政策の確立に関する意見書

平成13年 2 定
本間 勲 議員ほか12人提出
平成13年 7 月 3 日 原案可決

北海道の農業は、恵まれた土地資源を生かし、水田・畑作・酪農など土地利用型農業を主体に、我が国の主要な食料供給基地として、食料の安定供給や農業の多面的機能の発揮などに大きな役割を担ってきたが、農産物価格の低落や輸入農産物の急増、既往借入金の重い償還負担などにより、本道の農業生産を支えている専門的な農家の経営は極めて厳しい状況に直面しており、このことがまた、農村地域の活力の低下をもたらしている。

このような情勢の中で、国は、食料・農業・農村基本法で掲げる今後の農業生産の相当部分を担うことが期待される「育成すべき農業経営」の経営意欲が減退しかねない状況にあることを踏まえ、これらの農業経営が意欲をもって経営改善に取り組めるよう、新たな「経営を単位とした農業経営所得安定対策」を含む経営政策の見直し・再編に向けた検討に着手し、今後、その方向を示す「経営政策大綱」を策定することとしている。

本道農業・農村が、引き続き国民が求める安全で良質な食料の安定供給を初め、食料自給率の向上、農業の多面的機能の発揮、循環型社会の構築などに一層寄与するためには、本道農業の生産の主体となっている専門的な農業経営が、将来に向けて意欲をもって経営の改善や生産活動に取り組めるような新たな農業経営所得安定対策や農村地域の活性化に資する施策の充実等が重要となっている。

よって、経営政策の見直し・再編の検討に当たっては、このような北海道農業・農村の特質や実態を考慮し、次の事項に配慮されるよう要望する。

記

1 専門的な経営に焦点を当てた経営政策の確立

経営政策の見直し・再編の検討に当たっては、専門的な農業経営に焦点を当てたものとするとともに、多様な担い手の育成・確保や優良農地の維持・確保とその利用集積など望ましい農業構造の確立につながるものとする。

2 経営を単位とした新たな農業経営所得安定対策の創設

育成すべき農業経営が意欲を持って経営改善等に取り組めるよう、経営を単位とした新たな対策の検討を一層促進するとともに、農業経営の実態や現行の品目別経営安定対策等の効果、課題などを踏まえ、専門的な農業経営の安定に実効ある対策とすること。

3 生産振興対策等との関連

農業の持続的な発展を図る上で必要となる生産振興や農村活性化等の政策についても、経営政策との関係などの検討を行い、その位置づけを明確にした上で、適切な措置を講ずること。

また、農業の公益的・多面的機能の発揮や自然循環機能の維持増進を図るための施策のあり方について、諸外国の農業環境政策の動向等を踏まえ、検討すること。

4 必要な財源の確保等

新たな農業経営政策の推進に必要な財源を確保するとともに、地方公共団体の財政負担や事務負担の増大を招かないよう十分配慮すること。

右地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

衆議院議長 }
参議院議長 } 各 通
内閣総理大臣 }
総務大臣 }
財務大臣 }
農林水産大臣 }

意見案第7号 トドによる漁業被害対策の強化を求める意見書

〔平成13年2定〕
〔鯉谷 忠 議員ほか12人提出〕
〔平成13年7月3日 原案可決〕

本道の日本海沿岸地域は、小規模な経営体により、カレイ、ホッケを対象とする刺し網漁業などが多く営まれているが、資源状況の悪化や魚価の低下により漁業生産が低迷するとともに、漁業就業者の減少や高齢化も進行しており、大変厳しい環境におかれている。

このような中で、毎年、トドの来遊によって漁業被害が発生しており、平成12年度の漁具被害は約7億円、漁獲物などの推定逸失利益を含めると10億円を超える被害となっており、地域の漁業経営に重大な影響を及ぼしている。

これまで、国においては、駆除事業や小型定置網漁業への強化網の導入に対する支援など、被害防止に向けた一定の施策を講じられてきているが、漁業者の大半が従事する刺し網漁業については、被害が増加傾向にある中で、トドの来遊期は休漁に追い込まれる漁業者も発生しており、抜本的な被害対策の実施が求められている。

よって、国においては、トド駆除対策等を充実するとともに、トドの来遊海域における漁業経営の安定を図るため、左記の対策を早急に講ずるよう強く要望する。

記

- 1 トドの来遊経路、来遊頭数等調査の実施並びに調査体制の拡充強化を図ること。
- 2 駆除対策等の拡充を図るとともに、被害を受ける漁業者の救済対策を講ずること。

右地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 酒 井 芳 秀

衆議院議長 }
参議院議長 } 各 通
内閣総理大臣 }
農林水産大臣 }

意見案第8号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

平成13年2定
佐藤 寿雄 議員ほか13人提出
平成13年7月3日 原案可決

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等とその水準の維持向上を図る制度として完全に定着しており、現行教育制度の重要な根幹をなしている。

しかしながら、政府は、昭和60年度以降義務教育費国庫負担制度の見直しを行い、旅費、教材費、恩給費を国庫負担の対象から除外したほか、平成5年度には共済費追加費用等について負担率の段階的引き下げを早めて、完全に一般財源化することとした。

さらに、平成14年度の予算編成においても、学校事務職員及び学校栄養職員の給与費が、国庫負担の対象から除外されることが懸念されるが、これが実施された場合は、厳しい地方財政に対し単に負担を増大させるにとどまらず、義務教育の円滑な推進に重大な影響を及ぼすことが憂慮される。

よって、国においては、学校事務職員・学校栄養職員等を国庫負担の対象から外すことなく、現行義務教育費国庫負担制度を堅持されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 酒井 芳 秀

衆議院議長 }
参議院議長 } 各 通
内閣総理大臣 }
総務大臣 }
財務大臣 }
文部科学大臣 }

意見案第9号 北方領土問題等の解決促進に関する意見書

平成13年2定
瀬能 晃 議員ほか13人提出
平成13年7月3日 原案可決

我が国固有の領土である歯舞、色丹及び国後、択捉等の北方領土の返還の実現は、我々に残された国民的課題であり、全国民の永年の悲願である。

しかるに、戦後55年を経た今日もなお、北方領土は返還されず、日口両国間に平和条約が締結されていないことは誠に遺憾なことである。

日口両国間における政治対話を促進し、人的、物的交流の一層の拡充を通して相互理解を深め、北方領土問題を解決して、平和条約を締結することは、両国間の基本関係の正常化のみならず国際社会の平和と安定に大きく貢献するものと確信する。

よって、国においては、北方領土の返還を求める国民の総意と心情にこたえるため、日口両国間において今日までに採択された諸合意に基づいて、早急に北方領土問題を解決し、平和条約を締結するため最善の努力をされるとともに、次の事項につき適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 国民世論の高揚と国際世論の喚起に努めるため、啓発運動を推進すること。
- 2 「北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律」に基づく振興対策を促進すること。
- 3 北方地域旧漁業権に対する補償措置を早急に講ずること。
- 4 北方四島との交流事業の充実強化を図ること。
- 5 北方領土墓参については、希望地域で実施できるようにすること。
- 6 北方四島への自由訪問事業の充実強化を図ること。

右地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 酒 井 芳 秀

内閣総理大臣 }
外務大臣 } 各 通
農林水産大臣 }
国土交通大臣 }
沖縄及び北方対策担当大臣 }

意見案第10号 介護保険制度の改善を求める意見書

〔平成13年2定
伊藤 政信 議員ほか14人提出
平成13年7月3日 原案可決〕

昨年4月から開始された介護保険制度は、1年3カ月を経た。

本年10月から高齢者の保険料の満額徴収が予定されるもとの、特に低所得階層では、その生活実態からこれ以上の負担が困難な方もおり、またこの間、第1号被保険者の保険料が、その生活実態から言って、第一段階と第二段階で逆転する場合もあるという不合理な状況があり、各保険者はその対応に苦慮しているところである。

また、制度施行により原則一割の利用者負担が設けられたことにより、保険料負担と相まってサービスを利用している低所得者にとっては、新たな負担が生じ、本来利用しなければならない実態にある高齢者が利用を手控えているのではないかと危惧されるものである。

よって、国においては、介護保険の保険料、利用者負担の設定など制度のあり方を検討し、

低所得者が必要なサービスを受けられるよう必要な措置を講ずることを要望する。

右地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 酒 井 芳 秀

衆議院議長 }
参議院議長 }
内閣総理大臣 } 各 通
総務大臣 }
財務大臣 }
厚生労働大臣 }

請 願 ・ 陳 情

① 産炭地域振興対策特別委員会並びにエネルギー問題調査特別委員会の廃止により請願・陳情の付託がえしたものとみなしたものの。

請 願

(平成13年6月19日)

文書番号	件 名	請 願 者	受 理 日 年 月 日	付 託 日 年 月 日	付託委員会名
14	北電泊原子力発電所3号機増設計画中止を求める件	原発問題全道連絡会 代表委員 齊藤 敏夫 外68件	11.10.6	11.10.13	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
36	北電泊原子力発電所3号機増設計画の中止を求める件	北海道母親大会連絡会 事務局長 寺崎 ひとみ 外71件	12.8.29	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
37	深地層研究所(仮称)計画の返上を求める件	北海道母親大会連絡会 実行委員長 齋藤 朋子 外72件	12.8.29	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
38	泊原子力発電所3号機増設計画凍結を求める件	新日本婦人の会札幌白石支部 支部長 江端 愛子	12.9.1	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
39	泊3号機計画にかかわる知事判断を求める件	北海道平和運動フォーラム 代表 杉山 さかえ	12.9.1	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
40	泊原発3号機計画にかかわる知事判断の延期を求める件	生活クラブ生活協同組合 理事長 伊藤 牧子	12.9.1	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
41	泊原子力発電所3号機増設計画に係る知事判断の延期を求める件	市民ネットワーク北海道 代表 中島 和子	12.9.1	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
42	泊原発3号機計画にかかわる知事判断の延期を求める件	北海道農民連盟 委員長 信田 邦雄	12.9.1	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
43	泊原発3号機増設計画にかかわる知事判断の凍結を求める件	日本婦人会議北海道本部 議長 藤枝 ひで子	12.9.1	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
44	泊原発3号機増設計画にかかわる知事の判断を求める件	日本婦人会議札幌支部 支部長 中島 寛子 外1人	12.9.1	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
45	泊原発3号機計画凍結と安全確保に関する件	江別いのちの会 佐々木 忠	12.9.1	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
46	北電泊原子力発電所3号機増設計画の中止を求める件	全労連・函館地方労働組合会 議 議長 唐木 茂幸	12.9.1	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
47	北電泊原子力発電所3号機増設計画の撤回を求める件	日本共産党函館地区委員会 委員長 伏木田 政義	12.9.1	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
48	北電泊原子力発電所3号機増設計画の中止を求める件	医療法人道南勤労者医療協会 理事長 内山 清	12.9.1	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
49	泊原子力発電所3号機増設、幌延・深地層研究所(仮称)計画反対の件	函館民主商工会 会長 谷地 重成	12.9.1	12.9.5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別

陳 情

(平成13年6月19日)

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	受 理 年 月 日	付 託 年 月 日	付託委員会名
8	知事の公約遵守を求める件	幌延深地層問題研究会 藤井 虎雄	11. 7. 9	11. 7. 16	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
9	幌延「深地層試験場」の計画返上を求める件	「幌延、深地層試験場」建設 に反対する道民連絡会 三谷 薫	11. 7. 9	11. 7. 16	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
10	幌延町への「深地層研究所（仮称）計画」に反対及び返上を求める件	核廃棄物施設誘致に反対する 道北連絡協議会 議長 鈴木 芳孝	11. 7. 12	11. 7. 16	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
11	「深地層研究所計画」の返上を求める件	原発廃棄物施設誘致反対ほろ のべ町民会議 代表 平島 英敏	11. 7. 12	11. 7. 16	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
12	「深地層研究所計画」の返上を求める件	住みよい幌延をつくる会 代表 鷺見 悟	11. 7. 12	11. 7. 16	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
13	知事の公約遵守を求める件	幌延問題道民懇談会 代表 上田 文雄	11. 7. 12	11. 7. 16	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
14	幌延町における「深地層試験場」及び研究施設に反対する件	幌延高レベル核廃棄物問題を 考える旭川市民の会 代表委員 石田 和子	11. 7. 16	11. 9. 22	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
19	深地層研究所（仮称）計画に反対する件	日本婦人会議札幌支部南区班 班長 奥山 ツヤ	11. 9. 10	11. 9. 22	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
20	幌延町への深地層研究所（仮称）計画に反対する件	日本婦人会議札幌支部東区班 班長 平山 トシ子	11. 9. 10	11. 9. 22	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
21	「深地層研究所（仮称）計画」に関する件	日本婦人会議札幌支部 支部長 中島 寛子	11. 9. 13	11. 9. 22	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
22	幌延町に深地層研究所（仮称）を立地しないことを求める件	日本婦人会議札幌支部中央区 班長 八木 恒子	11. 9. 13	11. 9. 22	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
23	「深地層研究所（仮称）」に関する件	日本婦人会議北海道本部 議長 藤枝 ひで子	11. 9. 14	11. 9. 22	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
24	「深地層研究所（仮称）計画」に関する件	札幌市清田区清田 畑中 邦子	11. 9. 16	11. 9. 28	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
25	幌延町に深地層研究所（仮称）を立地しないことを求める件	日本婦人会議室蘭支部 支部長 高橋 真理子	11. 9. 27	11. 10. 4	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
26	知事の公約遵守を求める件	岩見沢市日の出町 今井 タツ子	11. 9. 27	11. 10. 4	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
28	「深地層研究所」計画に関する件	稚内市緑5丁目 赤川 裕見子	11. 10. 5	11. 10. 13	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別
43	泊原子力発電所3号機の増設反対を要請する件	中富良野農業を守る会 事務局長 林 幹人	12. 8. 31	12. 9. 5	産炭地域振興・ エネルギー問題 調 査 特 別

② 第2回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番号	件 名	請 願 者	付 託 委員 会	審 査 結 果
94	第一ハイヤー株式会社に事業の継続をさせるよう求める件	全国自動車交通労働組合総連 合北海道地方連合会 執行委員長 高木 忠雄	経 済	取 下 げ
95	義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持に関する件	北海道教職員組合 中央執行委員長 吉村 幸明	文 教	採 択
96	「乳幼児医療費の無料化を国として行うことを求める」意見書提出の件	新日本婦人の会北海道本部 会長 石川 一美	保健福祉	継続審査
97	国立大学の独立行政法人化問題についての件	全大教北海道地区教職員組合 執行委員長 増子 捷二	文 教	継続審査
98	へき地等学校の級地指定の見直しに関する件	北海道教職員組合 執行委員長 若山 俊六 外1人	文 教	継続審査

陳 情

文書表 番号	件 名	陳 情 者	付 託 委員 会	審 査 結 果
52	地方自治法による自衛隊への協力義務を法制化するための件	兵庫県西宮市上葭原町 黒坂 真	総 務	継続審査

③ 継続審査中のものであって、第2回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番号	件 名	請 願 者	付 託 委員 会	審 査 結 果
82	2000年産米の政府米買い入れに関する件	農民運動北海道連合会 委員長 宮井 誠一	農 政	議決不要

委員会の動き

議会運営委員会

○5月8日(火) 開議 午後零時46分
散会 午後零時49分
議会運営委員会室
委員長 釣部 勲(自民)

- 1 現議員の逝去について
 - ・森敏捷議員の逝去(江別市選出、第23期～第26期、4月4日逝去)について報告。
- 2 議員の辞職許可について
 - ・若狭靖議員(自民)から4月30日付けで議員辞職願いの提出があり、議長は同日付けでこれを許可したことを報告。
 - ・若狭議員の辞職により、各派の所属議員数が、自民55人、民主32人、道民6人、共産6人、公明5人、道政3人となった旨報告。
- 3 議員の海外調査派遣について
 - ・次の議員から、議長に対し別紙配付の海外調査派遣申請書の提出があったことを報告。
岩本 允(自民) 喜多 龍一(自民)
石寺 廣二(自民) 河野 光彦(民主)
小池 昌(道政) 布川 義治(道政)
 - ・海外調査派遣申請書のとおり派遣を決定する。

○6月8日(金) 開議 午後1時21分
散会 午後1時25分
議会運営委員会室
委員長 釣部 勲(自民)

- 1 議会運営委員の辞任許可及び欠員補充について
 - ・前田康吉委員(道民)から6月6日付けで委員辞任の申し出があり、議長は同日付けでこれを許可し、後任には、委員会条例第6条第1項ただし書きの規定により、道民クラブから推薦のあった村井宣夫議員を選任したことを報告。
- 2 議会運営委員会理事の選出について
 - ・村井委員(道民)を理事に選出。
- 3 議員の辞職許可等について
 - ・伊達忠一議員(自民)から6月5日付けで議員辞職願いの提出があり、議長は同日付けで

これを許可したことを報告。

- ・伊達議員の辞職により、各派の所属議員数が、自民54人、民主32人、道民6人、共産6人、公明5人、道政3人となった旨報告。
 - ・自民党・道民会議から6月5日付けをもって会派の名称を「自由民主党 北海道議会議員会」に、略称は「自民党議員会」に変更した旨の届出があったことを報告。
- 4 会派役員の異動について
 - ・道民クラブから6月6日付けで村井宣夫議員を幹事長兼政策審議委員長に変更した旨の届出があったことを報告。
 - 5 第2回定例会について
 - ・招集日を6月15日とする。
 - ・会期は18日間とする。
 - ・総務部長から、提出予定案件について説明。
 - ・日程については、6月14日にあらためて協議する。
 - ・故森敏捷議員に対する追悼演説は第2回定例会の招集日冒頭において、布川義治議員(道政)が行う。

○6月14日(木) 開議 午後5時22分
散会 午後5時26分
議会運営委員会室
委員長 釣部 勲(自民)

- 1 会派異動届について
 - ・6月14日付けで自民党議員会から小池昌議員、前田康吉議員が入会し、所属議員が56人となった旨、道民クラブから前田康吉議員が退会し、西村慎一議員が入会した旨、道政会から西村慎一議員、小池昌議員が退会し所属議員が1人になった旨届出があったことを報告。
 - ・異動に伴い各派の所属議員数は、自民56人、民主32人、道民6人、公明5人、道政1人となった旨報告。
- 2 議席の一部変更等について
 - ・議員の所属会派異動等に伴う変更については、第2回定例会招集日の本会議において別紙議席表のとおり変更し、森議員の逝去に伴う議席については空席とする。
- 3 第2回定例会について
 - ・総務部長から、提出議案について説明。
 - ・総務部長から、エア・ドゥに係る支援策につ

いてなお検討に時間を要し、あらためて説明する旨の発言。

- ・日程について次のとおり進める。

〔第2回定例会〕

6月15日 本会議
6月16日～6月18日 休会
6月19日 本会議（常任・議運・特別委員選任）
6月20日～6月22日 本会議（一般質問）
6月23日～6月24日 休会
6月25日～6月27日 本会議（一般質問）
6月28日 本会議（一般質問、予算特別委員会、企業会計決算特別委員会設置）
6月29日～7月1日 休会
7月2日 本会議

3 一般質問について

- ・順位は、従来例（十分比例方式）による。
- ・8番目と10番目については、道民及び共産が同率のため、二会派において調整し、結果を後日報告する。
- ・通告は6月18日正午までとする。

4 休会について

- ・議案調査のため6月18日は休会とし、6月19日に再開する。

5 6月15日の本会議順序について

- ・明日の委員会において協議する。

6 陳情の取扱いについて

- ・次期委員会に引き継ぐ。

7 議会運営に係る検討事項について

- ・次期委員会に引き継ぐ。

○6月15日（金） 開議 午前9時42分
散会 午前9時52分
議会運営委員会室
委員長 釣部 勲（自民）

1 議会運営委員会への出席について

- ・布川義治議員（道政）の委員外議員としての出席を了承。

2 議長、副議長の辞職について

- ・本日付けで湯佐利夫議長及び柏倉勝雄副議長から辞職願の提出があったことを報告。
- ・本日の本会議においてこれを許可する。

3 議長、副議長の選挙について

- ・投票により行い、単記無記名とする。
- ・投票用紙は、議長選挙は黄色、副議長選挙は桃色とする。

- ・所定の用紙以外は無効投票とする。

- ・立会人については、各会派から1名ずつ計5名理事の中から選出することとし、委員長が次の5名を指名。

加藤礼一委員（自民）、三津丈夫委員（民主）
村井宣夫委員（道民）、萩原信宏委員（共産）
佐藤英道委員（公明）

- ・白票については、投票総数には算入するが、有効投票には算入しない。

4 意見案の取扱いについて

- ・意見案第1号の提出があり、本日の本会議で議決する。

5 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

○6月19日（火） 開議 午前10時9分
散会 午後1時58分
議会運営委員会室
委員長 釣部 勲（自民）

1 議席の一部変更について

- ・議長の議席について、本日の本会議において別紙議席表のとおり変更する。

2 産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会の設置について

- ・別紙設置案のとおり設置する。

3 各委員会の正副委員長及び委員の配分について

- ・別紙配分表のとおり配分することとし、各派において速やかに委員名簿を提出願う。（午前10時12分休憩、午後1時55分再開）

4 産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会の設置について

- ・決議案第1号の提出があり、本日の本会議で議決する。

5 特別委員の辞任許可について

- ・各特別委員会の委員全員から委員辞任の申し出があり、議長が本日これを許可した旨を報告。

6 各常任委員、議会運営委員及び特別委員の選任について

- ・配布の名簿のとおり本日の本会議において選

任する。

7 本日の本会議議事順序について

- ・事務局説明のとおりとする。



—委員改選後—

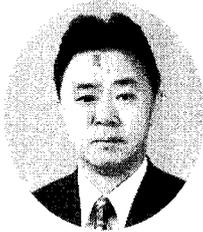
○6月19日(火) 開議 午後3時10分
散会 午後5時22分
議会運営委員会室
委員長 伊藤 条一 (自民)

1 臨時委員長について

- ・委員会条例第8条第2項の規定に基づき、臨時に村井宣夫委員(道民)が委員長の職務を行い、会議に先立ち、酒井芳秀議長及び大内良一副議長からあいさつ。

2 正副委員長の互選について

- ・委員長に伊藤条一委員(自民)、副委員長に三津丈夫委員(民主)を選出。



伊藤条一委員長



三津丈夫副委員長

3 理事会について

- ・配分は自民2人、民主2人、道民1人、共産1人、公明1人の計7人とし、次の委員を選出。

竹内 英順(自民) 石寺 廣二(自民)
西田 昭紘(民主) 沖田 龍児(民主)
村井 宣夫(道民) 山根 泰子(共産)
荒島 仁(公明)

4 諸派について

- ・委員外議員として布川義治議員(道政)の出席を認める。

5 委員席について

- ・現在着席のとおりとする。

6 一般質問について

- ・本日の常任、特別委員会終了後再度協議する。(午後3時15分休憩、午後5時17分再開)

7 理事者の発言について

- ・総務部長から、6月21日に知事が国の構造改

革についての要請活動を行うため上京したいので配慮願いたい旨の発言。

- ・6月21日の本会議は休会することを決定。

8 一般質問について

- ・通告(21名)について報告。
- ・十分比方式により同率となった8番目と10番目については、8番共産、10番道民となったことを了承。

- ・個人別順位は配付資料の通告一覧のとおり決定。

- ・6月20日2名、6月22日5名とし、その後の進め方についてはあらためて協議する。

9 本会議欠席の件について

- ・山口副知事は、有珠山噴火災害に関する村井防災担当大臣の現地視察や意見交換等の対応のため6月22日の本会議を欠席することを了承。

○6月20日(水) 開議 午前10時7分
散会 午後4時36分
議会運営委員会室
委員長 伊藤 条一 (自民)

1 本日の本会議について

- ・一般質問2名を行う。

2 本日の本会議議事順序について

- ・事務局説明のとおりとする。

(午前10時10分休憩、午後4時35分再開)

3 佐藤寿雄議員(自民)の再質問に対する答弁準備の状況について

- ・総務部長から、答弁準備に時間を要する旨の発言。

- ・本日の本会議は、この程度にとどめ延会する。

○6月22日(金) 開議 午前9時58分
散会 午後4時12分
議会運営委員会室
委員長 伊藤 条一 (自民)

1 佐藤寿雄議員(自民)の再質問に対する答弁準備の状況について

- ・総務部長から、答弁準備に時間を要する旨の発言。

- ・本日の本会議は、一旦開会し、休憩にする。

(午前9時59分休憩、午後4時10分再開)

- 2 佐藤寿雄議員（自民）の再質問に対する答弁準備の状況について
 - ・総務部長から、答弁準備が整った旨の発言。
 - ・本日の本会議は、佐藤議員の再質問に対する知事の答弁から入る。
- 3 一般質問の進め方について
 - ・本日は1番の継続のみ行い、25日3名行い、その後の進め方についてはあらためて協議する。
- 4 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。

○6月25日（月） 開議 午後零時57分
散会 午後4時11分
議会運営委員会室
委員長 伊藤 条一（自民）

- 1 意見案の取扱いについて
 - ・意見案第2号の提出があり、本日の本会議で議決する。
- 2 理事者の発言について
 - ・総務部長から、エア・ドゥ支援に係る追加予算案を本日提出するとの発言があり、これを了承。
- 3 今後の日程について
 - ・予算特別委員会の設置など協議を要するため、本日の本会議は一般質問2番を行った後、休憩し、あらためて協議する。
- 4 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
(午後零時58分休憩、午後4時5分再開)
- 5 追加提出議案の事前説明について
 - ・総務部長から説明。
 - ・本日の本会議において、再開後、議事を中止し、追加日程として知事の提案説明を行う。
- 6 今後の日程について
 - ・配付資料のとおりとする。
- 7 一般質問の通告内容等について
 - ・通告内容等の変更について了承。
- 8 本日の本会議について
 - ・追加提出議案の知事の提案説明を行い、延会とする。
- 9 一般質問の進め方について
 - ・明日6名、27日7名行う。
- 10 予算特別委員会及び企業会計決算特別委員会

- について
- ・配付資料のとおりとする。
 - ・委員名簿は26日正午まで提出する。

○6月26日（火） 開議 午前9時45分
散会 午前9時48分
議会運営委員会室
委員長 伊藤 条一（自民）

- 1 追加提出議案の事前説明について
 - ・総務部長から説明。
 - ・本日の本会議冒頭において、知事の提案説明を行う。
- 2 本日の本会議について
 - ・一般質問6名を行う。
 - ・水産林務委員長及び副委員長が昨日議決の意見書に係る中央要請のため本会議を欠席することを了承。
- 3 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。

○6月27日（水） 開議 午前9時36分
散会 午前9時40分
議会運営委員会室
委員長 伊藤 条一（自民）

- 1 一般質問の通告内容等について
 - ・通告内容等の変更について了承。
- 2 本日の本会議について
 - ・一般質問8名を行う。
- 3 予算特別委員会及び企業会計決算特別委員会について
 - ・本日の一般質問終了後、設置する。
 - ・配付資料のとおり委員配分を決定。
 - ・配布名簿のとおり委員を選任することを了承。
- 4 議案の各委員会付託について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- 5 休会の決定について
 - ・各委員会付託議案審査のため6月28日から29日の本会議を休会する。
- 6 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。

○7月2日(月) 開議 午後3時38分
散会 午後3時39分
議会運営委員会室
委員長 伊藤 条一(自民)

- 1 委員会の審議状況について
 - ・予算特別委員会及び各常任委員会は審議未了である旨報告。
- 2 会期延長について
 - ・本日中の委員会審議の議了は困難であるため会期を1日延長することを決定。
- 3 本日の本会議について
 - ・会期延長の件を議題とする。

○7月3日(火) 開議 午後3時40分
散会 午後3時45分
議会運営委員会室
委員長 伊藤 条一(自民)

- 1 会派異動届について
 - ・関係会派から役員の変更届が提出され別紙配布のとおり整理した旨報告。
- 2 各委員会付託議案の審議状況について
 - ・予算1件、総務9件、環境生活1件、建設11件、農政1件、水産林務1件、以上24件については、すべて議了した旨報告。
- 3 閉会中継続審査を要する議案について
 - ・企業会計決算特別委員会において審査中の報告第35号ないし第37号については、本日の委員会において継続審査することに決定したことを報告。
- 4 追加提出議案について
 - ・総務部長から説明。
 - ・本日の本会議において議決する。
- 5 苫小牧港管理組合議会議員、石狩東部広域水道企業団議会議員、石狩湾新港管理組合議会議員及び石狩西部広域水道企業団議会議員の補欠選挙について
 - ・本日の本会議で選挙を行う。
 - ・選挙の方法は、指名推選によることとし、指名の方法は議長において指名することとする。
 - ・指名は別紙名簿のとおりとする。
- 6 意見案の取扱いについて
 - ・意見案第3号ないし第10号の提出があり、本日の本会議において議決する。

- 7 請願の審査について
 - ・文教委員会から審査結果報告のあった請願について、本日の本会議において議決する。
- 8 本委員会に付託されている陳情について
 - ・閉会中継続審査を申し出る。
- 9 閉会中継続調査の申出について
 - ・閉会中継続調査を申し出る。
- 10 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- 11 次回定例会の招集予定日について
 - ・総務部長から、第3回定例会招集予定日について、9月19日(水)を予定している旨の発言があり、これを了承。
- 12 議会運営に関する検討事項について
 - ・今後理事会において検討する。
- 13 議員の海外調査派遣について
 - ・次の議員から、議長に対し別紙配付の海外調査派遣申請書の提出があったことを報告。
加藤 礼一(自民) 丸岩 公充(自民)
竹内 英順(自民) 岩本 剛人(自民)
釣部 勲(自民) 伊藤 条一(自民)
鎌田 公浩(自民)
 - ・海外調査派遣申請書のとおり派遣を決定する。

常任委員会

総務委員会

○4月3日(火) 開議 午後1時35分
散会 午後1時38分
第10委員会室
委員長 加藤 唯勝 (自民)

一般議事

① 総務部長から、地方税法の改正に伴う道税条例の改正に係る専決処分について報告。

○5月8日(火) 開議 午後1時25分
散会 午後1時48分
第10委員会室
委員長 加藤 唯勝 (自民)

一般議事

① 総務部長から、北海道ビジネスセンターの開設について報告。
② 久田恭弘委員(自民)から質疑
(1) 港湾の国際化について

○6月5日(火) 開議 午後1時54分
散会 午後2時48分
第10委員会室
委員長 加藤 唯勝 (自民)

一般議事

① 総合防災対策室長から、北海道原子力防災センターの開設について報告。
② 総合企画部長から、北海道苦情審査委員の平成12年度活動状況について報告。
③ 警察本部警務部長から、警察署協議会の概要について説明。
④ 伊藤政信委員(民主)から質疑
(1) 関与団体の見直しについて
(2) 北海道空港株式会社の人事について
(3) 再就職の取扱要綱について
⑤ 大橋晃委員(共産)から質疑
(1) 市町村合併について

○6月14日(木) 開議 午前10時50分
散会 午前11時5分
第10委員会室
委員長 加藤 唯勝 (自民)

一般議事

① 総務部長、総合企画部長及び警察本部総務部長から、平成13年第2回定例会提出予定案件について説明。
② 委員交代に伴う引継事項について決定。

○6月19日(火) 開議 午後3時31分
散会 午後3時54分
第10委員会室
委員長 川村 正 (自民)

正副委員長の互選

① 委員長に川村正委員(自民)、副委員長に滝口信喜委員(民主)を選出。



川村 正委員長



滝口信喜副委員長

② 理事に岩本剛人委員(自民)、日下太郎委員(民主)、久保雅司委員(道民)、花岡ユリ子委員(共産)、伊藤武一委員(公明)を選出。

一般議事

① 議席を決定。
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。

○7月3日(火) 開議 午前10時40分
散会 午後零時32分
第10委員会室
委員長 川村 正 (自民)

付託案件の審査

議案第1号

北海道性風俗営業等に係る不当な勧誘、料金の取立て等の規制に関する条例案 (原案可決)

議案第2号

北海道税条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第3号

低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第4号

北海道議会議員及び北海道知事の選挙における

選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第9号

北海道警察組織条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第10号

北海道新産業都市建設協議会条例を廃止する条例案 (原案可決)

議案第17号

工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

議案第21号

財産の取得に関する件 (原案可決)

見延順章委員 (自民)、西本美嗣委員 (民主)

及び高木繁光委員 (自民) から質疑

報告第1号

専決処分報告につき承認を求める件

(承認議決)

花岡ユリ子委員 (共産) から質疑

花岡ユリ子委員 (共産) から議案第2号及び報告第1号について反対意見

一般議事

① 総務部長、総合企画部長、警察本部総務部長、出納局長、選挙管理委員会事務局長、人事委員会事務局長及び監査委員事務局長から、所管事務の概要について説明。

花岡ユリ子委員 (共産) から質疑

② 総務部長、総合企画部長及び警察本部総務部長から、平成14年度北海道開発関係予算要望の概要について報告。

③ 平成14年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。

④ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。

⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

環境生活委員会

○4月3日 (火) 開議 午後1時17分

散会 午後1時30分

第3委員会室

委員長事故のため

副委員長 佐藤 寿雄 (自民)

一般議事

① 環境生活部長から、「アイヌ語地名リスト」

及び「アイヌ語地名ハンドブック」の発行について報告。

星野高志委員 (民主) から質疑

○5月8日 (火) 開議 午後1時22分

散会 午後1時49分

第3委員会室

委員長欠のため

副委員長 佐藤 寿雄 (自民)

一般議事

① 環境生活部長から、アイヌの人たちに対する今後の総合的な施策のあり方について報告。

山根泰子委員 (共産) から質疑

② 環境生活部長から、ごみ処理の広域化計画に基づく基本計画について報告。

山根泰子委員 (共産) から質疑

○6月5日 (火) 開議 午後1時40分

散会 午後2時16分

第3委員会室

委員長欠のため

副委員長 佐藤 寿雄 (自民)

一般議事

① 環境生活部長から、アイヌの人たちの生活向上に関する推進方策 (仮称) 素案について報告。

② 山根泰子委員 (共産) から質疑

(1) ヒグマ対策について

○6月14日 (木) 開議 午前10時47分

散会 午後零時8分

第3委員会室

委員長欠のため

副委員長 佐藤 寿雄 (自民)

一般議事

① 環境生活部長から、平成13年第2回定例会提出予定案件について説明。

② 環境生活部長から、北海道消費生活条例施行状況報告について説明。

③ 委員交代に伴う引継事項について決定。

④ 釣部勲委員 (自民) から質疑

(1) 江別市角山地区における産業廃棄物問題について

(関連して山根泰子委員 (共産) から質疑)

⑤ 山根泰子委員 (共産) から質疑

(1) 廃タイヤの不法投棄について

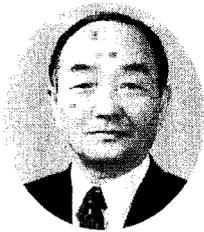
(2) アイヌの人たちの生活向上に関する推進方策の素案について

保健福祉委員会

○6月19日(火) 開議 午後3時22分
散会 午後3時38分
第3委員会室
委員長 村井 宣夫(道民)

正副委員長の互選

① 委員長に村井宣夫委員(道民)、副委員長に東国幹委員(自民)を選出。



村井宣夫委員長



東国幹副委員長

② 理事に柿木克弘委員(自民)、木村峰行委員(民主)、新野至都子委員(共産)を選出。

一般議事

① 議席を決定。
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨を報告。

○7月3日(火) 開議 午前10時25分
散会 午前10時45分
第3委員会室
委員長 村井 宣夫(道民)

付託案件の審査

議案第5号

北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

一般議事

① 環境生活部長から、所管事務の概要について説明。
② 環境生活部長から、平成14年度北海道開発関係予算要望事項の概要について説明。
③ 平成14年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。
④ 陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

○4月3日(火) 開議 午後1時20分
散会 午後1時24分
第7委員会室
委員長 上田 茂(道民)

一般議事

① 地域医療支援の充実・強化、国立病院・療養所の機能存続及び拡充並びに食品の安全性確保の強化に関する中央折衝の実施を決定。

○5月8日(火) 開議 午後1時25分
散会 午後1時41分
第7委員会室
委員長 上田 茂(道民)

一般議事

① 地域医療支援の充実・強化、国立病院・療養所の機能存続及び拡充並びに食品の安全性確保の強化に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。

② 花岡ユリ子委員(共産)から質疑
(1) 小児センター問題について

○6月5日(火) 開議 午後1時41分
散会 午後1時59分
第7委員会室
委員長 上田 茂(道民)

一般議事

① 保健福祉部長から、食中毒の発生状況等について報告。
② 林大記委員(民主)から質疑
(1) 脳卒中患者等地域ケアシステム事業について

○6月14日(木) 開議 午前10時48分
散会 午前11時14分
第7委員会室
委員長 上田 茂(道民)

一般議事

① 委員交代に伴う引継事項について決定。
② 花岡ユリ子委員(共産)から質疑
(1) 心身障害者総合相談所について

○6月19日(火) 開議 午後3時34分
散会 午後3時52分
第7委員会室
委員長 萩原 信宏(共産)

正副委員長の互選

- ① 委員長に萩原信宏委員(共産)、副委員長に船橋利実委員(自民)を選出。



萩原信宏委員長



船橋利実副委員長

- ② 理事に遠藤連委員(自民)、三井あき子委員(民主)、稲津久委員(公明)を選出。

一般議事

- ① 議席を決定。
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨報告。

○7月3日(火) 開議 午前10時32分
散会 午前10時54分
第7委員会室
委員長 萩原 信宏(共産)

一般議事

- ① 委員長から、今後の委員会運営に関する協議事項について報告。
② 保健福祉部長から、所管事務の概要について説明。
③ 保健福祉部長から、平成14年度北海道開発関係予算の要望事項について報告。
④ 北海道社会福祉審議会委員に、船橋利実副委員長及び三井あき子委員を推薦。
⑤ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
⑥ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

経済委員会

○4月3日(火) 開議 午後1時27分
散会 午後1時45分
第8委員会室

委員長 西本 美嗣(民主)

一般議事

- ① 経済部長から、北海道中小企業総合支援センターの概要について報告。
② 経済部長から、北海道中小企業金融検討委員会報告書について報告。
③ 企業局長から、風力発電施設の設置について報告。
吉野之雄委員(民主)から質疑

○5月7日(月) 開議 午後1時15分
散会 午後1時17分
第8委員会室
委員長 西本 美嗣(民主)

一般議事

- ① 委員会協議会の開催について決定。

○5月8日(火) 開議 午後1時23分
散会 午後1時28分
第8委員会室
委員長 西本 美嗣(民主)

一般議事

- ① 高齢者及び障害者の雇用促進並びにJR不採用問題の早期解決を求める中央折衝の実施概要の報告を了承。
② 経済部長から、「ガンバル、フンバル、北海道」キャンペーンの取り組み実績について報告。

○6月5日(火) 開議 午後1時39分
散会 午後2時9分
第8委員会室
委員長 西本 美嗣(民主)

一般議事

- ① 経済部長から、北海道観光振興に関する条例の基本的考え方に対する意見募集の結果について報告。
日高令子委員(共産)から質疑
② 池本柳次委員(民主)から質疑
(1) 雇用・失業対策について

○6月14日(木) 開議 午前10時49分
散会 午前10時54分
第8委員会室
委員長 西本 美嗣(民主)

一般議事

① 委員交代に伴う引継事項について決定。

○6月19日(火) 開議 午後3時26分
散会 午後3時45分
第8委員会室
委員長 高橋由紀雄(民主)

正副委員長の互選

① 委員長に高橋由紀雄委員(民主)、副委員長に大谷亨委員(自民)を選出。



高橋由紀雄委員長



大谷亨副委員長

② 理事に原田裕委員(自民)、斉藤博委員(民主)、西村慎一委員(道民)、吉田恵悦委員(公明)を選出。

一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員会運営について決定。
- ③ 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨報告。

○7月3日(火) 開議 午前10時29分
散会 午前10時59分
第8委員会室
委員長 高橋由紀雄(民主)

一般議事

- ① 経済部長、企業局長及び地方労働委員会事務局長から、所管事務の概要について説明。
- ② 新たな雇用対策の創設等を求める意見案の発議を決定。
- ③ 経済部長から、平成12年度における本道の観光入込客数調査の概要について報告。
- ④ 経済部長及び企業局長から、平成14年度北海道開発関係予算要望の概要について報告。
- ⑤ 上記意見案及び平成14年度北海道開発関係予

算に関する中央折衝の実施を決定。

- ⑥ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ⑦ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

農政委員会

○4月3日(火) 開議 午後1時28分
散会 午後1時43分
第6委員会室
委員長 山崎 正隆(自民)

一般議事

- ① 野菜の緊急輸入制限措置の発動に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、北海道果樹農業振興計画の概要について報告。
- ③ 村井宣夫委員(道民)から質疑
(1) 当面する諸課題について

○5月8日(火) 開議 午後1時26分
散会 午後1時40分
第6委員会室
委員長 山崎 正隆(自民)

一般議事

- ① 農政部長から、ねぎ等3品目に関するセーフガード暫定措置について報告。
- ② ホッカイドウ競馬札幌シリーズの開催状況に関する現地調査の実施を決定。
- ③ 木村峰行委員(民主)から質疑
(1) 農地保有合理化促進事業について

○6月5日(火) 開議 午後1時45分
散会 午後2時39分
第6委員会室
委員長 山崎 正隆(自民)

一般議事

- ① 農政部長から、農作物の生育状況について報告。
見延順章委員(自民)から質疑
- ② 村井宣夫委員(道民)から質疑
(1) 農業の諸問題について
- ③ 萩原信宏副委員長(共産)から質疑
(1) 土地改良区の組合費流用問題について

○6月14日(木) 開議 午前10時50分
散会 午前11時5分
第6委員会室
委員長 山崎 正隆(自民)

請願の審査

請願第82号

2000年産米の政府買い入れに関する件
(議決不要)

一般議事

- ① ホッカイドウ競馬札幌シリーズの開催状況に関する現地調査の実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、平成13年第2回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 農政部長から、平成12年度農業・農村の動向等に関する年次報告について説明。
- ④ 委員交代に伴う引継事項について決定。

○6月19日(火) 開議 午後3時33分
散会 午後3時50分
第6委員会室
委員長 本間 勲(自民)

正副委員長の互選

- ① 委員長に本間勲委員(自民)、副委員長に林大記委員(民主)を選出。



本間勲委員長



林大記副委員長

- ② 理事に田淵洋一委員(自民)、矢野制光委員(民主)、岡田憲明委員(道民)を選出。

なお、道政会はオブザーバーの扱いとすることを決定。

一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員会運営について決定。
- ③ 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨報告。

○7月3日(火) 開議 午前10時28分
散会 午前10時41分
第6委員会室

委員長 本間 勲(自民)

付託案件の審査

議案第11号

国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件
(原案可決)

一般議事

- ① 農政部長から、所管事務の概要について説明。
- ② 農政部長から、平成14年度農業関係国費予算要望事項の概要について説明。
- ③ 新たな農業経営政策の確立に関する意見案の発議を決定。
- ④ 平成14年度農業関係国費予算及び上記意見案に関する中央折衝の実施を決定。
- ⑤ 請願について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ⑥ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

水産林務委員会

○4月3日(火) 開議 午後1時26分
散会 午後1時37分
第5委員会室
委員長 井野 厚(民主)

一般議事

- ① 北海道松前道有林管理センター落成式に参加することを決定。
- ② 水産林務部長から、道有林野事業特別会計に係る包括外部監査の結果について報告。
滝口信喜委員(民主)から質疑

○5月8日(火) 開議 午後1時24分
散会 午後1時32分
第5委員会室
委員長 井野 厚(民主)

一般議事

- ① 第52回北海道植樹祭に参加することを決定。
- ② 水産林務部長から、北海道遊漁指針について報告。

○6月5日(火) 開議 午後1時40分
散会 午後1時48分
第5委員会室
委員長 井野 厚(民主)

一般議事

- ① 水産林務部長から、森林づくりに関する条例の検討状況について報告。

○6月14日(木) 開議 午前10時51分
散会 午前10時58分
第5委員会室
委員長 井野 厚(民主)

一般議事

- ① 北海道松前道有林管理センター落成式及び第52回北海道植樹祭への参加概要の報告を了承。
- ② 水産林務部長から、平成13年第2回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 委員交代に伴う引継事項について決定。

○6月19日(火) 開議 午後3時24分
散会 午後3時40分
第5委員会室
委員長 鯉谷 忠(民主)

正副委員長の互選

- ① 委員長に鯉谷忠委員(民主)、副委員長に伊東良孝委員(自民)を選出。



鯉谷忠委員長



伊東良孝副委員長

- ② 理事に石寺廣二委員(自民)、河野光彦委員(民主)、井上真澄委員(道民)、日高令子委員(共産)を選出。

一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員会運営について決定。
- ③ 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨報告。

○6月25日(月) 開議 午前11時15分
散会 午前11時35分
第5委員会室
委員長 鯉谷 忠(民主)

一般議事

- ① 北方四島周辺水域における韓国さんま漁船の

操業問題に関する意見案の発議を決定。

石井孝一委員(自民)、吉野之雄委員(民主)及び河野光彦委員(民主)から質疑、喜多龍一委員(自民)から意見

- ② 上記意見案に関する中央折衝の実施を決定。

○7月3日(火) 開議 午前10時23分
散会 午前11時3分
第5委員会室
委員長 鯉谷 忠(民主)

付託案件の審査

議案第22号

財産の処分に関する件 (原案可決)
喜多龍一委員(自民)から質疑

一般議事

- ① 水産林務部長から、所管事務の概要について説明。
吉野之雄委員(民主)から質疑
- ② 水産林務部長から、平成14年度水産林業関係国費予算要望事項の概要について説明。
吉野之雄委員(民主)から質疑、石井孝一委員(自民)から質疑及び意見
- ③ 平成14年度水産林業関係国費予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ④ トドによる漁業被害対策の強化を求める意見案の発議を決定。
- ⑤ 水産林務事情に関する道内調査の実施を決定。
- ⑥ 陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ⑦ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

建設委員会

○4月3日(火) 開議 午後1時23分
散会 午後1時27分
第4委員会室
委員長 川尻 秀之(自民)

一般議事

- ① 建設部長から、建設部に係る組織機構改正について報告。

○5月8日(火) 開議 午後1時25分
散会 午後1時36分
第4委員会室

委員長 川尻 秀之 (自民)

一般議事

- ① 建設部長から、北海道住宅供給公社のあり方検討委員会について報告。
- ② 日下太朗委員 (民主) から質疑
 - (1) 道内空港における口蹄疫対策について

○6月5日 (火) 開議 午後1時46分
散会 午後2時17分
第4委員会室
委員長 川尻 秀之 (自民)

一般議事

- ① 建設部長から、北海道第八期住宅建設五箇年計画の答申について報告。
- ② 建設部長から、北海道住宅供給公社の平成12年度決算について報告。
船橋利実委員 (自民) から質疑
- ③ 建設部長から、北海道住宅供給公社に係る損害賠償訴訟について報告。
- ④ 建設部長から、職員の不祥事について報告。

○6月14日 (木) 開議 午前10時48分
散会 午前11時5分
第4委員会室
委員長 川尻 秀之 (自民)

一般議事

- ① 建設部長から、平成13年第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員交代に伴う引継事項について決定。

○6月19日 (火) 開議 午後3時23分
散会 午後3時37分
第4委員会室
委員長 高橋 定敏 (自民)

正副委員長の互選

- ① 委員長に高橋定敏委員 (自民)、副委員長に佐藤英道委員 (公明) を選出。



高橋定敏委員長



佐藤英道副委員長

- ② 理事に中里慶三委員 (自民)、岡田篤委員 (民主)、山根泰子委員 (共産) を選出。

一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨報告。

○7月3日 (火) 開議 午前10時26分
散会 午前10時54分
第4委員会室
委員長 高橋 定敏 (自民)

付託議案の審査

- 議案第6号
北海道建設部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
 - 議案第7号
北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
 - 議案第8号
北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
 - 議案第12号
空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)
 - 議案第13号
北海道道の路線の認定及び廃止に関する件 (原案可決)
 - 議案第14号
工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)
 - 議案第15号
工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)
 - 議案第16号
工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)
 - 議案第18号
工事委託契約の締結に関する件 (原案可決)
 - 議案第19号
工事委託契約の締結に関する件 (原案可決)
 - 議案第20号
工事委託契約の締結に関する件 (原案可決)
- 一般議事
- ① 建設部長から、所管事務の概要について説明。
 - ② 北海道道路利用者会議委員に、委員全員を推薦。
 - ③ 建設部長から、平成14年度北海道開発関係予算の概要について説明。

- ④ 平成14年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

文教委員会

○4月3日(火) 開議 午後1時21分
散会 午後1時30分
第9委員会室
委員長 清水 誠一(自民)

一般議事

- ① 教育政策室長から、公立高等学校における生徒募集後の取り扱いについて報告。
稲津久委員(公明)から意見、小野寺勇委員(自民)から質疑

○5月8日(火) 開議 午後1時22分
散会 午後2時36分
第9委員会室
委員長 清水 誠一(自民)

一般議事

- ① 教育庁小中・特殊教育課長から、教科用図書の採択基準等について報告。
新野至都子委員(共産)から質疑(関連して、小野寺勇委員(自民)から質疑及び竹内英順委員(自民)から要望)
- ② 新野至都子委員(共産)から質疑
(1) 校舎改築について

○6月5日(火) 開議 午後1時47分
散会 午後1時56分
第9委員会室
委員長 清水 誠一(自民)

一般議事

- ① 札幌市内文教事情調査の実施を決定。
- ② 小野寺勇委員(自民)から質疑
(1) 道立夕張高等学校損害賠償訴訟に関する対応について

○6月14日(木) 開議 午前10時53分
散会 午後1時21分
第9委員会室
委員長 清水 誠一(自民)

一般議事

- ① 札幌市内の文教事情調査の実施概要の報告を了承。
- ② 企画総務部長から、平成13年第2回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 企画総務部長から、損害賠償金等の支払いについて報告。
石井孝一委員(自民)から質疑
- ④ 企画総務部長から、北海道の教育に関する実態調査結果の概要について報告。
小野寺勇委員(自民)から質疑及び要望
- ⑤ 委員交代に伴う引継事項について決定。
- ⑥ 竹内英順委員(自民)から質疑
(1) 教育問題について
(2) 協定書問題について
(関連して、佐藤時雄委員(自民)、小野寺勇委員(自民)、石井孝一委員(自民)、丸岩公充委員(自民)及び稲津久委員(公明)から質疑)
- ⑦ 石井孝一委員(自民)から質疑
(1) 教員の不祥事件に係る処分について
- ⑧ 新野至都子委員(共産)から質疑
(1) 教職員の勤務実態等について

○6月19日(火) 開議 午後3時26分
散会 午後3時43分
第9委員会室
委員長 佐藤 寿雄(自民)

正副委員長の互選

- ① 委員長に佐藤寿雄委員(自民)、副委員長に西田昭紘委員(民主)を選出。



佐藤寿雄委員長



西田昭紘副委員長

- ② 理事に蝦名大也委員(自民)、佐々木恵美子委員(民主)、上田茂委員(道民)、大橋晃委員(共産)を選出。

一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨報告。

○7月3日(火) 開議 午前10時42分
散会 午後零時13分
第9委員会室
委員長 佐藤 寿雄(自民)

請願の審査

請願第95号

義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担堅持についての件 (採択)

一般議事

- ① 教育長、企画総務部長及び学事課長から、所管事務の概要について説明。
- ② 請願について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ③ 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見案の発議を決定。
- ④ 教育長、企画総務部長及び学事課長から、平成14年度北海道開発関係予算要望事項の概要について報告。
- ⑤ 平成14年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ⑥ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ⑦ 鎌田公浩委員(自民)から質疑
(1) 教科書の採択について
- ⑧ 佐々木恵美子委員(民主)から質疑
(1) 教科書採択について
- ⑨ 清水誠一委員(自民)から質疑
(1) 教科書問題について
- ⑩ 大橋晃委員(共産)から質疑
(1) 教科書問題について

特別委員会 総合開発調査特別委員会

○4月4日(水) 開議 午前11時56分
散会 午後零時50分
第1委員会室
委員長 高橋 文明(自民)

- ① 政策室長から、公共事業に係る国費予算要望に向けた基本的な考え方について報告。
桜井外治委員(自民)及び萩原信宏委員(共産)から質疑及び要望

○5月9日(水) 開議 午前10時27分
散会 午前11時14分
第1委員会室
委員長 高橋 文明(自民)

- ① 政策室長から、平成14年度北海道開発関係予算要望に向けたスケジュール等について報告。
井上真澄委員(道民)から質疑及び要望
- ② 総合企画部長から、北海道GDP四半期速報について報告。
- ③ 沖田龍児委員(民主)から質疑
(1) 苫小牧東部地域へのイーター誘致について

○6月6日(水) 開議 午前11時10分
散会 午前11時52分
第1委員会室
委員長 高橋 文明(自民)

- ① 総合企画部長から、「北海道におけるアウトドア活動の振興に関する基本条例(仮称)」の検討状況について報告。
- ② 政策室長から、「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針・目次案」について報告。
- ③ 萩原信宏委員(共産)から質疑
(1) 開発予算要望のあり方について

○6月14日(木) 開議 午後1時47分
散会 午後1時54分
第1委員会室
委員長事故のため
副委員長 滝口 信喜(民主)

- ① 委員交代に伴う引継事項について決定。

○6月19日(火) 開議 午後4時41分
散会 午後4時53分
第1委員会室
委員長 川尻 秀之(自民)

正副委員長の互選

- ① 委員長に川尻秀之委員(自民)、副委員長に沢岡信広委員(民主)を選出。



川尻秀之委員長



沢岡信広副委員長

- ② 理事に喜多龍一委員(自民)、遠藤連委員(自民)、沖田龍児委員(民主)、木村峰行委員(民主)、井上真澄委員(道民)、大橋晃委員(共産)、佐藤英道委員(公明)を選出。

その他の議事

- ① 議席を決定。
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。

○7月3日(火) 開議 午後1時32分
散会 午後2時
第1委員会室
委員長 川尻 秀之(自民)

- ① 総合企画部長から、所管事務の概要について説明。
② 政策室長から、「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」について報告。

喜多龍一委員(自民)から意見

- ③ 政策室長から、平成14年度北海道開発関係予算要望について報告。

喜多龍一委員(自民)から質疑

- ④ 平成14年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。
⑤ 請願について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。

産炭地域振興対策特別委員会

○4月4日(水) 開議 午前10時29分
散会 午前10時30分
第10委員会室
委員長 中川 隆之(自民)

- ① 北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実施を決定。

○5月9日(水) 開議 午前10時15分
散会 午前10時34分
第10委員会室
委員長 中川 隆之(自民)

- ① 北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実施概要の報告を了承。
② 経済部長から、北海道石炭対策連絡会議の経費支出について報告。
山根泰子委員(共産)から質疑

○6月6日(水) 開議 午前10時16分
散会 午前10時23分
第10委員会室
委員長 中川 隆之(自民)

- ① 経済部長から、太平洋炭鉱の最近の状況と炭鉱技術移転5ヶ年計画の進捗状況について報告。

○6月14日(木) 開議 午後1時41分
散会 午後1時48分
第10委員会室
委員長 中川 隆之(自民)

- ① 委員交代に伴う引継事項について決定。

産炭地域振興・エネルギー問題 調査特別委員会

○6月19日(火) 開議 午後4時14分
散会 午後4時27分
第10委員会室
委員長 星野 高志(民主)

正副委員長の互選

- ① 委員長に星野高志委員(民主)、副委員長に加藤礼一委員(自民)を選出。



星野高志委員長



加藤礼一副委員長

- ② 理事に工藤敏郎委員（自民）、蝦名大也委員（自民）、岡田篤委員（民主）、河野光彦委員（民主）、久保雅司委員（道民）、萩原信宏委員（共産）、稲津久委員（公明）を選出。

その他の議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、請願・陳情に係る付託がえについて報告。

○7月3日（火） 開議 午後1時41分
散会 午後1時50分
第10委員会室
委員長 星野 高志（民主）

- ① 経済部長及び原子力安全対策課長から、所管事務の概要について説明。
- ② 委員長から、衆議院石炭対策特別委員会の来道について報告。
- ③ 産炭地域六団体連絡協議会代表者要望行動の実施を決定。
- ④ 北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実施を決定。
- ⑤ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。

北方領土対策特別委員会

○4月4日（水） 開議 午前10時33分
散会 午前10時41分
第3委員会室
委員長 石井 孝一（自民）

- ① 領対本部長から、北方四島との交流に係る四島関係者との協議について報告。
- ② 領対本部長から、北方領土墓参に係る協議について報告。
- ③ 領対本部長から、北方四島自由訪問事業に係る協議について報告。

○5月9日（水） 開議 午前10時24分
散会 午前10時45分
第3委員会室
委員長 石井 孝一（自民）

- ① 領対本部長から、平成13年度北方領土復帰対策事業推進方策について説明。
- ② 領対本部長から、北方四島交流事業の実施について説明。
- ③ 北方四島訪問団員の団員推薦を決定。
- ④ 佐藤英道副委員長（公明）から質疑
(1) 二島先行返還論について
(関連して、小池昌委員（道政）から質疑)

○6月6日（水） 開議 午前10時15分
散会 午前11時11分
第3委員会室
委員長 石井 孝一（自民）

- ① 北方四島訪問の実施概要の報告を了承。
- ② 領対本部長から、北方四島交流事業の実施について説明。
- ③ 領対本部長から、平成13年度北方四島自由訪問事業の実施について説明。
- ④ 瀬能晃委員（自民）から質疑
(1) 北方四島に関する法令、財政措置の適用について
- ⑤ 遠藤連委員（自民）から質疑
(1) 「ビザなし交流」の成果と今後の課題について
(2) 領土返還運動などについて

○6月14日（木） 開議 午後2時3分
散会 午後2時18分
第3委員会室
委員長 石井 孝一（自民）

- ① 領対本部長から、北方領土復帰期成同盟について報告。
- ② 領対本部長から、北方四島自由訪問事業の実施について説明。
- ③ 委員交代に伴う引継事項について決定。
- ④ 領対本部長から、前回の委員会において答弁保留した瀬能晃委員（自民）の質問に対して回答。

○6月19日(火) 開議 午後4時15分
散会 午後4時34分
第3委員会室
委員長 瀬能 晃(自民)

正副委員長の互選

- ① 委員長に瀬能晃委員(自民)、副委員長に林大記委員(民主)を選出。



瀬能晃委員長



林大記副委員長

- ② 理事に田淵洋一委員(自民)、三井あき子委員(民主)、村井宣夫委員(道民)、山根泰子委員(共産)、吉田恵悦委員(公明)を選出。

その他の議事

- ① 議席を決定。
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨報告。
③ 領対本部長から、平成13年度北方領土復帰対策の年間主要行事について説明。
④ 領対本部長から、北方四島交流事業の実施について説明。
⑤ 領対本部長から、2001北方領土キャンペーンの実施について説明。

○7月3日(火) 開議 午後1時31分
散会 午後1時47分
第3委員会室
委員長 瀬能 晃(自民)

- ① 領対本部長及び水産林務部総務課長から、所管事務の概要について説明。
② 北方領土問題等の解決促進に関する意見案の発議を決定。
③ 領対本部長から、北方四島自由訪問の実施について説明。
④ 領対本部長から、北方四島交流事業の実施について説明。
⑤ 領対本部長から、平成14年度北方領土対策関係国費予算について説明。
⑥ 平成14年度北方領土対策関係国費予算に関する中央折衝の実施を決定。

- ⑦ 北方領土返還要求北海道・東北国民大会への委員の派遣について決定。

エネルギー問題調査特別委員会

○4月4日(水) 開議 午前11時12分
散会 午前11時36分
第10委員会室
委員長 段坂 繁美(民主)

- ① 経済部長から、原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法施行令の施行について報告。
吉野之雄委員(民主)から質疑

○5月9日(水) 開議 午前11時46分
散会 午後零時35分
第10委員会室
委員長 段坂 繁美(民主)

- ① 経済部長から、幌延深地層研究計画について報告。
花岡ユリ子委員(共産)から質疑
② 星野高志委員(民主)から質疑
(1) 省エネルギー・新エネルギー促進行動計画について
(2) バイオガス発電について

○6月6日(水) 開議 午前11時9分
散会 午前11時30分
第10委員会室
委員長 段坂 繁美(民主)

- ① 経済部長から、北海道天然ガス導入研究会の検討結果について報告。
② 花岡ユリ子委員(共産)から質疑
(1) 幌延深地層研究計画に係る空中物理探査について

○6月14日(木) 開議 午後2時12分
散会 午後2時16分
第10委員会室
委員長 段坂 繁美(民主)

- ① 委員交代に伴う引継事項について決定。

新幹線・総合交通対策特別委員会

○4月4日(水) 開議 午前10時30分
散会 午前10時40分
第1委員会室
委員長 和田 敬友(自民)

- ① 総合企画部長から、北海道国際航空(株)の最近の動向について報告。
- ② 環境生活部長から、春の全国交通安全運動の取り組みについて説明。

○5月9日(水) 開議 午前11時35分
散会 午前11時55分
第1委員会室
委員長 和田 敬友(自民)

- ① 警察本部交通部長から、平成13年4月末の交通死亡事故概況と死亡事故抑止対策について説明。
- ② 日高令子委員(共産)から質疑
(1) 生活交通確保対策について

○6月6日(水) 開議 午前10時20分
散会 午前10時47分
第1委員会室
委員長事故のため
副委員長 村井 宣夫(道民)

- ① 総合企画部長から、北海道国際航空(株)の最近の動向について報告。
日高令子委員(共産)及び見延順章委員(自民)から質疑
- ② 警察本部交通部長から、交通事故死シャットアウト北海道の実施について説明。

○6月14日(木) 開議 午後2時12分
散会 午後2時37分
第1委員会室
委員長 和田 敬友(自民)

- ① 環境生活部長から、平成12年交通事故の状況及び交通安全施策の概況に関する年次報告について説明。
- ② 環境生活部長から、第7次北海道交通安全計画について説明。
- ③ 警察本部交通部長から、厚別優良運転者免許更新センターの概要について説明。

- ④ 委員交代に伴う引継事項について決定。

○6月19日(火) 開議 午後4時6分
散会 午後4時19分
第1委員会室
委員長 高橋 一史(自民)

正副委員長の互選

- ① 委員長に高橋一史委員(自民)、副委員長に花岡ユリ子委員(共産)を選出。



高橋一史委員長



花岡ユリ子副委員長

- ② 理事に國澤勲委員(自民)、竹内英順委員(自民)、佐野法充委員(民主)、斉藤博委員(民主)、岡田憲明委員(道民)を選出。

なお、道政会はオブザーバーの扱いとすることを決定。

その他の議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨報告。

○7月3日(火) 開議 午後2時16分
散会 午後2時44分
第1委員会室
委員長 高橋 一史(自民)

- ① 総合企画部長、環境生活部長及び警察本部交通部長から、所管事務の概要について説明。
- ② 総合企画部長、環境生活部長及び警察本部交通部長から、平成14年度北海道開発関係予算要望事項の概要について説明。
石寺廣二委員(自民)から質疑
- ③ 平成14年度北海道開発関係予算に関する中央要請の実施を決定。

地方分権・構造改革問題調査特別委員会

- 4月4日(水) 開議 午前10時45分
散会 午前11時40分
第2委員会室
委員長 大橋 晃(共産)
- ① 情報通信産業の現状についての現地調査実施概要の報告を了承。
② 地方分権・構造改革問題調査特別委員会協議会の開催について決定。
③ 総合企画部政策室長から、「支庁改革に関する試案」について報告。
原田裕委員(自民)、沢岡信広委員(民主)、鯉谷忠委員(民主)、板谷實委員(自民)、清水誠一委員(自民)及び酒井芳秀委員(自民)から質疑
- 5月9日(水) 開議 午前11時42分
散会 午後零時1分
第2委員会室
委員長 大橋 晃(共産)
- ① 産業クラスターの状況及び共同研究の成果についての現地調査実施概要の報告を了承。
② 板谷實委員(自民)から質疑
(1) 支庁改革に関する試案について
(関連して、鯉谷忠委員(民主)から要望)
- 6月6日(水) 開議 午前10時16分
散会 午前10時37分
第2委員会室
委員長 大橋 晃(共産)
- ① 総合企画部政策室長から、支庁制度の検討について報告。
② 総務部総務課参事から、行財政システム改革実施計画の推進状況について報告。
③ 総合企画部経済企画室長から、経済構造改革のフォローアップについて報告。
- 6月14日(木) 開議 午後2時12分
散会 午後2時18分
第2委員会室
委員長 大橋 晃(共産)
- ① 委員交代に伴う引継事項について決定。

- 6月19日(火) 開議 午後4時2分
散会 午後4時15分
第2委員会室
委員長 上田 茂(道民)

正副委員長の互選

- ① 委員長に上田茂委員(道民)、副委員長に水城義幸委員(自民)を選出。



上田 茂委員長



水城義幸副委員長

- ② 理事に岩本剛人委員(自民)、池本柳次委員(民主)、新野至都子委員(共産)、伊藤武一委員(公明)を選出。

その他の議事

- ① 議席を決定。
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨報告。

- 7月3日(火) 開議 午後2時18分
散会 午後2時26分
第2委員会室
委員長 上田 茂(道民)
- ① 総合企画部政策室長及び総務部総務課参事から、所管事務の概要について説明。

少子・高齢社会対策特別委員会

- 4月4日(水) 開議 午前10時32分
散会 午前10時35分
第7委員会室
委員長 平出 陽子(民主)
- ① 少子・高齢社会対策に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
- 5月9日(水) 開議 午前10時10分
散会 午前10時56分
第7委員会室
委員長 平出 陽子(民主)
- ① 保健福祉部長から、介護保険制度の施行状況について報告。

新野至都子委員（共産）及び稲津久委員（公明）から質疑

- ② 新野至都子委員（共産）から質疑
 - (1) 子育て両立支援について
 - (2) 北海道エンゼルプランについて
 - (3) 乳幼児医療費の無料化について

○6月6日（水） 開議 午前10時15分
散会 午前10時38分
第7委員会室
委員長 平出 陽子（民主）

- ① 保健福祉部長から、児童相談所における児童虐待の相談処理状況について報告。
- ② 新野至都子委員（共産）から質疑
 - (1) 介護保険について

○6月14日（木） 開議 午後1時51分
散会 午後2時2分
第7委員会室
委員長 平出 陽子（民主）

- ① 委員交代に伴う引継事項について決定。

○6月19日（火） 開議 午後4時10分
散会 午後4時25分
第7委員会室
委員長 伊藤 政信（民主）

正副委員長の互選

- ① 委員長に伊藤政信委員（民主）、副委員長に見延順章委員（自民）を選出。



伊藤政信委員長



見延順章副委員長

- ② 理事に前田康吉委員（自民）、柿木克弘委員（自民）、佐々木恵美子委員（民主）、矢野制光委員（民主）、西村慎一委員（道民）、日高令子委員（共産）、荒島仁委員（公明）を選出。

その他の議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨報告。

- 7月3日（火） 開議 午後1時25分
散会 午後1時46分
第7委員会室
委員長 伊藤 政信（民主）
 - ① 保健福祉部長から、所管事務の概要について説明。
 - ② 介護保険制度の改善を求める意見書の発議を決定。
 - ③ 上記意見書に関する中央折衝の実施を決定。
 - ④ 保健福祉部長から、平成14年度北海道開発関係予算の要望事項について報告。
 - ⑤ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。

有珠山噴火災害対策特別委員会

- 4月4日（水） 開議 午後1時12分
散会 午後1時26分
第1委員会室
委員長事故のため
副委員長 山口 恵聖（民主）
 - ① 総合企画部長から、2000年有珠山噴火災害復興計画基本方針について報告。

○5月9日（水） 開議 午後1時22分
散会 午後1時27分
第1委員会室
委員長 岩本 允（自民）

- ① 災害の復旧・復興状況に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
- ② 中里慶三委員（自民）から質疑
 - (1) 復興対策のスケジュールについて

- 6月6日（水） 開議 午後1時10分
散会 午後2時3分
第1委員会室
委員長事故のため
副委員長 山口 恵聖（民主）
 - ① 総合企画部長から、有珠山噴火災害に係る地元市町村等からの要望事項に対する対応状況について報告。
原田裕委員（自民）、滝口信喜委員（民主）及び花岡ユリ子委員（共産）から質疑

○6月19日(火) 開議 午後5時35分
散会 午後5時47分
第1委員会室
委員長 中川 隆之(自民)

正副委員長の互選

- ① 委員長に中川隆之委員(自民)、副委員長に滝口信喜委員(民主)を選出。



中川隆之委員長



滝口信喜副委員長

- ② 理事に工藤敏郎委員(自民)、中里慶三委員(自民)、沖田龍児委員(民主)、斉藤博委員(民主)、上田茂委員(道民)、日高令子委員(共産)、伊藤武一委員(公明)を選出。

その他の議事

- ① 議席を決定。

○7月3日(火) 開議 午後3時2分
散会 午後3時22分
第1委員会室
委員長 中川 隆之(自民)

- ① 総務部長及び総合企画部長から、有珠山噴火活動状況及び対策状況の概要について説明。
② 経済部長から、「有珠山噴火災害中小企業返済対策特別資金」融資制度の改正について報告。
③ 総合企画部長から、平成14年度北海道開発関係予算の概要について説明。
④ 平成14年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。

予 算 特 別 委 員 会

○6月27日(水) 開議 午後5時19分
散会 午後5時26分
第1委員会室
委員長 高橋由紀雄(民主)

正副委員長の互選

- ① 委員長に、高橋由紀雄委員(民主)、副委員長に瀬能晃委員(自民)を選出。
- ② 付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は、委員15人、所管は総務部、環境生活部、保健福祉部、人事委員会、公安委員会、出納局、監査委員及び企業局、第2分科会は、委員15人、所管は総合企画部、経済部、農政部、水産林務部、建設部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員については、配付の委員名簿のとおり選出。

○第1分科会(委員15人)

池本 柳次(民主)	木村 峰行(民主)
遠藤 連(自民)	柿木 克弘(自民)
久保 雅司(道民)	花岡ユリ子(共産)
稲津 久(公明)	林 大記(民主)
喜多 龍一(自民)	前田 康吉(自民)
板谷 實(自民)	川村 正(自民)
小池 昌(自民)	西本 美嗣(民主)
和田 敬友(自民)	

○第2分科会(委員15人)

井上 真澄(道民)	田渕 洋一(自民)
中里 慶三(自民)	加藤 礼一(自民)
荒島 仁(公明)	矢野 制光(民主)
沢岡 信広(民主)	瀬能 晃(自民)
原田 裕(自民)	加藤 唯勝(自民)
平出 陽子(民主)	大橋 晃(共産)
土田 弘(民主)	小野寺 勇(自民)
久田 恭弘(自民)	

- ③ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長を置くことを決定。
- ④ 付託案件の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。

- ⑤ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、発言の順位は本会議の一般質問に準じることを決定。
- ⑥ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑦ 本委員会の運営に当たり正副委員長及び各分科会の正副委員長をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営すること、正副委員長の配分のない会派についても出席願うことを決定。
- ⑧ 委員外議員の発言について、委員の割り当てのない諸派の議員から発言の申出があった場合、その都度委員会に諮り決定することとし、発言を許可した場合は委員の質疑終了後に発言を許可することを決定。

第 1 分 科 会

○6月27日(水) 開議 午後5時28分
散会 午後5時36分
第1委員会室
第1分科委員長
林 大記(民主)

正副委員長の互選

- ① 分科委員長に、林大記委員(民主)、分科副委員長に遠藤連委員(自民)を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法、理事会の設置、分科委員の異動等、委員外議員発言の取扱い及び議席について決定。
- ③ 理事に柿木克弘委員(自民)、池本柳次委員(民主)、久保雅司委員(道民)、花岡ユリ子委員(共産)、稲津久委員(公明)を選出。

○6月28日(木) 開議 午前11時31分
散会 午後3時53分
第1委員会室
第1分科委員長
林 大記(民主)

- ① 公安委員会所管に対する質疑に入り、**新野 至都子委員(共産)**から、
 - 1 動物虐殺について
 - ・実態の把握
 - ・捜査の体制及び強化の内容

・殺人への危惧の認識

等について質疑、意見及び要望があり、警察本部生活経済課長から答弁があつて、公安委員会所管に対する質疑を終結。

② 保健福祉部所管に対する質疑に入り、

柿木 克弘委員（自民）から、

1 薬物中毒について

- ・道内の検挙者数及び薬物中毒者数
- ・薬物中毒者に対する保健所及び精神保健福祉センターの取組
- ・薬物乱用防止に対する普及啓発
- ・社会復帰対策の取組

2 アルコール依存症について

- ・アルコール依存症者数の把握
- ・社会復帰組織の実態
- ・北海道断酒連合会の事業計画の内容
- ・保健所での相談指導等の実績
- ・社会復帰地域支援システムの内容及び効果
- ・システム拡大への認識
- ・社会的自立を図るための各種の福祉対策
- ・ホームヘルパー制度の活用

等について

木村 峰行委員（民主）から、

1 DV対策における女性相談援助センターについて

- ・設置の趣旨
- ・相談件数及び一時保護件数の推移
- ・相談及び一時保護の増加に対する対応
- ・センターの今後の役割

等について

花岡 ユリ子委員（共産）から、

1 保育所の規制緩和について

- ・設置・運営に係る規制緩和措置の内容
- ・入所定員の弾力化制限の撤廃等による道の見解
- ・規制緩和後の設置認可におけるチェック内容及び認可保育所数と内容
- ・規制緩和と保育所サービス

2 有珠優健学園について

- ・学園の現状認識
- ・入所率の低さと定員に満たない理由
- ・学園の役割
- ・情緒障害児短期治療施設の民間法人への運営委託の考え方
- ・学園の改修

3 C型肝炎について

- ・肝炎ウイルス検査の公費負担
- ・国に対する検査の実施及び早急な取組についての要望

等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長、福祉局長、業務課長、障害者保健福祉課長及び児童家庭課長から答弁があつて、企業局及び保健福祉部所管に対する質疑を終結。

③ 環境生活部所管に対する質疑に入り、

遠藤 連委員（自民）から、

1 資源リサイクル問題について

- ・道内における廃棄物の実態
- ・リサイクルの推進方策
- ・リサイクル事業者からの相談実態
- ・リサイクル関連産業への支援策
- ・自動車のリサイクルシステムの検討内容
- ・協議会の協議のあり方
- ・国のリサイクル法との整合性

等について

池本 柳次委員（民主）から、

1 交通安全問題について

- ・交通事故多発の原因及びシートベルト着用の効果に対する分析
- ・運転席・助手席のシートベルト着用率の推移
- ・シートベルト着用の取組方策
- ・後部座席のシートベルト装着実態及び着用のPRの必要性
- ・チャイルドシートの着用率、低い着用率の原因及び死亡抑止効果
- ・市町村の普及促進事業の現状と道の財政的支援
- ・ワーストワン返上の方策と決意

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、交通安全対策室長、廃棄物対策課長及び交通安全対策室参事から答弁があつて、環境生活部所管に対する質疑を終結。

④ 総務部所管に対する質疑に入り、

喜多 龍一委員（自民）から、

1 私学行政について

- ・中卒者の減少と私立高校の経営に対する認識
- ・経営改善の取組状況
- ・経営に対する指導内容
- ・特色ある私学の取組状況と指導内容
- ・公私間の入学定員の調整内容
- ・私学団体の取組に対する認識

- ・私学の役割に関する認識
 - ・今後の学校のあり方に対する検討方策
- 2 外国人留学生修学奨励事業について
- ・外国人留学生の受入れ実績
 - ・修学奨励費の支給状況
 - ・私費留学生の割合が低い原因
 - ・私費留学生の受入れ環境づくりの必要性
 - ・帰国後の留学生の役割に対する認識
 - ・留学生のボランティア通訳への登録

等について

木村 峰行委員（民主）から、

- 1 ロシア連邦サハリン州からの火傷患者の受入れについて
- ・火傷患者等のロシア連邦からの緊急受入れ実績と内容
 - ・サハリン州側からの支援要請と道の対応状況
 - ・患者の病状
 - ・想定される治療期間
 - ・治療費の概算と治療の緊急性
 - ・火傷少年治療に対する現在のサハリン州側と道内民間団体等の状況
 - ・火傷少年治療に対する道としての支援

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長、国際課長、国際課ロシア室長及び学事課長から答弁があって、議事進行の都合により散会。

花岡 ユリ子委員（共産）から、

- 1 関与団体の指導について
- ・関与団体に係る現地調査等の実施状況
 - ・今後の現地調査等の方針
 - ・補助金の見直しの考え方
 - ・北海道農業開発公社の非常勤役員の報酬等の内容と指導
 - ・補助金等の積算方法の見直し
 - ・負担金に係る支出の内容
 - ・負担金に係る現地調査の必要性
 - ・関与団体への指導の徹底
 - ・出資金の引き揚げ

等について

久保 雅司委員（道民）から、

- 1 エア・ドゥ支援と道財政について
- ・道財政に与える影響
 - ・職員の理解
 - ・補助率の妥当性
 - ・今年度の収支見通し

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長、総務課参事及び財政課長から答弁があって、出納局、人事委員会、監査委員及び総務部所管に対する質疑は、総括質疑に保留された事項を除き終結。

○6月29日（金） 開議 午前11時35分
閉会 午後2時3分
第1委員会室
第1分科委員長
林 大記（民主）

① 総務部所管に対する質疑を続行し、

小野寺 勇委員（自民）から、

- 1 エア・ドゥの予算について
- ・エア・ドゥの経営状況の認識と予算計上の判断
 - ・政策会議の開催
 - ・支援策決定までの検討事項と結果
 - ・新経営改善計画案に対する認識
 - ・エア・ドゥへの支援内容
 - ・今後の対処
 - ・道の支援の予算計上と提案の時期
 - ・予算措置の考え方
 - ・予算の執行時期

等について

第 2 分 科 会

○6月27日（水） 開議 午後5時28分
散会 午後5時35分
第2委員会室
第2分科委員長
中里 慶三（自民）

正副委員長の互選

- ① 分科委員長に中里慶三委員（自民）、分科副委員長に矢野制光委員（民主）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法、理事会の設置、分科委員の異動等、委員外議員発言の取扱い及び議席について決定。
- ③ 理事に田淵洋一委員（自民）、沢岡信広委員（民主）、井上真澄委員（道民）、大橋晃委員（共産）、荒島仁委員（公明）を選出。

○6月28日(木) 開議 午前10時25分
散会 午後4時52分
第2委員会室
第2分科委員長
中里 慶三(自民)

① 建設部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員(自民)から、

1 港湾問題について

- ・外国商船の入港状況
- ・ポータルラジオが港湾運営上で果たしている役割についての認識
- ・ポータルラジオ局の再開に向けた取組
- ・ポータルラジオ局の再開に向けた道としての関わり

等について

大橋 晃委員(共産)から、

1 道営住宅について

- ・道営住宅の応募状況と増加の要因
- ・道営住宅の建設戸数を増やすべきとの意見に対する道の見解
- ・高齢者及び単身者向け住宅整備の考え方
- ・道営住宅の修繕要望と実施状況
- ・道営住宅修繕費予算減少の要因
- ・修繕費予算確保の見解

等について質疑、意見及び要望があり、建設部長、土木局長、住宅局長、空港港湾課長及び住宅課長から答弁があって、建設部及び収用委員会所管に対する質疑を終結。

② 水産林務部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員(自民)から、

1 トドによる漁業被害対策について

- ・トド被害の実態
- ・トド被害防止対策
- ・刺し網漁業の今後の対策と忌避システム開発の内容
- ・「トド基金の創設」による救済対策
- ・今後のトド対策

等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長、水産局長及び企画調整課参事から答弁があって、水産林務部、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会所管に対する質疑を終結。

③ 農政部所管に対する質疑に入り、

土田 弘委員(民主)から、

1 農業経営所得対策について

- ・本道農業の粗生産額及び生産農業所得の状況
 - ・経営対策大綱取りまとめの見通し
 - ・AMS 農業保護助成額激減に対する認識
 - ・諸外国の農政動向を踏まえた我が国の農政改革に対する認識
 - ・ガット農業合意後の我が国の農業政策に対する見解
 - ・新たな所得安定対策の対象に対する認識
 - ・諸外国の環境支払に対する認識
 - ・農業の持つ国土保全機能に対する所見
 - ・環境支払に対する認識
 - ・農業の多面的機能に着目した政策に対する見解
 - ・地方独自の施策の展開に対する認識
 - ・道農業予算執行に対する農政部長の所見
- 等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、農業企画室長及び農業企画室参事から答弁があって、農政部所管に対する質疑を終結。

④ 経済部所管に対する質疑に入り、

加藤 礼一委員(自民)から、

1 商工信組問題について

- ・旭川商工信組の破綻の原因及び経営責任に対する認識
- ・信用組合の業績不振の原因に対する認識
- ・信用組合に対する指導監督
- ・旭川商工信組の大口融資に対する実態把握
- ・旭川商工信組の支援要請に対する対応
- ・地域の中小零細事業者対策
- ・再出資資金の融資制度の利用状況
- ・新信用組合設立の可能性に対する認識及び対応
- ・新信用組合設立に対する支援のあり方

等について

沢岡 信広委員(民主)から

1 イーターについて

- ・国内外の動向に対する認識
- ・総決起集会開催に対する見解及び開催時期に対する考え方

等について

大橋 晃委員(共産)から

1 イーターについて

- ・道民理解に対する認識
- ・住民の意向把握の必要性

- ・誘致に当たっての地元負担及び住民合意を得るための努力
- ・放射性廃棄物の処理・処分への協力が条件とされた場合の誘致の判断

等について

荒島 仁委員（公明） から、

1 商工信組問題について

- ・地域経済への影響に対する認識
- ・破綻処理のスケジュール及び取引先に対する融資取引
- ・経営破綻の原因に対する認識
- ・道の指導監督責任
- ・新信用組合設立に対する道の支援

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、苫東開発課参事及び金融課長から答弁があって、経済部及び地方労働委員会所管に対する質疑は、総括質疑に保留された事項を除き終結。

⑤ 教育委員会所管に対する質疑に入り、

田淵 洋一委員（自民） から、

1 教科書の採択について

- ・国立大学の研究者などのアピール
- ・大学研究者などの見解の表明等の自由
- ・採択地区協議会等に対する指導内容
- ・アピール者の道教委審議会等委員就任の実態
- ・道教委第二次教育計画推進会議メンバーであるアピール者の行動に対する対応
- ・教職員団体等のあるべき姿及び活動に対する見解と対処方法
- ・教職員団体等への指導内容
- ・選定委員会の委員の選任のあり方と委員氏名の公表の必要性
- ・選定委員会委員の改善状況や氏名公表の状況
- ・共同採択と各教育委員会との関わり
- ・教育委員会の意志の反映状況と教育委員会に対する指導内容
- ・教科書絞り込みの排除への取組
- ・事実上の絞り込み採択に対する見解
- ・教科書採択と学習指導要領との関わりや議事録の公開
- ・議事録公開状況の公表の必要性や取り進め方
- ・道教委の採択参考資料の内容

等について

大橋 晃委員（共産） から、

1 教育行政と不当な支配について

- ・教育基本法に対する基本認識

- ・参議院自民党政策審議会との意見交換における教育長の発言内容
- ・教育長発言と教育基本法第10条との関わりに対する考え方

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、企画総務部長、生涯学習部長及び小中・特殊教育課長から答弁があって、教育委員会所管に対する質疑を集結。

○6月29日（金） 開議 午後1時25分

閉会 午後5時28分

第2委員会室

第2分科委員長

中里 慶三（自民）

① 総合企画部所管に対する質疑に入り、

原田 裕委員（自民） から、

1 エア・ドウについて

- ・経営状況と経営悪化要因
- ・支援が得られなかった場合の状況
- ・搭乗率の見込み
- ・大手の運賃攻勢の予測
- ・営業強化策の内容と成果
- ・支援事業の考え方と広告内容
- ・支援の期限
- ・新計画の営業戦略の具体的内容
- ・道内旅行代理店との連携
- ・コスト削減の内容
- ・経営方針の認識の相違
- ・新計画見直しの内容
- ・新計画策定期間
- ・コスト圧縮の考え方
- ・人件費削減の考え方
- ・委託費等削減の考え方
- ・労働組合との連携
- ・経営監視の対応と議会報告
- ・経営改善未達成時の対応と執行計画
- ・支援策の執行時期

等について

沢岡 信広委員（民主） から、

1 自衛隊機誤射問題について

- ・訓練内容の事前通知及び住民への周知
- ・関係自治体との協定及び住民周知システムの実態と今後の対応
- ・道の連絡本部の設置目的など
- ・事故原因及び被害状況の把握
- ・再発防止対策の申入れに対する国の回答

・今後の訓練のあり方に対する国への申入れ等について

瀬能 晃委員（自民）から、

1 エア・ドゥ問題について

- ・運輸業の経験者数
- ・機内サービス業務の考え方
- ・機体整備の委託額及び委託内容
- ・札幌市内の営業所の業務内容
- ・再建に向けた会社及び社員の決意
- ・新経営改善計画に対する社員提案の内容及び社員の意識改革
- ・会社再建に向けた取組

等について

平出 陽子委員（民主）から、

1 エア・ドゥの経営計画及び経営方針について

- ・経営責任に対する道の認識
- ・道の支援による経費節減の可能性
- ・経費節減策に対する道の認識
- ・増収策に対する道の見解
- ・経営体制の抜本的見直しの必要性
- ・道内経済界からの出資の見通し
- ・金融機関からの融資状況
- ・道内経済界の支援姿勢に対する道の認識
- ・道内経済界に対する道の働きかけ
- ・具体的転身による経営改善
- ・経営改善計画と道の支援の関係
- ・道の支援を前提とした経営見通しの練り直しの必要性
- ・経営計画の見直しに対する同社の取組
- ・経営計画の早期見直しに対する道の対応
- ・経営計画への道の関与のあり方
- ・今後の道の支援の考え方と経営内容チェックの必要性
- ・支援に対する部長の決意

等について

大橋 晃委員（共産）から、

1 エア・ドゥについて

- ・これまでの事故・トラブルの発生状況
- ・安全性確保に対する道の考え方
- ・機体整備の一部自営化の内容及び自営化によるコスト削減の見込み
- ・トラブル隠ぺいに対する道の受けとめ方
- ・新経営改善計画におけるリスク対策
- ・企業体質に対する認識
- ・スカイマークとの比較に対する見解

- ・経営基盤の必要性
- ・道の支援額変更の理由
- ・自立化の達成と指標
- ・追加支援に対する対処方針

・エア・ドゥのあり方そのものの抜本的検討の必要性

等について

井上 真澄委員（道民）から、

1 エア・ドゥに対する支援について

- ・道民の支援及び経済波及効果
- ・道民の翼に対する認識
- ・競争力の強化に対する将来の分析
- ・会社の労使協調関係
- ・札幌市への支援要請及び支援に対する札幌市の考え方
- ・金融機関に対する融資要請とその結果及び増資計画未達成となった理由
- ・今回の支援策の内容
- ・支援期限及び経営改善等の可能性
- ・道の支援策の検討

等について

荒島 仁委員（公明）から、

1 北海道国際航空に対する支援について

- ・補助金支援額の妥当性
- ・道内の中小企業者との均衡に対する見解
- ・自主再建に向けた新たな経営戦略の確立
- ・搭乗率の維持
- ・搭乗率の維持の可能性
- ・大手各社との関係及び今後の取組
- ・新規参入者がおかれている状況に対する認識
- ・ボーディングブリッジ確保の見通し
- ・航空運賃の届け出制移行による影響
- ・国に対するこれまでの要請内容と結果
- ・再建・自立化と法令等の関わり
- ・航空行政等への働きかけ

等について質疑、意見及び要望があり、総合企画部長、交通企画室長及び交通企画課長から答弁があつて、総合企画部及び選挙管理委員会所管に対する質疑は、総括質疑に保留された事項を除き終結。

〇7月2日(月) 開議 午後6時43分
閉会 午後9時26分
第1委員会室

委員長 高橋由紀雄(民主)

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② 知事に対する総括質疑に入り、

原田 裕委員(自民)から、

1 エア・ドゥについて

- ・新経営改善計画とエア・ドゥの経営見直し
- ・支援を決定した理由
- ・支援の内容とあり方
- ・会社の認識
- ・新計画の見直しに対する認識
- ・組合の協力
- ・会社の取組
- ・会社の経営姿勢

等について

平出 陽子委員(民主)から、

1 エア・ドゥ支援について

- ・エア・ドゥの経営見直し
- ・経営改善に向けた抜本的な見直し
- ・抜本の見直しの策定時期
- ・支援に対する知事の決意

等について

沢岡 信広委員(民主)から、

1 島松射爆撃場の訓練の見直しについて

- ・現地の状況など
- ・地元の意向に対する認識
- ・島松射爆撃場のあり方

等について

大橋 晃委員(共産)から、

1 エア・ドゥについて

- ・エア・ドゥの企業体質
- ・経済界や札幌市の支援
- ・新経営改善計画の内容
- ・エア・ドゥの自立化
- ・経常経費に対する支援
- ・道民の声に対する考え方
- ・今後のエア・ドゥのあり方

等について

井上 真澄委員(道民)から、

1 エア・ドゥについて

- ・エア・ドゥに対する認識
- ・支援のあり方

等について

荒島 仁委員(公明)から、

1 エア・ドゥに対する支援について

- ・再建・自立化の可能性と支援額の妥当性
- ・国等への働きかけ

等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、総括質疑を終結。

③ 付託案件に対する意見調整は、理事会で行うことを決定。

④ 理事会において、付託案件に対する意見調整の結果、意見不一致であった旨報告。

⑤ 花岡ユリ子委員(共産)から、議案第23号に対する反対討論があって、討論終結。直ちに採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することを決定。

⑥ 中里慶三委員(自民)から、別紙の附帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議があり、これを諮って動議成立。本動議を直ちに議題とし、花岡ユリ子委員(共産)外1名から反対討論があって、討論終結。直ちに採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって本動議を可決することに決定。

⑦ 付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。

⑧ 委員長から、付託案件の審査の終了にあたり、挨拶があって閉会。

資 料

第2回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決年月日	公布年月日	公 布 番 号
北海道税条例の一部を改正する条例	* 13. 3. 30	13. 3. 30	北海道条例第43号
北海道性風俗営業等に係る不当な勧誘、料金の取立て等の規制に関する条例	13. 7. 3	13. 7. 10	北海道条例第44号
北海道税条例の一部を改正する条例	13. 7. 3	13. 7. 10	北海道条例第45号
低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	13. 7. 3	13. 7. 10	北海道条例第46号
北海道議会議員及び北海道知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	13. 7. 3	13. 7. 10	北海道条例第47号
北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例	13. 7. 3	13. 7. 10	北海道条例第48号
北海道建設部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例	13. 7. 3	13. 7. 10	北海道条例第49号
北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例	13. 7. 3	13. 7. 10	北海道条例第50号
北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例	13. 7. 3	13. 7. 10	北海道条例第51号
北海道警察組織条例の一部を改正する条例	13. 7. 3	13. 7. 10	北海道条例第52号
北海道新産業都市建設協議会条例を廃止する条例	13. 7. 3	13. 7. 10	北海道条例第53号

* 条例43号は、3月30日専決処分、第2回定例会において7月3日承認議決。

第19回参議院議員通常選挙結果

(平成13年7月29日執行)

1 全国党派別当選者数等調

①選挙区

党派別	区分	当 選 者				立候補者	得 票 数	得票率 (%)
		新	前	元	計			
自由民主党		10	33	1	44	49	22,299,825.411	41.04
民主党		9	9		18	35	10,066,552.501	18.53
公明党		1	4		5	5	3,468,664.000	6.38
日本共産党			1		1	47	5,362,958.000	9.87
社会民主党						14	1,874,299.000	3.45
自由党		2			2	14	3,011,787.000	5.54
無所属の会								
保守党								
第二院クラブ								
自由連合						45	1,243,790.836	2.29
維新政党・新風						8	72,066.560	0.13
女性党						8	732,153.926	1.35
新社会党						13	386,966.000	0.71
新党・自由と希望								
諸派						7	160,508.777	0.30
無所属		2	1		3	47	5,658,911.620	10.41
合 計		24	48	1	73	292	54,338,483.631	

②比例代表

党派別	区分	当 選 者				立候補者	得 票 数	得票率 (%)
		新	前	元	計			
自由民主党		11	7	2	20	27	21,114,706.581	38.57
民主党		5	3		8	28	8,990,523.003	16.42
公明党		3	5		8	17	8,187,827.284	14.96
日本共産党		2	2		4	25	4,329,210.659	7.91
社会民主党		3			3	10	3,628,635.901	6.63
自由党		3	1		4	17	4,227,148.781	7.72
無所属の会						1	157,204.000	0.29
保守党			1		1	5	1,275,002.284	2.33
第二院クラブ						10	669,872.559	1.22
自由連合						47	780,389.838	1.43
維新政党・新風						2	59,385.000	0.11
女性党						2	469,692.093	0.86
新社会党						3	377,013.814	0.69
新党・自由と希望						10	474,886.229	0.87
合 計		27	19	2	48	204	54,741,498.026	

※得票率については、各政党等ごとに端数処理をしているため、合計は100とならない。

2 都道府県別党派別当選者数等調（選挙区）

都道府県名	定数	自由民主党	民主党	公明党	日本共産党	社会民主党	自由党	自由連合	維新政党・新風	女性党	新社会党	諸派	無所属
北海道	2	1	1										
青森県	1	1											
岩手県	1						1						
宮城県	2		1										1
秋田県	1	1											
山形県	1	1											
福島県	2	1	1										
茨城県	2	1	1										
栃木県	2	1	1										
群馬県	2	1	1										
埼玉県	3	1	1	1									
千葉県	2	1	1										
東京都	4	1	1	1	1								
神奈川県	3	1	1	1									
新潟県	2	1					1						
富山県	1	1											
石川県	1	1											
福井県	1	1											
山梨県	1	1											
長野県	2	1	1										
岐阜県	2	1	1										
静岡県	2	1	1										
愛知県	3	1	1	1									
三重県	1												1
滋賀県	1	1											
京都府	2	1	1										
大阪府	3	1	1	1									
兵庫県	2	1	1										
奈良県	1	1											
和歌山県	1	1											
鳥取県	1	1											
島根県	1	1											
岡山県	1	1											
広島県	2	1											1
山口県	1	1											
徳島県	1	1											
香川県	1	1											
愛媛県	1	1											
高知県	1	1											
福岡県	2	1	1										
佐賀県	1	1											
長崎県	1	1											
熊本県	1	1											
大分県	1	1											
宮崎県	1	1											
鹿児島県	1	1											
沖縄県	1	1											
計	73	44	18	5	1		2						3

3 道内投票結果（選挙区）

開票区名	選挙当日有権者数			投票者数			棄権者数			投票率(%)			前回との差		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
石狩支庁	11,582	12,183	23,765	7,246	7,539	14,785	4,336	4,644	8,980	62.56	61.88	62.21	-2.26	-2.72	-2.50
渡島支庁	67,366	75,355	142,721	38,178	44,869	83,047	29,188	30,486	59,674	56.67	59.54	58.19	0.69	0.59	0.64
檜山支庁	21,698	23,877	45,575	14,090	15,953	30,043	7,608	7,924	15,532	64.94	66.81	65.92	0.94	0.43	0.67
後志支庁	43,804	49,238	93,042	27,608	30,685	58,293	16,196	18,553	34,749	63.03	62.32	62.65	-1.99	-1.98	-1.99
空知支庁	40,495	45,253	85,748	27,802	30,361	58,163	12,693	14,892	27,585	68.66	67.09	67.83	-2.61	-1.45	-2.00
上川支庁	43,372	47,738	91,110	29,055	30,579	59,634	14,317	17,159	31,476	66.99	64.06	65.45	-2.20	-1.40	-1.78
留萌支庁	14,747	16,518	31,265	10,517	11,749	22,266	4,230	4,769	8,999	71.32	71.13	71.22	-1.04	-0.45	-0.73
宗谷支庁	14,245	15,516	29,761	10,170	11,155	21,325	4,075	4,361	8,436	71.39	71.89	71.65	-3.55	-2.16	-2.83
網走支庁	60,050	65,683	125,733	39,625	42,454	82,079	20,425	23,229	43,654	65.99	64.63	65.28	-3.35	-1.75	-2.51
胆振支庁	27,538	30,268	57,806	18,349	20,146	38,495	9,189	10,122	19,311	66.63	66.56	66.59	0.74	1.48	1.12
日高支庁	33,833	35,698	69,531	21,871	24,229	46,100	11,962	11,469	23,431	64.64	67.87	66.30	-0.87	0.16	-0.35
十勝支庁	72,195	79,184	151,379	45,603	50,156	95,759	26,592	29,028	55,620	63.17	63.34	63.26	-7.43	-5.84	-6.59
釧路支庁	32,680	35,195	67,875	19,225	20,822	40,047	13,455	14,373	27,828	58.83	59.16	59.00	-2.50	-2.11	-2.30
根室支庁	20,466	21,144	41,610	11,836	12,218	24,054	8,630	8,926	17,556	57.83	57.78	57.81	-2.78	-1.24	-1.99
町村計	504,071	552,850	1,056,921	321,175	352,915	674,090	182,896	199,935	382,831	63.72	63.84	63.78	-2.39	-1.59	-1.97
札幌市	695,820	780,364	1,476,184	399,352	454,795	854,147	296,468	325,569	622,037	57.39	58.28	57.86	-1.43	-0.97	-1.19
函館市	106,365	129,954	236,319	55,176	67,188	122,364	51,189	62,766	113,955	51.87	51.70	51.78	1.33	2.36	1.90
小樽市	56,828	69,523	126,351	32,906	39,614	72,520	23,922	29,909	53,831	57.90	56.98	57.40	-3.28	-2.60	-2.90
旭川市	138,261	158,554	296,815	74,414	82,495	156,909	63,847	76,059	139,906	53.82	52.03	52.86	-1.37	-0.87	-1.11
室蘭市	41,780	45,724	87,504	24,453	27,095	51,548	17,327	18,629	35,956	58.53	59.26	58.91	-0.66	-0.28	-0.46
釧路市	74,045	82,012	156,057	38,733	43,586	82,319	35,312	38,426	73,738	52.31	53.15	52.75	-2.55	-1.75	-2.13
帯広市	66,807	72,451	139,258	36,031	38,369	74,400	30,776	34,082	64,858	53.93	52.96	53.43	-2.91	-1.93	-2.39
北見市	43,167	46,830	89,997	23,749	25,474	49,223	19,418	21,356	40,774	55.02	54.40	54.69	-2.44	-1.47	-1.94
夕張市	6,324	7,096	13,420	4,166	4,733	8,899	2,158	2,363	4,521	65.88	66.70	66.31	-2.01	-1.32	-1.65
岩見沢市	32,063	36,645	68,708	18,992	21,436	40,428	13,071	15,209	28,280	59.23	58.50	58.84	-2.16	-0.50	-1.28
網走市	16,692	17,485	34,177	9,409	10,026	19,435	7,283	7,459	14,742	56.37	57.34	56.87	-2.19	0.29	-0.92
留萌市	11,458	12,231	23,689	6,813	6,904	13,717	4,645	5,327	9,972	59.46	56.45	57.90	-1.65	-0.24	-0.92
苫小牧市	66,157	70,607	136,764	36,931	40,672	77,603	29,226	29,935	59,161	55.82	57.60	56.74	-1.76	-0.92	-1.32
稚内市	17,793	18,140	35,933	9,852	9,998	19,850	7,941	8,142	16,083	55.37	55.12	55.24	-3.90	-2.55	-3.22
美唄市	12,096	13,621	25,717	7,111	7,901	15,012	4,985	5,720	10,705	58.79	58.01	58.37	-3.92	-3.58	-3.75
芦別市	8,226	9,581	17,807	5,628	6,462	12,090	2,598	3,119	5,717	68.42	67.45	67.89	3.50	3.76	3.63
江別市	45,640	50,297	95,937	27,596	30,595	58,191	18,044	19,702	37,746	60.46	60.83	60.66	-1.64	-1.82	-1.73
赤平市	6,348	7,393	13,741	4,024	4,709	8,733	2,324	2,684	5,008	63.39	63.70	63.55	-1.69	-0.58	-1.10
紋別市	10,787	12,024	22,811	5,905	6,533	12,438	4,882	5,491	10,373	54.74	54.33	54.53	-4.91	-3.45	-4.14
士別市	9,059	10,260	19,319	5,467	5,854	11,321	3,592	4,406	7,998	60.35	57.06	58.60	0.66	3.64	2.25
名寄市	10,857	11,541	22,398	7,333	7,354	14,687	3,524	4,187	7,711	67.54	63.72	65.57	-2.00	0.22	-0.85
三笠市	5,388	6,449	11,837	3,484	4,278	7,762	1,904	2,171	4,075	64.66	66.34	65.57	-2.77	-1.27	-1.96
根室市	12,837	14,126	26,963	6,875	7,392	14,267	5,962	6,734	12,696	53.56	52.33	52.91	-1.06	-0.24	-0.64
千歳市	35,967	33,544	69,511	22,082	18,852	40,934	13,885	14,692	28,577	61.40	56.20	58.89	-2.71	-3.28	-2.99
滝川市	17,987	20,261	38,248	10,652	11,616	22,268	7,335	8,645	15,980	59.22	57.33	58.22	-2.06	-1.35	-1.68
砂川市	7,977	9,213	17,190	5,273	6,089	11,362	2,704	3,124	5,828	66.10	66.09	66.10	-1.41	-1.58	-1.49
歌志内市	2,384	2,867	5,251	1,593	2,000	3,593	791	867	1,658	66.82	69.76	68.43	-3.17	-3.38	-3.25
深川市	10,412	12,201	22,613	6,242	6,903	13,145	4,170	5,298	9,468	59.95	56.58	58.13	-3.14	-1.99	-2.53
富良野市	9,876	11,095	20,971	5,366	5,761	11,127	4,510	5,334	9,844	54.33	51.92	53.06	-3.64	-1.07	-2.27
登別市	21,419	23,881	45,300	12,478	13,594	26,072	8,941	10,287	19,228	58.26	56.92	57.55	-1.59	-1.13	-1.36
恵庭市	25,324	25,578	50,902	16,621	16,194	32,815	8,703	9,384	18,087	65.63	63.31	64.47	-0.60	-0.35	-0.48
伊達市	13,540	15,861	29,401	8,029	8,924	16,953	5,511	6,937	12,448	59.30	56.26	57.66	-2.58	-3.54	-3.10
北広島市	21,934	23,777	45,711	13,414	14,548	27,962	8,520	9,229	17,749	61.16	61.19	61.17	-1.03	-0.14	-0.57
石狩市	21,045	22,698	43,743	12,167	13,185	25,352	8,878	9,513	18,391	57.81	58.09	57.96	-3.98	-3.08	-3.51
市計	1,682,663	1,883,884	3,566,547	958,317	1,071,129	2,029,446	724,346	812,755	1,537,101	56.95	56.86	56.90	-1.60	-0.91	-1.24
合計	2,186,734	2,436,734	4,623,468	1,279,492	1,424,044	2,703,536	907,242	1,012,690	1,919,932	58.51	58.44	58.47	-1.80	-1.10	-1.43

4 道内候補者別得票数 (選挙区)

①支庁・市区別

候補者名 党派の名称	松村たみ子 (女性党・新)	千代 信人 (維新党・新選・新)	熊谷あきみ (自由連合・新)	西川まさひと (自由党・新)	杉山よし子 (社会民主党・新)	さいとう宣行 (新社会党・新)	よこやま充洋 (無所属・新)	だて 忠一 (自由民主党・新)	小川 勝也 (民主党・現)	宮内さとし (日本共産党・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者総数
石狩支庁	426	64	165	704	677	137	185	6,128	3,030	1,988	13,504	1,280	14,784	14,785
渡島支庁	2,533	347	916	4,839	4,404	708	1,074	33,423	21,902	6,194	76,340	6,700	83,040	83,047
檜山支庁	606	98	310	1,205	1,682	250	339	13,711	6,590	2,534	27,325	2,716	30,041	30,043
後志支庁	1,246	274	625	2,889	2,487	577	647	24,453	14,136	6,013	53,347	4,938	58,285	58,293
空知支庁	1,589	277	459	2,786	2,678	456	689	24,882	15,138	5,196	54,150	4,013	58,163	58,163
上川支庁	1,631	223	392	4,700	2,464	1,382	534	21,400	18,901	3,974	55,601	4,027	59,628	59,634
留萌支庁	584	90	277	1,249	978	263	262	10,182	5,494	1,075	20,454	1,809	22,263	22,266
宗谷支庁	615	103	291	1,343	772	369	276	9,044	5,056	1,510	19,379	1,945	21,324	21,325
網走支庁	2,178	312	529	3,697	4,897	1,046	746	38,854	19,910	4,673	76,842	5,234	82,076	82,079
胆振支庁	1,015	158	383	1,752	2,203	494	395	15,412	9,949	3,640	35,401	3,093	38,494	38,495
日高支庁	1,101	203	933	2,259	2,028	407	454	18,629	13,035	3,961	43,010	3,090	46,100	46,100
十勝支庁	3,143	399	1,202	4,308	4,942	912	898	39,571	26,022	7,680	89,077	6,671	95,748	95,759
釧路支庁	1,429	227	306	2,423	2,319	414	466	16,875	8,550	3,582	36,591	3,453	40,044	40,047
根室支庁	1,007	107	178	1,278	1,018	181	257	11,363	5,411	1,431	22,231	1,823	24,054	24,054
町 村 計	19,103	2,882	6,966	35,432	33,549	7,596	7,222	283,927	173,124	53,451	623,252	50,792	674,044	674,090
札幌市	32,026	4,034	14,598	70,970	59,547	6,720	15,805	292,772	199,116	107,097	802,685	51,401	854,086	854,147
函館市	3,871	474	1,784	7,730	9,062	914	2,168	39,640	34,257	12,507	112,407	9,931	122,338	122,364
小樽市	1,896	249	532	4,704	4,868	686	786	24,335	17,374	11,992	67,422	5,098	72,520	72,520
旭川市	4,253	421	788	28,927	8,858	1,755	1,148	46,128	38,402	15,739	146,419	10,458	156,877	156,909
室蘭市	1,146	202	478	1,974	3,764	290	352	13,937	20,280	5,371	47,794	3,753	51,547	51,548
釧路市	2,804	512	1,361	5,477	5,197	672	651	27,240	20,543	9,919	74,376	7,934	82,310	82,319
帯広市	2,274	292	927	4,939	4,490	914	833	29,528	17,220	6,998	68,415	5,979	74,394	74,400
北見市	1,465	152	255	2,233	2,537	405	361	20,664	14,125	3,997	46,194	3,021	49,215	49,223
夕張市	202	20	78	355	532	110	91	1,959	3,243	1,175	7,765	1,134	8,899	8,899
岩見沢市	1,131	119	320	1,948	2,676	261	398	14,834	11,453	4,732	37,872	2,554	40,426	40,428
網走市	691	91	151	1,175	833	145	201	7,531	5,564	1,757	18,139	1,295	19,434	19,435
留萌市	407	36	223	1,000	810	156	181	5,275	3,934	782	12,804	911	13,715	13,717
苫小牧市	2,542	310	1,106	4,306	4,735	593	795	25,972	21,700	9,847	71,906	5,689	77,595	77,603
稚内市	444	78	214	930	897	217	241	7,288	5,819	1,732	17,860	1,983	19,843	19,850
美唄市	492	58	244	748	938	123	228	5,767	3,735	1,533	13,866	1,140	15,006	15,012
芦別市	127	17	39	203	461	48	41	7,117	2,430	1,064	11,547	542	12,089	12,090
江別市	2,216	206	613	3,972	4,747	424	685	18,466	15,600	7,146	54,075	4,112	58,187	58,191
赤平市	225	28	73	306	461	188	97	3,055	2,397	1,115	7,945	788	8,733	8,733
紋別市	1,169	70	79	617	549	118	119	5,002	2,796	877	11,396	1,038	12,434	12,438
士別市	292	26	67	711	457	131	70	3,820	4,308	704	10,586	735	11,321	11,321

候補者名 党派の名称	松村たみ子 (女性党・新)	千代 信人 (革新党・新)	熊谷あきふみ (自由連合・新)	西川まさひと (自由党・新)	杉山よし子 (社民党・新)	さいとう宣行 (新社会党・新)	よこやま充洋 (無所属・新)	だて 忠一 (自由民主党・新)	小川 勝也 (民主党・現)	宮内さとし (日本共産党・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者総数
名寄市	338	55	120	575	681	652	97	6,199	4,223	770	13,710	972	14,682	14,687
三笠市	232	30	80	476	544	85	66	2,406	2,205	735	6,859	903	7,762	7,762
根室市	554	159	159	820	815	243	149	5,799	2,627	1,739	13,064	1,201	14,265	14,267
千歳市	1,965	284	423	3,374	1,662	250	518	19,640	6,776	2,438	37,330	3,597	40,927	40,934
滝川市	651	77	183	1,284	1,346	153	587	8,221	5,816	2,114	20,432	1,830	22,262	22,268
砂川市	328	23	67	485	680	114	135	3,945	3,352	1,401	10,530	832	11,362	11,362
歌志内市	88	18	22	88	186	42	32	944	1,138	601	3,159	434	3,593	3,593
深川市	258	38	74	640	607	159	258	4,405	4,031	1,480	11,950	1,192	13,142	13,145
富良野市	306	26	77	663	567	125	108	4,175	3,326	919	10,292	835	11,127	11,127
登別市	654	91	206	1,241	1,853	255	284	7,862	8,569	2,313	23,328	2,744	26,072	26,072
恵庭市	1,135	142	357	2,821	1,558	209	412	13,819	6,313	2,698	29,464	3,349	32,813	32,815
伊達市	384	52	141	578	1,036	131	175	6,464	5,337	1,499	15,797	1,155	16,952	16,953
北広島市	1,033	98	425	2,605	2,242	194	356	8,616	6,972	3,080	25,621	2,339	27,960	27,962
石狩市	895	99	270	2,041	1,925	183	469	8,522	5,599	3,253	23,256	2,092	25,348	25,352
市計	68,494	8,587	26,534	160,916	132,121	17,665	28,897	701,347	510,580	231,124	1,886,265	142,971	2,029,236	2,029,446
道計	87,597	11,469	33,500	196,348	165,670	25,261	36,119	985,274	683,704	284,575	2,509,517	193,763	2,703,280	2,703,536

②町村別

候補者名 党派の名称	松村たみ子 (女性党・新)	千代 信人 (革新党・新)	熊谷あきふみ (自由連合・新)	西川まさひと (自由党・新)	杉山よし子 (社民党・新)	さいとう宣行 (新社会党・新)	よこやま充洋 (無所属・新)	だて 忠一 (自由民主党・新)	小川 勝也 (民主党・現)	宮内さとし (日本共産党・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者総数
当別町	308	42	117	556	416	57	116	3,678	2,134	1,343	8,767	773	9,540	9,540
新篠津村	33	10	12	43	58	39	23	1,359	277	193	2,047	103	2,150	2,151
厚田村	67	10	31	56	105	32	42	620	297	128	1,388	276	1,664	1,664
浜益村	18	2	5	49	98	9	4	471	322	324	1,302	128	1,430	1,430
石狩支庁	426	64	165	704	677	137	185	6,128	3,030	1,988	13,504	1,280	14,784	14,785
松前町	196	15	67	285	175	44	80	2,593	1,455	225	5,135	430	5,565	5,568
福島町	83	18	37	174	132	19	26	1,625	636	266	3,016	313	3,329	3,329
知内町	51	11	58	133	126	17	37	1,529	697	105	2,764	250	3,014	3,014
木古内町	61	14	29	207	157	24	32	1,369	1,148	222	3,263	307	3,570	3,570
上磯町	546	57	214	1,075	1,089	128	332	5,390	4,052	1,329	14,212	1,347	15,559	15,560
大野町	176	25	54	288	398	60	62	1,932	1,223	406	4,624	365	4,989	4,989
七飯町	419	39	131	820	987	86	140	4,932	3,870	1,254	12,678	1,009	13,687	13,688
戸井町	84	11	20	94	67	20	12	1,063	373	106	1,850	154	2,004	2,005
恵山町	91	3	28	116	66	28	35	1,205	451	146	2,169	238	2,407	2,407
樫法華村	20	9	12	45	28	6	9	336	165	22	652	97	749	749
南茅部町	111	51	69	209	107	38	47	1,767	726	127	3,252	241	3,493	3,494

候補者名 党派の名称	松村たみ子 (女性党・新)	千代 信人 (維新党・新風・新)	熊谷あきふみ (自由連合・新)	西川まさひと (自由党・新)	杉山よし子 (社民党・新)	さいとう宣行 (新社会党・新)	よこやま充洋 (無所属・新)	だて 忠一 (自由民主党・新)	小川 勝也 (民主党・現)	宮内さとし (日本共産党・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者総数
鹿部町	63	14	36	152	70	36	24	1,215	501	114	2,225	199	2,424	2,424
砂原町	94	11	35	171	75	29	31	1,228	481	166	2,321	272	2,593	2,593
森町	216	26	57	349	298	71	87	2,644	2,026	515	6,289	541	6,830	6,830
八雲町	197	26	47	532	366	62	89	2,827	2,803	837	7,786	595	8,381	8,381
長万部町	125	17	22	189	263	40	31	1,768	1,295	354	4,104	342	4,446	4,446
渡島支庁	2,533	347	916	4,839	4,404	708	1,074	33,423	21,902	6,194	76,340	6,700	83,040	83,047
江差町	98	20	36	243	448	78	51	1,864	1,500	614	4,952	507	5,459	5,459
上ノ国町	39	5	32	94	169	21	69	1,825	801	170	3,225	344	3,569	3,569
厚沢部町	60	9	20	190	214	21	31	1,273	571	195	2,584	416	3,000	3,002
乙部町	47	9	49	95	148	16	29	1,471	415	404	2,683	276	2,959	2,959
熊石町	29	12	35	110	184	19	23	983	457	105	1,957	178	2,135	2,135
大成町	29	8	10	92	59	14	19	870	363	223	1,687	170	1,857	1,857
奥尻町	54	10	53	95	70	23	45	1,224	387	115	2,076	225	2,301	2,301
瀬棚町	63	2	11	79	82	14	10	1,007	262	120	1,650	127	1,777	1,777
北檜山町	81	9	14	96	177	22	32	1,700	625	343	3,099	244	3,343	3,343
今金町	106	14	50	111	131	22	30	1,494	1,209	245	3,412	229	3,641	3,641
檜山支庁	606	98	310	1,205	1,682	250	339	13,711	6,590	2,534	27,325	2,716	30,041	30,043
島牧村	18	2	18	40	34	11	25	630	299	151	1,228	119	1,347	1,347
寿都町	53	21	31	117	88	19	22	907	552	336	2,146	169	2,315	2,316
黒松内町	36	9	20	140	76	30	13	745	560	356	1,985	226	2,211	2,211
蘭越町	78	8	36	121	196	34	36	1,430	943	297	3,179	328	3,507	3,508
二セコ町	52	6	9	204	123	9	27	1,090	586	214	2,320	176	2,496	2,496
真狩村	42	6	25	61	43	21	17	688	488	71	1,462	174	1,636	1,637
留寿都村	19	1	2	36	36	5	9	462	269	106	945	88	1,033	1,033
喜茂別町	45	5	25	83	63	25	47	739	540	89	1,661	141	1,802	1,803
京極町	59	5	19	81	63	31	19	1,218	443	62	2,000	169	2,169	2,170
俱知安町	212	37	45	424	391	73	80	3,468	1,971	644	7,345	807	8,152	8,153
共和町	69	11	54	123	135	34	26	1,376	1,263	182	3,273	301	3,574	3,574
岩内町	161	29	108	336	337	61	69	3,976	1,720	725	7,522	577	8,099	8,099
泊村	23	2	17	60	37	17	12	516	273	139	1,096	154	1,250	1,250
神恵内村	13	4	8	23	22	11	8	378	256	47	770	72	842	842
積丹町	31	8	20	104	67	32	19	811	310	142	1,544	191	1,735	1,735
古平町	56	13	43	95	90	42	63	925	311	335	1,973	226	2,199	2,199
仁木町	49	17	24	182	109	31	22	869	510	240	2,053	187	2,240	2,240
余市町	210	86	116	624	552	87	119	3,985	2,613	1,763	10,155	747	10,902	10,904

候補者名 党派の名称	松村たみ子 (女性党・新)	千代 信人 (根室政連・現・新)	熊谷あきふみ (自由連合・新)	西川まさひと (自由党・新)	杉山よし子 (社民党・新)	さいとう空行 (新社会党・新)	よこやま充洋 (無所属・新)	だて 忠一 (自由民主党・新)	小川 勝也 (民主党・現)	宮内さとし (日本共産党・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者総数
赤井川村	20	4	5	35	25	4	14	240	229	114	690	86	776	776
後志支庁	1,246	274	625	2,889	2,487	577	647	24,453	14,136	6,013	53,347	4,938	58,285	58,293
北 村	43	9	2	116	51	16	10	869	634	174	1,924	181	2,105	2,105
栗 沢 町	143	15	31	183	232	49	46	1,480	1,491	307	3,977	244	4,221	4,221
南 幌 町	123	19	39	245	199	30	50	2,075	1,108	443	4,331	259	4,590	4,590
奈井江町	145	25	38	186	266	33	37	1,674	1,108	527	4,039	270	4,309	4,309
上砂川町	82	5	22	86	165	33	41	1,064	1,023	553	3,074	294	3,368	3,368
由 仁 町	103	12	26	185	238	31	34	1,715	1,081	349	3,774	288	4,062	4,062
長 沼 町	173	61	95	389	319	51	76	3,101	1,176	697	6,138	520	6,658	6,658
栗 山 町	197	38	56	395	469	79	90	2,797	2,132	736	6,989	617	7,606	7,606
月 形 町	98	10	41	129	102	21	34	984	777	129	2,325	313	2,638	2,638
浦 白 町	29	6	10	39	49	10	10	745	337	114	1,349	143	1,492	1,492
新十津川町	133	17	25	276	229	26	72	2,345	1,014	334	4,471	212	4,683	4,683
妹背牛町	58	15	11	152	79	13	47	1,284	494	158	2,311	166	2,477	2,477
秩父別町	50	14	19	65	47	14	26	1,073	413	110	1,831	99	1,930	1,930
雨 竜 町	58	9	12	67	60	7	39	839	700	136	1,927	115	2,042	2,042
北 竜 町	54	10	9	49	43	8	18	907	483	71	1,652	84	1,736	1,736
沼 田 町	74	10	16	172	83	27	32	1,180	816	273	2,683	130	2,813	2,813
幌 加 内 町	26	2	7	52	47	8	27	750	351	85	1,355	78	1,433	1,433
空知支庁	1,589	277	459	2,786	2,678	456	689	24,882	15,138	5,196	54,150	4,013	58,163	58,163
鷹 栖 町	157	8	19	463	167	50	29	1,082	1,052	261	3,288	322	3,610	3,610
東 神 楽 町	119	8	21	487	220	50	30	909	1,184	319	3,347	234	3,581	3,581
当 麻 町	96	11	26	403	187	50	48	1,561	803	388	3,573	359	3,932	3,933
比 布 町	77	26	12	212	119	43	17	943	721	319	2,489	114	2,603	2,603
愛 別 町	44	13	19	185	147	33	12	970	516	83	2,022	178	2,200	2,200
上 川 町	51	3	14	164	152	68	16	792	1,276	238	2,774	195	2,969	2,969
東 川 町	140	17	11	477	162	38	41	1,208	969	325	3,388	222	3,610	3,610
美 瑛 町	276	19	40	593	314	86	38	2,445	1,512	584	5,907	328	6,235	6,235
上富良野町	175	37	66	553	180	50	69	3,296	1,214	308	5,948	537	6,485	6,485
中富良野町	76	11	21	245	105	42	34	1,316	684	217	2,751	167	2,918	2,919
南富良野町	35	7	44	86	88	69	19	575	529	91	1,543	120	1,663	1,664
占 冠 村	18	1	10	45	29	291	4	246	127	35	806	75	881	882
和 寒 町	26	3	10	60	56	91	22	443	2,186	102	2,999	127	3,126	3,126
剣 淵 町	50	11	16	110	98	25	35	626	1,092	147	2,210	127	2,337	2,338
朝 日 町	24	1	4	52	16	21	9	462	686	84	1,359	99	1,458	1,458

候補者名 党派の名称	松村たみ子 (女性党・新)	千代 信人 (維新党・新)	熊谷あきふみ (自由連合・新)	西川まさひと (自由党・新)	杉山よし子 (社会民主党・新)	さいとう宣行 (新社会党・新)	よこやま充洋 (無所属・新)	だて 忠一 (自由民主党・新)	小川 勝也 (民主党・現)	宮内さとし (日本共産党・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者総数
風連町	77	15	12	172	73	62	19	1,171	1,352	136	3,089	199	3,288	3,288
下川町	38	6	12	111	95	63	46	1,119	1,016	71	2,577	167	2,744	2,745
美深町	126	19	31	215	171	113	30	1,287	1,169	186	3,347	362	3,709	3,709
音威子府村	11	5	0	18	36	108	3	240	248	37	706	33	739	739
中川町	15	2	4	49	49	29	13	709	565	43	1,478	62	1,540	1,540
上川支庁	1,631	223	392	4,700	2,464	1,382	534	21,400	18,901	3,974	55,601	4,027	59,628	59,634
増毛町	95	12	36	252	194	26	78	1,563	993	227	3,476	229	3,705	3,705
小平町	104	20	47	167	147	32	43	1,170	702	110	2,542	274	2,816	2,816
苫前町	54	12	31	217	155	24	30	1,196	537	116	2,372	230	2,602	2,603
羽幌町	122	19	84	187	191	72	46	2,564	1,466	243	4,994	437	5,431	5,431
初山別村	36	6	8	61	54	13	6	559	311	37	1,091	116	1,207	1,207
遠別町	53	7	32	180	79	44	24	916	521	97	1,953	189	2,142	2,144
天塩町	58	5	20	110	85	25	17	1,269	655	127	2,371	216	2,587	2,587
幌延町	62	9	19	75	73	27	18	945	309	118	1,655	118	1,773	1,773
留萌支庁	584	90	277	1,249	978	263	262	10,182	5,494	1,075	20,454	1,809	22,263	22,266
猿払村	35	8	33	86	83	15	32	640	475	104	1,511	156	1,667	1,667
浜頓別町	37	11	71	139	134	145	23	959	783	192	2,494	239	2,733	2,733
中頓別町	43	5	14	73	67	32	11	635	453	160	1,493	81	1,574	1,574
枝幸町	100	31	49	338	150	48	57	1,651	929	251	3,604	341	3,945	3,946
歌登町	24	2	4	65	43	23	10	834	409	93	1,507	127	1,634	1,634
豊富町	77	10	12	107	126	21	33	1,199	764	329	2,678	217	2,895	2,895
礼文町	171	14	33	183	75	29	38	927	440	105	2,015	386	2,401	2,401
利尻町	66	11	35	172	40	20	44	984	449	89	1,910	198	2,108	2,108
利尻富士町	62	11	40	180	54	36	28	1,215	354	187	2,167	200	2,367	2,367
宗谷支庁	615	103	291	1,343	772	369	276	9,044	5,056	1,510	19,379	1,945	21,324	21,325
東藻琴村	25	5	11	115	66	9	16	755	372	188	1,562	63	1,625	1,626
女満別町	114	13	18	168	147	15	44	1,504	674	136	2,833	222	3,055	3,056
美幌町	289	39	63	602	588	134	133	6,102	2,600	485	11,035	802	11,837	11,837
津別町	65	4	26	83	155	47	16	1,571	1,048	263	3,278	233	3,511	3,511
斜里町	157	17	32	412	452	73	77	3,084	1,825	523	6,652	430	7,082	7,082
清里町	52	18	15	76	154	24	17	1,325	884	92	2,657	231	2,888	2,888
小清水町	75	10	23	115	261	99	19	1,316	670	324	2,912	276	3,188	3,188
端野町	49	5	13	99	118	39	22	1,467	666	137	2,615	189	2,804	2,804
訓子府町	98	7	23	116	159	38	28	1,497	693	284	2,943	127	3,070	3,070
置戸町	69	7	12	123	105	32	13	1,080	742	122	2,305	126	2,431	2,431

候補者名 党派の名称	松村たみ子 (女性党・新)	千代 信人 (維新改選・新興・新)	熊谷あきあみ (自由連合・新)	西川まさひと (自由党・新)	杉山よし子 (維新民主党・新)	さいとう宣行 (新社会党・新)	よこやま充洋 (無所属・新)	だて 忠一 (自由民主党・新)	小川 勝也 (民主党・現)	宮内さとし (日本共産党・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者総数
留辺 薬町	101	22	37	197	500	54	48	2,226	1,333	314	4,832	279	5,111	5,111
佐呂間町	135	10	33	123	305	27	32	1,653	733	202	3,253	266	3,519	3,519
常呂町	66	9	11	96	105	18	55	1,312	583	138	2,393	149	2,542	2,542
生田原町	44	3	13	78	98	43	9	690	443	58	1,479	146	1,625	1,625
遠軽町	278	60	60	428	552	160	63	4,859	2,489	459	9,408	572	9,980	9,980
丸瀬布町	28	3	15	49	220	62	6	687	297	71	1,438	79	1,517	1,517
白滝村	8	2	4	18	96	6	4	442	285	24	889	49	938	938
上湧別町	111	25	32	181	202	35	38	1,700	917	189	3,430	205	3,635	3,635
湧別町	87	14	20	155	158	27	21	1,616	600	90	2,788	224	3,012	3,012
滝上町	55	12	10	109	140	33	19	1,093	764	75	2,310	127	2,437	2,438
興部町	142	5	16	172	118	29	16	1,204	604	135	2,441	230	2,671	2,671
西興部村	26	11	5	34	68	13	8	446	187	53	851	61	912	912
雄武町	104	11	37	148	130	29	42	1,225	501	311	2,538	148	2,686	2,686
網走支庁	2,178	312	529	3,697	4,897	1,046	746	38,854	19,910	4,673	76,842	5,234	82,076	82,079
豊浦町	91	13	60	106	135	48	31	1,282	573	193	2,532	248	2,780	2,780
虻田町	171	6	39	221	322	50	55	1,877	1,398	522	4,661	390	5,051	5,052
洞爺村	14	5	13	48	41	22	10	632	256	63	1,104	59	1,163	1,163
大滝村	35	16	21	42	56	12	23	312	304	66	887	101	988	988
壮瞥町	53	6	13	69	77	23	22	724	508	97	1,592	142	1,734	1,734
白老町	291	39	121	586	753	120	98	4,397	2,872	1,269	10,546	1,108	11,654	11,655
早来町	71	19	19	167	169	16	35	1,547	737	217	2,997	204	3,201	3,201
追分町	65	4	15	87	247	30	20	679	797	290	2,234	158	2,392	2,392
厚真町	77	11	19	124	97	69	28	1,413	845	231	2,914	302	3,216	3,216
鹉川町	90	26	41	182	176	44	34	1,645	941	500	3,679	235	3,914	3,913
穂別町	57	13	22	120	130	60	39	904	718	192	2,255	146	2,401	2,401
胆振支庁	1,015	158	383	1,752	2,203	494	395	15,412	9,949	3,640	35,401	3,093	38,494	38,495
日高町	19	1	11	48	54	20	11	580	466	92	1,302	115	1,417	1,417
平取町	78	12	44	145	171	31	50	1,631	1,068	255	3,485	235	3,720	3,720
門別町	202	40	65	306	225	53	47	2,893	1,687	651	6,169	455	6,624	6,624
新冠町	100	24	64	223	197	36	43	1,286	862	268	3,103	263	3,366	3,366
静内町	244	48	505	626	545	100	94	4,474	3,679	1,099	11,414	738	12,152	12,152
三石町	95	17	49	128	123	20	14	1,542	689	221	2,898	193	3,091	3,091
浦河町	195	26	104	416	486	81	71	3,101	2,786	884	8,150	570	8,720	8,720
様似町	77	19	45	162	140	42	31	1,489	999	247	3,251	219	3,470	3,470
えりも町	91	16	46	205	87	24	93	1,633	799	244	3,238	302	3,540	3,540
日高支庁	1,101	203	933	2,259	2,028	407	454	18,629	13,035	3,961	43,010	3,090	46,100	46,100

候補者名 党派の名称	松村たみ子 (女性党・新)	千代 信人 (維新政党・新)	熊谷あきふみ (自由連合・新)	西川まさひと (自由党・新)	杉山よし子 (社会民主党・新)	さいとう宣行 (新社会党・新)	よこやま充洋 (無所属・新)	だて 忠一 (自由民主党・新)	小川 勝也 (民主党・現)	宮内さとし (日本共産党・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者総数
音更町	590	59	260	853	855	168	177	7,319	4,770	1,680	16,731	1,086	17,817	17,819
士幌町	98	15	23	120	146	27	28	1,505	1,069	369	3,400	352	3,752	3,752
上士幌町	83	10	22	101	153	30	24	1,138	1,030	255	2,846	173	3,019	3,019
鹿追町	118	16	29	214	136	17	29	1,569	920	147	3,195	210	3,405	3,405
新得町	182	35	54	191	284	101	24	1,648	1,355	246	4,120	245	4,365	4,365
清水町	181	9	79	259	275	45	45	2,745	1,312	371	5,321	456	5,777	5,777
芽室町	343	31	170	379	468	70	91	3,823	2,063	792	8,230	478	8,708	8,709
中札内村	114	16	28	102	120	28	36	772	948	162	2,326	159	2,485	2,485
更別村	84	12	21	78	98	24	15	913	436	102	1,783	117	1,900	1,900
忠類村	45	4	11	39	47	8	9	464	225	226	1,078	80	1,158	1,158
大樹町	92	11	32	224	149	22	23	1,734	885	222	3,394	266	3,660	3,660
広尾町	113	12	38	246	205	52	41	2,151	816	482	4,156	325	4,481	4,481
幕別町	399	22	111	464	699	93	118	4,518	3,234	1,366	11,024	914	11,938	11,939
池田町	145	70	62	307	305	28	33	1,567	1,647	279	4,443	371	4,814	4,815
豊頃町	87	6	28	87	80	36	59	1,092	628	111	2,214	145	2,359	2,359
本別町	154	22	83	176	371	42	42	2,001	1,629	295	4,815	322	5,137	5,137
足寄町	151	20	94	236	208	52	47	1,838	1,408	221	4,275	495	4,770	4,770
陸別町	36	12	26	82	126	17	23	902	661	115	2,000	176	2,176	2,177
浦幌町	128	17	31	150	217	52	34	1,872	986	239	3,726	301	4,027	4,032
十勝支庁	3,143	399	1,202	4,308	4,942	912	898	39,571	26,022	7,680	89,077	6,671	95,748	95,759
釧路町	370	41	47	579	488	73	101	3,622	2,151	1,004	8,476	866	9,342	9,343
厚岸町	171	21	29	464	233	81	65	2,290	1,053	469	4,876	497	5,373	5,373
浜中町	86	9	21	146	209	31	33	1,490	694	281	2,999	388	3,387	3,387
標茶町	136	20	51	205	358	41	61	2,009	1,210	455	4,546	370	4,916	4,916
弟子屈町	131	74	32	286	345	38	45	2,057	890	330	4,228	421	4,649	4,650
阿寒町	111	11	41	229	162	47	25	1,620	726	259	3,231	242	3,473	3,473
鶴居村	39	6	22	62	43	12	6	964	229	126	1,509	83	1,592	1,592
白糠町	272	23	45	315	382	50	103	2,055	1,323	503	5,071	461	5,532	5,533
音別町	113	22	18	137	99	42	27	768	274	155	1,655	125	1,780	1,780
釧路支庁	1,429	227	306	2,423	2,319	414	466	16,875	8,550	3,582	36,591	3,453	40,044	40,047
別海町	269	29	61	403	290	50	77	4,104	1,645	632	7,560	427	7,987	7,987
中標津町	459	39	80	518	467	76	116	4,313	2,415	501	8,984	816	9,800	9,800
標津町	138	25	18	191	143	27	31	1,593	755	170	3,091	256	3,347	3,347
羅臼町	141	14	19	166	118	28	33	1,353	596	128	2,596	324	2,920	2,920
根室支庁	1,007	107	178	1,278	1,018	181	257	11,363	5,411	1,431	22,231	1,823	24,054	24,054
町村計	19,103	2,882	6,966	35,432	33,549	7,596	7,222	283,927	173,124	53,451	623,252	50,792	674,044	674,090

4月のメモ

- 1日 ○米偵察機、中国軍戦闘機と接触し海南島に緊急着陸 米国の電子偵察機が南シナ海上空で中国軍戦闘機と接触、中国機は墜落し米機は海南島に緊急着陸した。江沢民国家主席は米国に謝罪を要求、ブッシュ大統領はパイロットが行方不明になったことに遺憾の意を表明した。
- 2日 ○「札幌北洋ホールディングス」が発足 北洋銀と札幌銀の共同持ち株会社「札幌北洋ホールディングス」（本社・札幌）が発足した。2行の統合で総預金量は5兆8千548億円となり、国内地方銀行では5位。
- 3日 ○文部科学省、教科書の検定結果を発表 文部科学省は、来春から小中学校で使われる教科書の検定結果を発表した。中学の歴史教科書で現行の教科書を「自虐的」と批判している「新しい教科書をつくる会」のメンバーらが執筆した教科書も合格した。
- 4日 ○森首相、退陣を正式に表明 森首相は古賀自民党幹事長と会談し、総裁選を機に退陣する意向を正式に表明した。森首相は故小淵前首相の緊急入院を受けて昨年4月5日に就任、1年で退陣することになった。
- 6日 ○小樽税関支所と道警本部、ロシア船から短銃・実弾を押収 小樽税関支所と道警本部などは、小樽港に接岸中の貨物船「オストロフカ」から自動式短銃のマガロフ20丁と実弾73発を発見、押収した。ロシア船から押収した短銃数としては、道内でもっとも多い。
- 10日 ○政府、農産物3品目への緊急輸入制限の暫定発動を決める 政府は、ネギ、生シイタケ、畳表（イグサ製）の農産物3品目への緊急輸入制限（セーフガード）の暫定発動を決めた。23日から200日間
- 発動する。世界貿易機関（WTO）が認める一般セーフガード発動は、日本としては初。
- 道内各地に黄砂 道内各地が黄色っぽいもやに覆われ、札幌管区气象台と稚内地方气象台は黄砂と確認した。強い偏西風で中国大陸から飛来したらしい。札幌は18年ぶり、稚内は9年ぶりの観測。
- 11日 ○自民党総裁選、告示 自民党総裁選が告示され、麻生経済財政担当相、橋本行革担当相、亀井政調会長、小泉元郵政相の4人が立候補した。
- 金大中大統領、一部歴史教科書の再修正を求める 韓国の金大中大統領が、検定に合格した日本の一部歴史教科書の再修正を求める発言をした。駐日大使を一時させるなど、教科書問題は日韓最大の懸案になった。
- 12日 ○北海道エアシステムの昨年度の全路線の平均搭乗率、開業以来最高を記録 新千歳一函館など6路線を運航する北海道エアシステムの昨年度の全路線の平均搭乗率が、前年度比6.4ポイント増の58%となり、1998年3月の開業以来最高を記録した。有珠山噴火によるJR運休が主因。
- 中国、米軍偵察機の乗員24人を11日ぶりに解放 国は米中軍用機接触事故で海南島に緊急着陸後、拘束していた米軍偵察機の乗員24人を11日ぶりに解放した。
- 16日 ○宮内庁、皇太子妃雅子さまに懐妊の兆候がみられると発表 宮内庁は、皇太子妃雅子さまに懐妊の兆候がみられると発表した。結婚後7年10ヵ月目の慶事で、出産予定は12月上旬。

18日 ○旧札幌そごう7階に「ユニクロ」が進出
JR札幌駅前の旧札幌そごう7階に、カジュアル衣料店「ユニクロ」を展開するファーストリテイニングが、道内最大規模の店舗を出店することが明らかになった。

○山下洋服店、民事再生法手続きを申請
紳士服チェーン道内大手の山下洋服店が、札幌地裁に民事再生法手続きの開始を申請し、保全命令を受けた。負債総額は34億3千5百万円。

24日 ○自民党総裁に小泉純一郎元厚生相 自民党の小泉純一郎元厚生相が両院議員総会の総裁選で、過半数(244票)を大きく上回る298票を獲得、第20代総裁に選ばれた。

26日 ○小泉内閣、誕生 小泉内閣誕生。外相に田中真紀子元科技庁長官、経済財政担当相に竹中平蔵慶大教授を起用するなど、歴代最多の女性5人、民間3人を入閣させた。

27日 ○全国消費者物価指数、最大のマイナス幅を記録 総務省が発表した2000年度平均の全国消費者物価指数(1995年・100)は、価格変動の激しい生鮮食品を除いた総合が101.7と前年度に比べ0.4%下落。比較可能な1971年度以降では、最大のマイナス幅を記録した。

5月のメモ

1日 ○東川町農協で架空取引による巨額損失発生 東川町農協の前青果課長が、複数の仲買業者と結託して青果物の架空取引を重ね、最大15億円に上る巨額の損失を出していたことが分かった。同課長は懲戒解雇となった。

3日 ○北朝鮮の総書記の長男とみられる男性、不法入国により身柄拘束 北朝鮮の金正日総書記の長男・正男氏とみられる男性

が、偽造旅券で成田空港から不法入国しようとして、東京入国監理局に身柄拘束されたことが判明した。家族とみられる男女3人と一緒に、政府は4日、男性らを中国に強制退去させた。

5日 ○幌延町の一家5人、千葉県で焼死 千葉県四街道市で建設会社の作業員宿舎が全焼し、焼け跡から10人の遺体がみつかった。連休を利用して同社社長宅を訪れていた幌延町の長男一家5人が含まれていた。

7日 ○小泉首相、所信表明演説で「聖域なき構造改革」の断行を強調 小泉首相は、衆参本会議で就任後初の所信表明演説を行った。2002年度予算編成から2段階で、財政再建に着手することを明らかにし「聖域なき構造改革」の断行を強調した。

○ヒグマによる死亡事故相次ぐ ヒグマによる死亡事故が相次いでいる。札幌・定山溪で山菜採りの男性、日高管内門別町の山中で猟友会会員が襲われて死亡。今年の犠牲者は3人となった。

8日 ○田中外相、外務省人事を凍結 田中外相は、事務当局が無断で行っているとして外務省の人事を凍結した。英国大使館に赴任のため出発した前ロシア課長を呼び戻し、復帰させた。

○韓国政府、教科書検定に合格した中学歴史教科書の修正を要求 韓国政府は、日本の教科書検定に合格した8社の中学歴史教科書について「事実のわい曲がある」として、合計35項目の記述修正を求めた。このうち25項目は、「新しい歴史教科書をつくる会」の教科書に対するもの。

11日 ○ハンセン病訴訟、原告側全面勝訴 らい予防法（1996年廃止）に基づく隔離政策で人権を侵害されたとして、ハンセン病の元患者たちが国に損害賠償を求めた訴訟で、熊本地裁は「60年には強制隔離規定の違憲性が明白だった」として、国に総額18億円の支払いを命じる原告側全面勝訴の判決を言い渡した。

15日 ○宮内庁、皇太子妃雅子様懐妊を正式発表 宮内庁は、皇太子妃雅子様の懐妊を正式発表した。出産予定日は11月下旬から12月上旬。

○長野県の田中康夫知事、「脱記者クラブ」宣言を発表 長野県の田中康夫知事が、大手報道機関に便宜供与している県庁内記者室を撤去し、幅広く開放したプレスセンターを設置する「脱・記者クラブ」宣言を発表した。

16日 ○中国、検定に合格した日本の歴史教科書の修正を要求 中国外務省は北京の日本公使を呼び、検定に合格した日本の歴史教科書の一部記述に重大な誤りがある、と修正を要求した。また、17日には日本大使に、小泉首相が靖国神社参拝の意向を表明したことに抗議した。

21日 ○小泉首相、道路特定財源の見直しを指示 小泉首相は自民党役員会で、参院選前に道路特定財源見直しの方向を打ち出すよう指示した。

22日 ○北海道と中国・黒竜江省の友好提携15周年の式典、行われる 北海道と中国・黒竜江省の友好提携15周年を記念した式典が同省ハルビン市で行われ、環境分野などの交流を通じた相互利益拡大について覚書調印した。

○「道原子力防災センター」が完成 後志管内泊村の北電泊原発の緊急事態対策拠点（オフサイトセンター）として、道が共和町宮丘に建設した「道原子力防災セ

ンター」が完成、報道陣に公開された。全国21カ所のオフサイトセンターの完成第1号。

23日 ○ハンセン病訴訟、控訴しないことを決定 小泉首相は、ハンセン病訴訟の熊本地裁判決に対して、控訴しないことを決断した。閣議でおわびの首相談話と、判決の一部に反論する政府声明を出すことを決めた。

27日 ○プルサーマル計画導入の賛否を問う住民投票で、反対が過半数 東京電力柏崎菟羽原発へのプルサーマル計画導入の賛否を問う新潟県刈羽村の住民投票が行われ、反対が過半数を占めた。東電の南社長は1日、6月の計画実施を断念する意向を表明した。

30日 ○城丸君事件で無罪判決 1984年に札幌市の会社社長城丸隆さんの二男秀徳君＝当時9歳＝が失踪した事件で、秀徳君を殺害したとして殺人罪に問われた静内町の無職工藤加寿子被告に対する判決公判が札幌地裁で開かれ、佐藤裁判長は「工藤被告が秀徳君を死亡させたと認めらるが、殺意があったと認定するには合理的な疑いが残る」として無罪（求刑・無期懲役）を言い渡した。

6月のメモ

3日 ○ペルーの大統領にトレド氏当選 ペルーのフジモリ前大統領罷免に伴う大統領選挙の決選投票が行われ、反フジモリの急先鋒である中道左派、アレハンドロ・トレド氏がガルシア元大統領を破り当選した。

4日 ○市立札幌病院の歯科医が医療行為 市立札幌病院救命救急センターが、同病院の歯科口腔外科所属の若い歯科医を、研修として当直に加えて気管内挿管など、本来できない医業分野の医療行為を少なくとも3年間行わせていたことが分かった。

- 道、北海道国際航空に追加支援 北海道国際航空（エア・ドゥ）の累積赤字が、66億7900万円とこの1年で2倍近くに膨らんだ。このため道は、20億円を軸に額を調整し、道議会に追加支援の提案をする。
- 6日 ○外務省、機密費詐欺事件を踏まえた同省改革要綱を発表 外務省は機密費詐欺事件を踏まえた同省改革要綱を発表した。外交機密費の支払いを大臣決裁とし、局長級の監察査察官を創設、省外の第三者を任命する。
- 7日 ○英国総選挙で労働党、圧勝 英国総選挙の投開票が行われ、ブレア首相率いる労働党が下院定数の過半数を大幅に上回る議席を獲得して圧勝、同首相は2期目の政権を担当する。これで英国の欧州単一通貨・ユーロ導入に弾みがついた。
- 8日 ○国立大阪教育大学付属池田小学校の教室に包丁をもった男が乱入 大阪府池田市の大阪教育大学付属池田小学校の教室に包丁をもった男が乱入、1、2年生児童や教職員を次々に刺して児童8人が死亡 府警は男を現行犯逮捕し殺人容疑で取り調べている。
- 12日 ○小樽商工信組、46億円余りの債務超過 小樽商工信組が、3月期決算で多額の不良債権処理を余儀なくされ、46億円余りの債務超過になっていたことが明らかになった。同信組は自主再建を事実上断念している。
- 14日 ○地方分権推進委員会、最終報告を小泉首相に提出 地方分権推進委員会は、地方分権確立のためには国から地方への税源移譲が必要、とした最終報告を小泉首相に提出した。
- 稚内市の貿易会社事務所でロシア人社員が短銃で射殺 稚内市末広の貿易会社事務所でロシア人社員が短銃で射殺され、ウクライナ国籍の若い女性も重傷を負った。犯人は逃走しており、道警はロシア・マフィアの犯行の可能性もあるとみて捜査している。
- 15日 ◎第2回定例道議会開会 道議会は本会議で議長に酒井芳秀氏（自民、日高）、副議長に大内良一氏（民主、札幌）を選出した。
- 18日 ○中国がセーフガードで日本に対抗措置 日本が緊急輸入制限（セーフガード）を暫定発動したことへの対抗措置として、中国対外貿易経済協力省は、日本製の自動車、携帯・自動車電話、空調機の3品目の輸入に100%の特別関税を課すと発表した。
- 20日 ○有珠山周辺の避難指示区域、金比羅山火口周辺を除き解除 虻田町は、昨年噴火した有珠山周辺の避難指示区域について、金比羅山周辺火口200メートルを除き解除した。
- 21日 ○札幌市と石狩市で飼い犬の虐殺続く 札幌市北区と石狩市で今春から6月にかけて飼い犬の虐殺が続き、12匹が殺された。また、1998年6月から10月にかけて、同北区内で猫8匹が殺された。
- 22日 ○旭川商工信組、自主再建を断念 3月期決算で41億円の債務超過に陥った旭川商工信組が自主再建の断念を発表、金融庁に破綻処理を申請した。不良債権で経営が悪化し、預金流失が相次いだ。旭川市と地元経済界は、新しい信組設立を決めた。
- 24日 ○東京都議選で自民党勝利 小泉政権発足後、初の大型選挙となった東京都議選の投開票が行われ、「小泉効果」で無党派層を取り込んだ自民党が公認55人のうち53人を当選させた。

25日 ○航空自衛隊戦闘機、北広島市上空で訓練中に誤射 島松射爆撃場（恵庭市）で対地攻撃訓練中の航空自衛隊F 4 E J戦闘機が北広島市上空で20ミリ機関砲の訓練弾188発を誤射、一部が同市内の北広島リハビリセンターに撃ち込まれた。空自は全機種 of 緊急点検を行う一方、防衛庁は同射爆撃場での訓練移転を視野に検討を始めた。

29日 ○通常国会、閉会 通常国会は教育改革関連3法など政府提出法案99本のうち、92本を成立させて閉会した。政府は閣議で7月12日公示、同29日投票の参院選日程を決めた。

○空知管内北竜町から秩父別町にかけて竜巻発生 空知管内北竜町から秩父別町にかけて竜巻が発生し、3人が重軽傷を負い、商店や車庫など16棟が全壊、40棟の住宅などで屋根が飛ばされた。北竜町の「ひまわりの里」では、7万本のヒマワリが倒れた。

試される大地

北海道

北海道議会時報
第53巻第2号

編集 北海道議会事務局政策調査課
〒060-0002

札幌市中央区北2条西6丁目

TEL 011-231-4111(内線33-321)

FAX 011-232-5982

E-Mail gikai.koho@pref.hokkaido.jp

発行 平成13年10月1日